Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

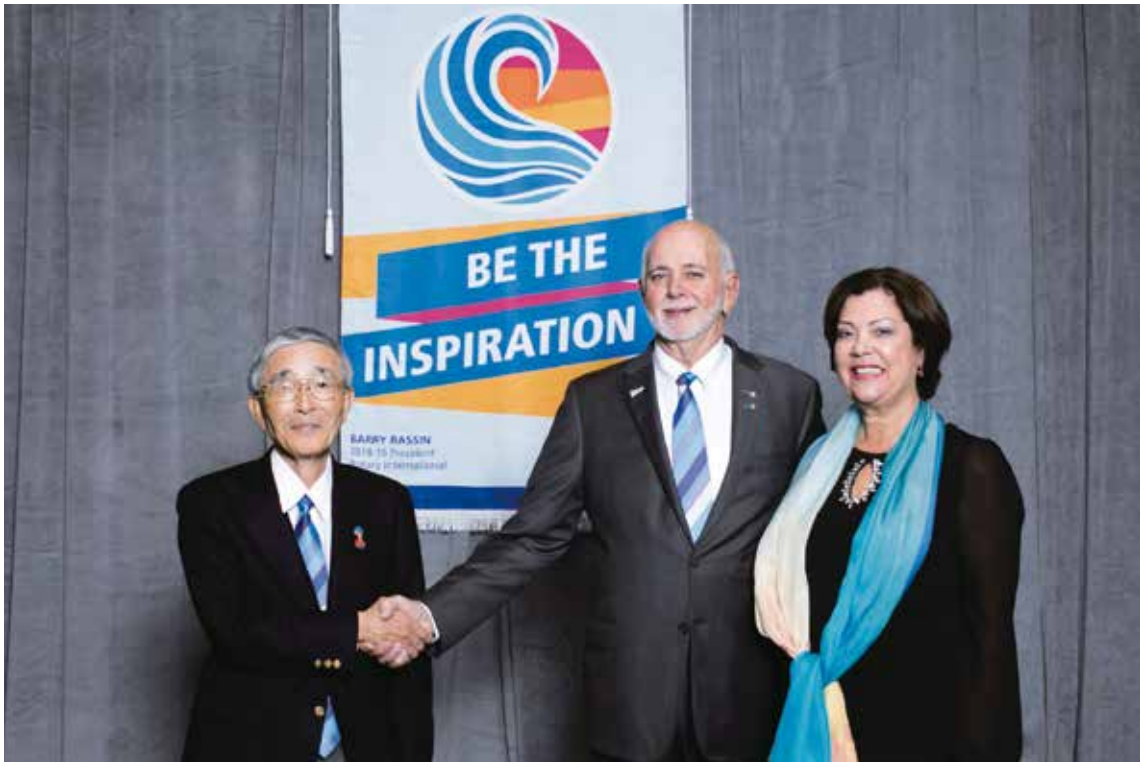
GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー　福田金治

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL:0956-37-2740　FAX:0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

2018.7／vol.01



ガバナー挨拶

本年度、当地区のガバナーを勤めます福田金治です。

地区の運営は、ガバナー１人の力では決して出来るものではありません。

地区内の会員の御協力と御支援があって、初めて達成できるものです。

これから１年間宜しくお願いします。

本年度、国際ロータリーのテーマは「インスピレーションになろう」です。

RIの説明では、「インスピレーション」には「鼓吹、激励、実行」という意味があるので、「インスピレーション（鼓吹・激励・実行）する人になろう」という解釈になるそうです。

RIのテーマに沿って、各クラブの皆様もこれから１年間活動されると思いますが、地区としても各クラブの活動に対して支援・協力をしてまいります。

CONTENTS

◉ RI会長プロフィール…… 2
◉ RI会長の運営方針 …… 2
◉ ガバナープロフィール…… 3
◉ 第2740地区の運営方針 …… 3
◉ 地区組織図…… 4
◉ 地区会計予算 …… 6
◉ クラブ協議会・ガバナー公式訪問日程表…… 8

RI会長プロフィール

バリー・ラシン Barry Rassin

2018-19年度会長
East Nassau ロータリークラブ所属
バハマ（ニュープロビデンス島）

フロリダ大学で保健・病院運営のMBAを取得し、医療教育機関であるAmerican College of Healthcare Executivesでバハマ初の特別研究員となりました。院長として37年間務めた医療機関Doctors Hospital Health Systemを最近退職し、現在は顧問を務めています。全米病院協会の生涯会員で、Quality Council of the Bahamas、Health Education Council、Employer's Confederationなど複数の団体の理事・委員長も務めました。

1980年にロータリー入会。RI理事を経て、現在はロータリー財団管理委員会の副管理委員長を務めています。また、RI研修リーダーとK.R.ラビンドラン2015-16年度RI会長のエイドも経験しました。

ロータリー最高の賞であるRI超我の奉仕賞のほか、2010年ハイチ地震後のロータリーによる災害救援活動を統率したことにより多くの人道賞を受賞しています。

また、エスター夫人とともに、ロータリー財団のメジャードナー、遺贈友の会会員でもあります。

RI会長の運営方針

●RIテーマ

“インスピレーションになろう”
BE THE INSPIRATION

「BE THE INSPIRATION」の解釈について

国際ロータリーの説明で、「インスピレーション」は日本では一般的に「ひらめき、思いつき」に訳されていますが、「鼓吹、激励、実行」という意味もあるということで、「インスピレーションする人になろう」という解釈になるそうです。一つだけの解釈にされなかったのは、ロータリアン一人ひとりが、必要と思われるロータリー活動をして欲しい為に、一つの解釈に固定されなかったそうです。

●国際ロータリーの運営方針

① 2017年9月に発表された「ロータリービジョン声明」に従ってRIは活動するので、各クラブもこの声明に伴って活動してください。
② 10月24日は「ロータリーDAY」なので、その日に合わせて各クラブで事業をして欲しい。
③ 全員の「マイロータリー」への登録の促進。
④ クラブの活動実績の外部への広報。
⑤ RACのクラブ数・会員数を現在の倍にする。

ガバナープロフィール

福田 金治

国際ロータリー第2740地区
2018-2019年度ガバナー
佐世保ロータリークラブ所属

生年月日：1946年11月4日
現 住 所：長崎県佐世保市相浦町1487
会社住所：長崎県佐世保市上相浦町1-3
最終学歴：1969年　慶應義塾大学法学部卒業
現　　職：株式会社 福勇商店　取締役会長

■ロータリー歴

1977年5月　　佐世保ロータリークラブ入会
1987～1990年　地区ローターアクト委員
1990～1991年　地区ライラ委員
1991～1992年　クラブ幹事
1998～2000年　地区職業奉仕委員
2000～2001年　地区職業奉仕委員長
2002～2003年　クラブ会長
2003～2004年　地区幹事
2010～2011年　第5グループガバナー補佐

ロータリー財団メジャー・ドナー
米山記念奨学会米山功労者メジャー・ドナー

第2740地区の運営方針

① 本年度公式訪問は、会員数の少ないクラブは合同公式訪問としております。
② 地区委員会が主催して行われる研修セミナーには「ガバナー」「地区幹事」は出席します。
③ 地区委員会が開催される定例の委員会には、「ガバナー」「地区幹事」は出席せず、「担当ガバナー補佐」「担当地区副幹事」が出席します。
但し、委員長からの要請があれば、「ガバナー」「地区幹事」も出席します。
④ ＩＭの開催については、各ガバナー補佐の判断におまかせし、開催される時の主催者はガバナー補佐とします。
⑤ 新会員の早期退会を防ぐため、「新会員研修会」の実施と、新会員をサポートするための「カウンセラー」の選任をぜひお願いします。
⑥ クラブ定款、クラブ細則を作成されていないクラブには、製作をお願いし、改正をされていないクラブには改正をお願いします。
⑦ 寄付は、主旨に賛同して個人の判断でするものと私は考えておりますが、本年度は昨年と同じく「ロータリー財団」は一人当たり150ドル、「米山記念奨学会」は一人当たり16,000円を目標額とします。
⑧ 地区のテーマは作らずに、あくまでもＲＩのテーマを地区のテーマとします。

国際ロータリー第2740地区

RI会長
バリー・ラシン

ガバナーエレクト	
千葉　憲哉	諫早北

ガバナー（RI役員）	
福田　金治	佐世保

ガバナー補佐

ｸﾞﾙｰﾌﾟ	氏名	担当	所属
①	音成日佐男	米山記念奨学	佐賀
②	田中　洋介	補助金	佐賀南
③	原　幸二	職業奉仕	嬉野
④	川添　信雄	インターアクト	唐津中央
⑤	山﨑　弘	クラブ管理・運営. 会員増強	平戸
⑥	森山　隆明	国際青少年交換	佐世保東南
⑦	為永　伸夫	ロータリー財団・資金推進	大村東
⑧	桑田　隆朗	公共イメージ・奉仕プロジェクト	諫早多良見
⑨	江口　正則	ライラ・ローターアクト	福江中央
⑩	瀬崎　陽三	ポリオプラス・資金管理	長崎東

※クラブのグルーピングは従来どおり

ガバナー諮問委員会

PG	宮島　傳兵衛	唐津東
PG	市瀬　久米嘉	佐世保東
PG	佐古　亮尊	大村北
PG	野﨑　元治	長崎
PG	武井　洋一	佐世保
PG	隅田　達男	伊万里
PG	安部　直樹	佐世保
PG	栗林　英雄	諫早北
PG	田口　厚	長崎
PG	野口　清	佐賀
PG	高城　昭紀	島原
PG	高原　武彦	有田
PG	岩永　信昭	長崎北東
PG	福元　裕二	佐賀北
PG	塩澤　恒雄	平戸
PG	宮﨑　清彰	諫早北
PG	﨑永　剛	長崎北
PG	駒井　英基	佐賀南
G	福田　金治	佐世保

ガバナー指名委員会

PG	宮島　傳兵衛	唐津東
PG	市瀬　久米嘉	佐世保東
PG	佐古　亮尊	大村北
PG	野﨑　元治	長崎
PG	武井　洋一	佐世保
PG	隅田　達男	伊万里
PG	安部　直樹	佐世保
PG	栗林　英雄	諫早北
PG	田口　厚	長崎
PG	野口　清	佐賀
PG	高城　昭紀	島原
PG	高原　武彦	有田
PG	岩永　信昭	長崎北東
PG	福元　裕二	佐賀北
PG	塩澤　恒雄	平戸
PG	宮﨑　清彰	諫早北
PG	﨑永　剛	長崎北
PG	駒井　英基	佐賀南
G	福田　金治	佐世保

ガバナー事務所スタッフ

役職	担当	氏名	所属
幹事	全般	増本　一也	佐世保
副幹事	米山記念奨学会	池田　真秀	佐世保
副幹事	補助金	坂本　敏	佐世保
副幹事	職業奉仕	古賀　久貴	佐世保
副幹事	インターアクト	松尾　慶一	佐世保
副幹事	クラブ管理・運営. 会員増強	坂元　崇	佐世保
副幹事	国際青少年交換	芹野　隆英	佐世保
副幹事	ロータリー財団・資金推進	有薗　良太	佐世保
副幹事	公共イメージ・奉仕プロジェクト	納所　佳民	佐世保
副幹事	ライラ・ローターアクト	大神　吉史	佐世保

地区拡大委員会

﨑永　剛	長崎北
駒井　英基	佐賀南

財務委員会

佐伯　岳歩	唐津東
小林　純一	長崎北
笠　慶宣	佐賀南

地区委員会（◎印は委員長）

クラブ管理・運営委員会

◎	竹田　健介	平戸
	野田　初憲	神埼
	森山　政幸	北松浦
	松尾　宏司	長崎出島

会員増強委員会

◎	加納洋二郎	佐世保
	古川健太郎	佐賀西
	中山　晴義	佐賀南
	石本潤治郎	諫早北

公共イメージ委員会

◎	久保　泰正	諫早西
	坂口　忠久	佐賀
	立石　泰彦	佐賀北
	古川　尋美	佐賀南
	岸本　大志	唐津中央
	公門　新治	佐世保北
	原田　徹	雲仙
	廣渡　雅也	諫早
	山口　孝佳	長崎北東
	前田　稔	長崎中央

ロータリー財団委員会

◎	西川　義文	大村
	隅　康二	佐賀西
	古賀　秀仁	伊万里西
	上田　康雄	長崎北
	岡村　康司	長崎南

地区委員会（◎印は委員長）

ローターアクト委員会

◎	西畑栄一郎	佐世保東
	森　裕章	佐賀
	高松　茂信	鹿島
	坂本慎一郎	唐津東
	安福　竜介	佐世保
	松﨑　正行	島原
	永尾　典嗣	諫早
	伊東　譲二	長崎
	牧山　伸広	長崎北

インターアクト委員会

◎	徳川　清隆	唐津
	長戸　和光	牛津
	山下　功	武雄
	小川　寛	佐世保北
	上戸ロサリンダ	大村北
	西村　亘	諫早
	榎並　三家	諫早北
	嶽本　幸次	長崎西
	大熊　稔幸	長崎南

国際青少年交換委員会

◎	下津浦　正明	佐世保南
	新納　英明	武雄
	織田　高徳	鹿島
	酒井　英士	佐世保西
	辻　登志美	諫早北
	樋口　征司	諫早南
	ｱｰﾘｰｼﾞｪﾌﾘｰｽﾁｭｱｰﾄ	諫早多良見
	梅本　國和	長崎
	飯田　義則	長崎みなと

ライラ委員会

◎	山口　宏二	長崎
	相浦　封哉	多久
	小島　清辰	伊万里西
	池田　直彦	平戸
	本多　進	島原南

2018～2019年度　地区組織図

危機管理委員会		
委員長	安部　直樹	佐世保
委員	大家　和義	小城
委員	西川　義文	大村
委員	隅　康二	佐賀西
委員	下津浦　正明	佐世保南
委員	徳川　清隆	唐津
委員	西畑　栄一郎	佐世保東
委員	山口　宏二	長崎
ガバナー	福田　金治	佐世保
ｶﾞﾊﾞﾅｰｴﾚｸﾄ	千葉　憲哉	諫早北
地区幹事	増本　一也	佐世保
弁護士	吉田　英樹	佐世保
弁護士	樋口　聡子	佐世保西

戦略計画委員会		
委員	﨑永　剛	長崎北
委員	駒井　英基	佐賀南
委員	福田　金治	佐世保

地区研修委員会		
リーダー	﨑永　剛	長崎北
委員	岩永　信昭	長崎北東
委員	駒井　英基	佐賀南

「ロータリーの友」地区代表委員	
遠田 公夫	佐世保

（財）米山記念奨学会			
理　　事	栗林　英雄	諫早北	2018年9月まで
理　　事	駒井　英基	佐賀南	2018年9月から
2015～2019年度評議員	高城　昭紀	島原	

ﾎﾟｰﾙ・ﾊﾘｽ・ｿｻｴﾃｨ・ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	
田口　厚	長崎

PETS実行委員会		
委員長	宮原　明夫	佐世保北
副委員長	中野雄一郎	佐世保北
副委員長	中山　誠	佐世保北

地区研修・協議会実行委員会		
委員長	長島　正	佐世保
副委員長	松尾　文隆	佐世保
副委員長	有薗　良太	佐世保

地区大会実行委員会		
委員長	橘髙　克和	佐世保
副委員長	松尾　慶一	佐世保
幹事	納所　佳民	佐世保

ガバナー事務所スタッフ			
役職	担当	氏名	所属
副幹事	ポリオプラス・資金管理	松尾　文隆	佐世保
会計長	会計	井手　孝邦	佐世保
編集長	月信・HP	中村　徳裕	佐世保
編集委員	月信・HP	平尾　幸一	佐世保
編集委員	月信・HP	吉田　英樹	佐世保
編集委員	月信・HP	筒井　和彦	佐世保
編集委員	月信・HP	西田　勝彦	佐世保
編集委員	月信・HP	福田　金吾	佐世保
事務局長		石井　正剛	佐世保

地区委員会（◎印は委員長）

奉仕プロジェクト委員会		
◎	小川　信	佐世保南
	岡部　景光	有田
	吉田　大	佐世保東南
	矢野　京子	諫早北
	柴田　正明	長崎東

職業奉仕委員会		
◎	山本　正樹	佐賀南
	吉岡　義治	佐賀南
	鬼橋 正敏	武雄
	小柳伊佐義	大村東
	森　由有	諫早西
	浦　信夫	長崎琴海

米山記念奨学委員会		
◎	大家　和義	小城
	本村　一	佐賀西
	大川正二郎	佐賀北
	中山　亘	唐津中央
	菅沼宏比古	佐世保
	永田　章	北松浦
	本田　実	佐世保中央
	芦塚　義幸	大村
	本多　善彦	雲仙
	松田　洋一	諫早北
	中山　雅之	長崎
	牧　文春	長崎西
	中嶋　久光	長崎北

地区委員会（◎印は委員長）

ポリオプラス委員会		
◎	上田　康雄	長崎北
	中島陽一郎	嬉野

資金管理委員会		
◎	岡村　康司	長崎南
	冨永　雪春	伊万里
	北島 利彦	長崎出島

資金推進委員会		
◎	古賀　秀仁	伊万里西
	吉井　正司	唐津西
	山下　実	福江

補助金委員会		
◎	隅　康二	佐賀西
財団奨学・学友小委員会		
○	喜多　清基	島原
	中川　知之	佐世保
	森本　大輔	大村
	小嶺　嘉浩	島原
グローバル補助金小委員会		
○	原田　知行	長崎中央
	益田　保彦	有田
	角野　智志	松浦
地区補助金小委員会		
○	岡田　金助	HTB佐世保
	平岩　義明	佐世保中央

2018年7月1日現在

国際ロータリー第2740地区

Ⅰ． 地区関係資金人頭分担金

（単位：円）

			16～17年度決算	17～18年度予算	18～19年度予算
(1)地区資金会計	地区資金分担金		6,300	6,300	6,800
	地区大会分担金		5,300	5,300	5,300
	日本事務局分担金	R文庫協力金	300	300	300
		全国G会運営費	200	200	200
		平和奨学生支援金	15	15	15
	特別会費分担金	世界社会奉仕資金	360	360	360
	小 計		12,475	12,475	12,975
(2)G事務所分担金	G事務所分担金		4,500	4,500	5,400
	月信費分担金		1,900	1,900	1,000
	小 計		6,400	6,400	6,400
(3) 国際青少年交換資金分担金			1,900	1,900	1,400
合 計			20,775	20,775	20,775
予算算定基礎会員数			2,244	2,250	2,250

Ⅱ．地区資金一般会計

（単位：円）

			16～17年度決算	17～18年度予算	18～19年度予算
収入の部	(1) 地区資金分担金		14,020,650	14,175,000	15,300,000
	(2) 地区大会分担金		11,893,200	11,925,000	11,925,000
	(3) 日本事務局分担金		1,146,425	1,159,000	1,159,000
	(4) 特別会計分担金		801,180	810,000	810,000
	(5) その他収入		226	−	−
	収入合計 (A)		27,861,681	28,069,000	29,194,000
支出の部	(1) ガバナー関係費		6,324,880	5,850,000	6,650,000
		GE国際協議会	1,200,000	1,200,000	1,200,000
		全国G・PG会議費	2,297,453	2,300,000	2,300,000
		地区G・PG会議費	1,293,890	1,300,000	1,300,000
		各種会議費	845,177	850,000	1,150,000
		G記念品代	150,000	100,000	100,000
		ホームページ費	538,360	100,000	600,000
	(2) 地区活動費・補助金		14,409,138	14,475,000	14,675,000
		地区大会	11,893,200	11,925,000	11,925,000
		地区協議会	300,000	300,000	300,000
		PETS	279,674	300,000	400,000
		地区チーム研修セミナー	400,678	400,000	500,000
		インターアクト助成金	600,000	600,000	600,000
		ローターアクト助成金	550,000	550,000	550,000
		RYLA助成金	300,000	300,000	300,000
		R財団学友会	85,586	100,000	100,000
	(3) G補佐費		1,689,620	1,700,000	1,700,000
	(4) 地区委員会費		2,813,454	3,730,000	3,380,000
		クラブ管理・運営委員会	−	100,000	100,000
		会員増強委員会	332,620	350,000	300,000
		公共イメージ委員会	−	550,000	150,000
		奉仕プロジェクト委員会	−	−	150,000
		ロータリー財団委員会	179,670	150,000	200,000
		職業奉仕委員会	234,325	250,000	250,000
		米山記念奨学委員会	350,000	350,000	350,000
		ローターアクト委員会	176,000	180,000	180,000
		インターアクト委員会	363,442	400,000	900,000
		ライラ委員会	148,126	200,000	200,000
		資金推進委員会	20,739	50,000	50,000
		ポリオプラス委員会	36,500	50,000	50,000
		資金管理委員会	37,500	50,000	50,000
		財団奨学学友小委員会	−	−	150,000
		グローバル補助金小委員会	452,044	450,000	150,000
		地区補助金小委員会	−	−	150,000
		米山会館補修費	−	−	−
		その他(クラブ・社会・青少年奉仕)	482,488	600,000	−
	(5) 日本事務局分担金		1,141,925	1,159,000	1,159,000
	(6) 特別会計繰入金		1,101,180	1,110,000	1,110,000
	(7) 研修会関係費用		−	−	−
	(8) その他		30,620	45,000	−
	(9) 予備費		350,864	−	520,000
	支出合計 (B)		27,861,681	28,069,000	29,194,000

2018～2019年度　地区会計予算

Ⅲ. ガバナー事務所会計

（単位:円）

		16～17年度決算	17～18年度予算	18～19年度予算
収入の部	G事務所分担金	10,014,750	10,125,000	12,150,000
	月信費	4,012,800	4,275,000	2,250,000
	RI補助金	1,796,760	1,700,000	1,326,000
	雑収入・その他	550,465	−	−
	収入合計 （A）	16,374,775	16,100,000	15,726,000
支出の部	公式訪問費	311,158	500,000	300,000
	人件費	3,780,163	2,900,000	3,750,000
	月信費	4,735,753	4,275,000	2,250,000
	通信費	292,196	550,000	350,000
	消耗品費・印刷費	524,523	900,000	800,000
	室料	1,018,736	1,000,000	1,344,000
	旅費交通費	192,928	200,000	200,000
	会議費	−	−	400,000
	GE事務所費	5,400,000	5,400,000	5,400,000
	直前G事務所費	100,000	100,000	100,000
	リース料(TEL・コピー)	−	275,000	330,000
	光熱費	−	−	200,000
	駐車場代	−	−	216,000
	雑費	19,318	−	86,000
	支出合計 （B）	16,374,775	16,100,000	15,726,000

Ⅳ. 国際青少年交換資金会計

（単位:円）

		16～17年度決算	17～18年度予算	18～19年度予算
収入の部	国際青少年交換資金分担金	4,228,450	4,275,000	3,150,000
	その他	612,401	−	−
	クラブ負担金	207,000	−	−
	来日学生負担金	200,000	−	−
	前年度繰越金	58,981	−	−
	収入合計 （A）	5,306,832	4,275,000	3,150,000
支出の部	学生滞在費補助金	650,000	1,200,000	700,000
	学生旅行補助	1,549,099	1,700,000	1,075,000
	オリエンテーション費用	438,308	200,000	200,000
	学生歓送迎会費他	311,092	300,000	300,000
	委員会費・全国委員会費	498,034	300,000	300,000
	印刷費他	74,913	50,000	50,000
	通信費	20,462	50,000	50,000
	RIJYEC維持協力金	443,300	442,000	442,000
	危機管理基金	1,000,000	−	−
	損害保険料	−	20,000	−
	予備費	321,624	13,000	33,000
	支出合計 （B）	5,306,832	4,275,000	3,150,000

Ⅴ. 特別会計

（単位:円）

	年度	期首残高	収入	支出	期末残高	備考
世界社会奉仕	16～17年決算	8,180,646	801,180	449,000	8,532,826	
	17～18年予算	8,532,826	810,000	−	9,342,826	
	18～19年予算	9,342,826	810,000	−	10,152,826	
規定審議会	16～17年決算	−	300,000	−	300,000	
	17～18年予算	300,000	300,000	−	600,000	
	18～19年予算	600,000	300,000	900,000	−	
VTT	16～17年決算	5,000,000	−	−	5,000,000	
	17～18年予算	5,000,000	−	−	5,000,000	
	18～19年予算	5,000,000	−	−	5,000,000	

※ 18～19年度予算については、千円未満は四捨五入

クラブ協議会・ガバナー公式訪問日程表

グループ	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問
1	佐賀ＲＣ	7月19日	7月26日
	小城ＲＣ	7月11日	7月18日
	牛津ＲＣ	7月6日	7月18日
	多久ＲＣ	7月5日	7月12日
	佐賀大和ＲＣ	7月3日	7月12日
2	佐賀西ＲＣ	7月9日	7月25日(※)
	佐賀北ＲＣ	7月18日	7月25日(※)
	佐賀南ＲＣ	7月10日	7月17日(※)
	神埼ＲＣ	7月3日	7月10日
	佐賀空港ＲＣ	7月4日	7月10日
3	有田ＲＣ	7月10日	7月27日
	武雄ＲＣ	7月9日	7月23日
	鹿島ＲＣ	7月17日	7月24日
	嬉野ＲＣ	7月20日	7月27日
	大町ＲＣ	7月12日	7月19日
	白石ＲＣ	7月11日	7月19日
	太良ＲＣ	7月12日	7月24日
4	唐津ＲＣ	7月24日	7月31日
	伊万里ＲＣ	8月22日	8月30日
	唐津東ＲＣ	7月26日	8月2日
	唐津西ＲＣ	7月25日	7月31日
	伊万里西ＲＣ	8月23日	8月30日
	唐津中央ＲＣ	7月27日	8月2日
5	佐世保ＲＣ	7月25日	8月8日
	平戸ＲＣ	7月26日	8月3日
	北松浦ＲＣ	7月24日	8月3日
	佐世保西ＲＣ	7月31日	8月8日
	松浦ＲＣ	7月27日	8月3日

※印は夜例会

グループ	クラブ名	クラブ協議会	公式訪問
6	佐世保南ＲＣ	8月10日	8月24日
	佐世保東ＲＣ	8月2日	8月23日
	佐世保北ＲＣ	8月6日	8月20日
	佐世保中央ＲＣ	8月9日	8月23日
	佐世保東南ＲＣ	7月25日	8月1日
	ハウステンボス佐世保ＲＣ	7月17日	8月1日
7	大村ＲＣ	8月7日	8月28日(※)
	島原ＲＣ	8月21日	8月29日
	雲仙ＲＣ	8月4日	8月29日
	大村北ＲＣ	8月1日	8月27日
	島原南ＲＣ	8月22日	8月29日
	大村東ＲＣ	8月6日	8月27日
8	諫早ＲＣ	8月31日	9月7日
	諫早北ＲＣ	8月23日	9月6日
	諫早西ＲＣ	8月29日	9月5日
	諫早多良見ＲＣ	8月7日	8月21日
	諫早南ＲＣ	7月23日	8月21日
9	長崎ＲＣ	8月2日	8月9日
	福江ＲＣ	7月27日	8月7日
	長崎北東ＲＣ	8月29日	9月12日
	福江中央ＲＣ	7月31日	8月7日
	長崎西ＲＣ	8月21日	9月11日
	長崎琴海ＲＣ	8月30日	9月12日
10	長崎北ＲＣ	8月27日	9月10日
	長崎南ＲＣ	8月8日	8月22日
	長崎東ＲＣ	7月13日	7月20日
	長崎みなとＲＣ	7月17日	7月20日
	長崎中央ＲＣ	8月20日	9月3日
	長崎出島ＲＣ	8月31日	9月14日

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2018.8／vol.02

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

ガバナー ロータリー情報

会員歴の短い会員の退会防止

近年の会員の減少については、いろいろ原因はあると思います。過去110年の間には「戦争」「大恐慌」「オイルショック」等を経験してまいりました。

ロータリークラブの会員は一時的に減少した時はありましたが、ずっと右肩上がりで増えていますから、これらの事は会員減少の大きな原因ではないと思います。「一業種一名」が廃止された事や「アイサーブ」が「ウィサーブ」へ、「国際奉仕委員会」が「ロータリー財団委員会」という名称に変更になったように、ロータリー創立当初の目的と違う方向にロータリーが進み始めたのが原因で退会されている方が増えているのではないでしょうか。

もう一つは、せっかく入会してもらっても、新会員に対して、ロータリーについて研修する機会が少なくなったので、「ロータリーの活動内容が分からない」「ロータリーは面白くない」「ロータリーは役に立たない」という事が原因で退会される方が増えていると思います。

私が入会した当時は、私の所属するクラブも含めて、多くのクラブで新会員研修会が行われ、3年未満の新会員は、「クラブ行事」、「地区行事」への参加が義務でした。

私が地区幹事の時、地区内のクラブを調べましたが、新会員研修会を定期的に行っているクラブは5～6クラブしかありませんでしたし、行事への参加を義務付けているクラブはほとんどありませんでした。しかし、新会員研修会を定期的に行っているクラブは、他のクラブと比べて、会員の減少率が少なかったです。

会員を増強する方法は、新しい会員を入会させるのが第一ですが、それと同様に、新会員研修会等を行い、ロータリーとはどういうものなのか、ロータリークラブ活動の良さを教えて、会員の退会を防止することが必要だと思います。

私が所属している佐世保ロータリークラブでは、入会後必ず年1回の新会員研修会を2回受講します。さらに、新会員には、必ずカウンセラーが一人つき、サポートしております。地区行事等は、以前のように出席義務とはしておりませんが、できるだけ参加してもらうように誘っております。

その結果、新会員の方でロータリーに興味が持てなくて、入会後短期間で退会される方はありません。早期退会者を防ぐ事が、会員減少を少なくする方法です。まだ、新会員研修会を実施されていないクラブは、ぜひ実施されることをすすめます。

CONTENTS

◉ ガバナー活動報告……2
◉ 米山記念奨学委員長セミナー報告……2
◉ ガバナー補佐挨拶……3
◉ 地区委員長挨拶……5
◉ 送金のしおり……7
◉ 地区大会のご案内……8

ガバナー活動報告 第１回 ガバナー会議

2018-2019年度 第１回ガバナー会議が、2018年7月1日㈰ 9時30分より11時30分まで、東京品川のグランドプリンス高輪にて開催され、福田金治ガバナーが出席いたしました。

2018-19年度 クラブ米山記念奨学委員長セミナー報告

米山記念奨学地区委員 **菅沼 宏比古**（佐世保RC）

国際ロータリー第2740地区「クラブ米山記念奨学委員長セミナー」が、2018年5月27日㈰に、東彼杵町総合会館で、駒井ガバナーをはじめ、栗林パストガバナー、高城パストガバナー、福田ガバナーエレクト、千葉ガバナーノミニー、音成ガバナー補佐、大家地区委員長及び地区委員、各クラブ次年度会長及び担当委員、そして趙（チョウ）学友会会長をはじめとする米山記念奨学生の皆さんの参加により実施されました。

はじめに駒井ガバナーよりご挨拶があり、栗林パストガバナーより米山記念奨学生事業について講演があり、本事業の大切さを話されました。引き続き地区の現状について大家地区委員長より説明がなされました。休憩をはさみ、奨学生の紹介で一人一言のスピーチを行い、現在の学友会について高城パストガバナーより医学的な見地から、カウンセラーの重要性の話がありました。最後に、福田ガバナーエレクトより講評があり閉会となりました。

本委員会セミナーを受け、各クラブに戻り、より積極的に事業を理解し、奨学生の将来のために活動していけるものと確信することが出来たと思います。

ガバナー補佐挨拶

第１グループガバナー補佐
音成　日佐男
(佐賀RC)

国際ロータリー第2740地区第１グループガバナー補佐を拝命しました音成日佐男と申します。

ロータリーの目指す、より良い社会、より平和な社会の実現には、ロータリアンの品性向上が大切であり、先ず己の人間力を高めたいと思います。この一年間、ご指導とご支援の程、お願い申し上げます。

職業人の集まりとしてスタートしたロータリーの職業奉仕(職業訓)の理念は、江戸期からの日本の商人道と驚くほど類似しています。近年、RIは無職の人にもロータリー入会の門戸拡大をしましたが、今年度の福田ガバナーは、現在は職業人ではなくても元や前職を職業分類の肩書とすべしと、職業奉仕の大切さを説かれています。

更には、ガバナー補佐として地区米山記念奨学委員会の担当となりました。

ロータリーの父・米山梅吉の偉業を記念し創められた日本独自の奨学金制度です。これ迄、国際親善に寄与すべく、多くの民間の人財がこの奨学金を受けています。今年度の一人当たりの寄付額の目標は16,000円です。ロータリアン各位のご理解、ご支援を切にお願いするものです。

第２グループガバナー補佐
田中　洋介
(佐賀南RC)

この度、2018～19年度 第2グループガバナー補佐に任命されました、佐賀南ロータリークラブの田中洋介と申します。

約28年前に何も分からないまま入会させて頂きました。当時思ったことは、入会の推薦を頂いた先輩に恥をかかせてはいけないと思って、ロータリーの活動をしてきました。

そういう私も年齢を重ねロータリー歴も古くなり、若い会員の方達を指導する立場になってきました。

経済の厳しい状況と共に会員の減少、早期退会が続きました。

地区の方針と第2グループとの橋渡し役として活動して行きたいと思っています。

一年間、どうぞ宜しくおねがいします。

第３グループガバナー補佐
原　　幸二
(嬉野RC)

この度、2018～19年度 第3グループガバナー補佐に任命されました、嬉野クラブの原幸二と申します。

私は父が初代会長を務めたことの縁で、1977年に26歳の時に入会しました。あれから早、42年目になります。

今までは、仕事が忙しく、例会にはなんとか頑張って出席してまいりましたが(今年度25年皆勤になります)、ロータリーの行事は、ほとんどが週末、祭日にあるため、仕事柄、出席がなかなかできませんでした。

いま、仕事を離れて時間だけは十分にあるようになり、今まで、貢献できなかった分を微力ながら、少しでもお役に立てばと思い引き受けました。

在籍期間が長いだけで、ロータリーのことは、ほとんど勉強しておりませんので、これを機に福田金治ガバナーの指導の下で、初心に返り、RIのテーマ「インスピレーションになろう」を目標に、第2740地区の発展と会員相互の親睦がより一層、図られることに努力していきたいと思います。

皆様のご指導ご鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。

第４グループガバナー補佐
川添　信雄
(唐津中央RC)

この度、2018～19年度 第4グループガバナー補佐に任命されました、唐津中央ロータリークラブの川添信雄です。

我がクラブの創立は、1994年2月18日であり、来年で創立25周年を迎えます。私はチャーターメンバーとして入会し、浅学菲才ではありますが初代幹事、第4代会長を務めさせて頂きました。

さて今年度の地区運営方針は、

①地区テーマはRIテーマと同じ“インスピレーションになろう”(BE THE INSPIRATION)
②ロータリー財団寄付目標150ドル/人
③米山記念奨学会寄付目標16,000円/人
④会員増強人数は設定しない
⑤公式訪問は原則40名以下のクラブでは2クラブ合同訪問とする
⑥公式訪問時の懇談会は原則行わない

以上が提示されました。

各クラブがこの趣旨を理解し尽力されるようお願いします。

来年6月末日まで第4グループガバナー補佐を微力ながら務めさせて頂きます。宜しくお願い致します。

ガバナー補佐挨拶

第５グループガバナー補佐
山﨑　弘
（平戸RC）

平戸ロータリークラブへ入会して7月で39年になりました。調べてみますと平戸RCで知り合った方が約210名です。近隣クラブなどロータリー関係の皆様とも多くの出会いがありました。この方々とはロータリークラブに入会していなければ到底お会い出来なかった友人です。又、入会の際に世界の友とも出会えると伺っていました。姉妹クラブの台南ロータリークラブの会員とも兄弟付き合いをさせて頂いておりますし、又、塩澤恒雄ガバナーの誕生の際は、韓国の李義求RI会長代理やその他の韓国ロータリアンとも親しくなり、国をまたいで素晴らしい人間関係を築くことも出来ました。

ロータリーには「ノー」は無いと言いますが、自分の体験したことの無いことはどうしても「ノー」と言いたくなります。今回のガバナー補佐も最初はそうでしたが、女房から「指名されたらするのがロータリーでしょう」と後ろから押されて引き受けました。推薦して頂いた平戸RCの皆様からは「少しはロータリーを勉強しなさい」と言うお言葉と解釈し、この1年を多くのロータリアンと親交を深めながら有意義に過ごしたいと思います。

皆様の温かいご指導、ご協力を宜しくお願い致します。

第６グループガバナー補佐
森山　隆明
（佐世保東南RC）

2018～19年度 第6グループのガバナー補佐を仰せつかりました佐世保東南ロータリークラブの森山隆明と申します。チャーターメンバーとして、平成4年3月創立以来頑張って参りました。ロータリークラブとはどんな団体だろうかと考え本日まで勉強をしてまいりました。これから創立30周年に向かって進んで行きたいと思っているクラブの状況です。

国際ロータリーのテーマは≪インスピレーションになろう（BE THE INSPIRATION）≫です。「地区の運営方針」は、ロータリー財団年次寄付、年間一人150＄、米山記念奨学会への寄付、年間一人16,000円を目標とされています。

会員増強は退会防止の努力を目標と掲げられました。ガバナー補佐は私の能力を超えた大役と思いますが、会員皆様の推薦を受け大役をお引き受けした次第です。

福田ガバナーはじめ増本地区幹事、地区役員の皆様や第6グループのクラブの皆様方にご迷惑を掛けないようにと考えております。第6グループのインスピレーションとなれるようにこの一年間を努力してまいります。何卒宜しくお願いいたします。

第７グループガバナー補佐
為永　伸夫
（大村東RC）

この度、2018～19年度 第7グループガバナー補佐を拝命いたしました、大村東RCの為永伸夫と申します。

私達第7グループは、大村・島原・雲仙・大村北・島原南・大村東の6クラブであります。6年に一度廻って来るガバナー補佐担当年度の責任を誰かが果たさなければならないと思う責任感のみで、お引き受けした次第です。

地区チーム研修セミナーや、協議会等に出席するたびにその責任の重大さを痛感いたしております。福田金治ガバナーのお考えを一早く理解し各クラブにお伝えすることと同時に、各々の歴史と実績と未来があられると思いますが、そのクラブカラーにますます磨きがかかり個性を発揮されますよう、私にも何かしら寄り添う所が有りや無しや、模索し努力させて頂きたいと考えております。

ロータリーに入会して25年になりますが、7年前より同業者組合の世話役に取り紛れ、我がクラブに迷惑を掛ける時もしばしばありました。今年は恩返しの年、又自らの自己研磨の年としてガバナー補佐の仕事を全うしたいと思っております。第7グループ会員の皆様方どうぞご指導よろしくお願い申しあげます。

第８グループガバナー補佐
桑田　隆朗
（諫早多良見RC）

この度、2018～19年度 第8グループガバナー補佐を拝命いたしました、諫早多良見ロータリークラブの桑田隆朗と申します。

1990年3月の頃からロータリークラブに参加させて頂き、28年になります。多くの友人、知人を得て、ただただ、楽しく例会に出席していましたが突然に、ガバナー補佐を命じられ、自分の不勉強さをひしひしと感じています。ガバナー補佐の研修会や事前セミナーに参加して、またまた勉強不足を思い知ったところです。どうぞ第8グループの皆様、懸命に、ガバナー補佐の大任を務める決意ですので、ご指導、ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

福田金治ガバナーの国際ロータリー、地区運営方針は、国際ロータリーのテーマ「BE THE INSPIRATION」で、地区テーマも「インスピレーションになろう」になりました。

ロータリー財団寄付額、米山記念奨学会への寄付額、ロータリーDAY、「マイロータリー」への登録などの福田金治ガバナーの思いを第8グループの皆様にお伝えすることが私の仕事だと考えております。第8グループのクラブの皆様には何回もお目にかかることになります。人前で喋ることは苦手であり、自信がありません。この年齢になって成長できるか分かりませんが、楽しいロータリー活動の一つと思い努力していきます。

第8グループの5クラブの皆様と素晴らしい関係ができますように努力する所存です。皆様のひろい心とロータリアンの寛容の精神で、今年一年よろしくお願い申し上げます。

ガバナー補佐挨拶

第９グループガバナー補佐
江口　正則
（福江中央RC）

これから1年間、第9グループのガバナー補佐を務めさせて頂きます江口正則です。所属クラブは、福江中央ロータリークラブです。

ご存知のように離島のクラブですから、天候の関係で、参加出来なくなることが欠点ですが、これから1年間は出来るだけ参加するように心がけたいと考えております。

短歌を趣味で作っています。クラブの先輩会員に誘われて始めました。また、税理士会の会報に毎月投稿させてもらって5年になります。お陰様で、同業の税理士から声をかけてもらう機会が多くなりました。

短歌を通じて私生活の一部分を見せることが多いものですから、話題選びに事欠かないと言うことと理解しています。

今回、他のクラブの会員の皆様を知る良い機会を頂いたと理解しています。

ガバナーと各クラブの皆様をつなぐことが、私の役目と考えておりますので、前任の中村様をはじめガバナー補佐経験済みの皆様、会員の皆様にはよろしくご指導のほどお願いします。

第10グループガバナー補佐
瀬崎　陽三
（長崎東RC）

2018～2019年度、第10グループガバナー補佐を拝命いたしました、長崎東ロータリークラブの瀬崎陽三と申します。私は平成17年（2005年）の入会ですので、まだ入会歴14年目ですが、当初は私みたいな若輩者が、ガバナー補佐を拝命して良いものかと躊躇しておりました。しかしながら、諸先輩方から指名を受けた際は、断ることがあってはならないと教えられて来ましたので、自分自身の気持ちを入れ替えて「私みたいな若輩者でも、是非やってほしいと言われるのであれば、今後の後輩の道を作っていく為にも、ガバナー補佐を受けてみよう！」と決意させていただきました。

さて、今年度はバリー・ラシンRI会長が挙げられましたテーマ「インスピレーションになろう」が、福田金治ガバナーが目指す地区テーマとなります。そのテーマに基づき各クラブができる奉仕は何か、又インスピレーションになる為には何ができるかを考えて各クラブが行動できるように、微力ではありますが、ガバナー補佐としての務めを果たしていきたいと思いますので、１年間何卒宜しくお願い致します。

地区委員長挨拶

公共イメージ委員会
委員長　**久保　泰正**
（諫早西RC）

なぜ公共イメージの向上が必要か

前年度当地区では、公共イメージの向上につながる三つの基本的な活動に取り組みました。一つ目はロータリー奉仕活動をマスメディアに広報すること、二つ目は会員のMy Rotaryのアカウント登録率をアップすること、三つ目はRotary Club Centralへの入力と活用率をアップすることを目標にしたところ、ガバナー補佐を始め、各クラブの会長、幹事、委員長など多くのロータリアンの皆様のお陰をもちまして、多くのクラブにて目標達成して頂きました。大変感謝申し上げます。

今“なぜ公共イメージ向上が必要か”その目的はロータリーに対する理解を促進すること、また現会員や入会見込者、寄付者、協同パートナーのモチベーションを高め行動を促すことです。近年RIは、『世界を変える行動人』キャンペーンを推進しています。これはロータリーと一般社会とのコミュニケーションのあり方を見直すもので、ロータリーの様々な活動に焦点を当て、かつストーリーに仕立て、社会に発信しようというものです。

そのためには、従来のマスメディアだけではなく、クラブの奉仕活動をストーリー仕立てにしてFacebook、TwitterなどのSNSで地域社会に発信することで市民からの共感を得る狙いがあります。確かに人は物語から学び感動します。これは「私たちが何者であるか伝えるキャンペーン」でもあります。

本年度、地区委員会は、各クラブと地域市民とのコミュニケーション力を強靭にするためのツールとして、Web SiteやSNSの構築を目標にしていきたいと考えています。前年度に引き続き今年度も委員長を拝命する事になりましたが、皆様のより一層のご協力をお願いいたしまして就任のご挨拶とさせていただきます。

ロータリー財団委員会
委員長　**西川　義文**
（大村RC）

ロータリー財団は「世界で良いことをしよう」（Doing good in the world）の標語のもと、「ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることである。」というロータリー財団の使命に添い、海外や地区内クラブの国際奉仕や社会奉仕事業等へ支援を行ってきました。

当地区ロータリー財団委員会として、新たな視点と試みでグローバル補助金や地区補助金を活用し、世界的人道支援や研究心旺盛な若者を世界の大学院での研究支援へ送ったり、またクラブが行う身近な地域での社会奉仕活動を薦めていく所存です。

職業研修チーム（VTT）派遣での多様な地域と知識・技術・経験等の交換を通して、６つの重点分野に沿った活動を委員会として図ります。

皆様から戴く①年次基金、②恒久基金、③ポリオプラス基金等への寄付により、地元や海外で実施される多様な活動を支援する資金や人々の生活がより良くなるための補助金となって活用され続けられるのです。

財団におけるロータリアン個々の支援は、RIや国際機関、専門家グループの活動により、より大きな成果となり、国際奉仕活動と繋がっていくものと思っています。

今年も皆様のご協力をお願い申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

地区委員長挨拶

奉仕プロジェクト委員会

委員長 **小川　信**

（佐世保南RC）

「インスピレーションになろう」

今年度の奉仕プロジェクト委員会の委員長を仰せつかりました佐世保南ロータリークラブの小川でございます。皆様のご協力よろしくお願いいたします。

奉仕プロジェクトの役割は、地域社会の重要なニーズに応える奉仕活動の実施を助け、限りある資金と会員の知識や経験を活かし地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトを企画実行することです。そのために実行スケジュールを立て、成果を具体的に図るための基準を定め、計画と実行がクラブに合った方法で奉仕プロジェクトを実施してください。

委員会の役割は、クラブの奉仕活動を主導し、地元や海外の地域社会の人々を援助する教育的職業的プロジェクトの計画と実施を支援することです。

具体的に活動する委員会としては社会奉仕・職業奉仕・新世代奉仕・ローターアクト・インターアクト・青少年交換・ライラ等です。クラブの特色を出し、自主性を重んじ奉仕の理想に向かって進んでいき、着地点を見定め計画をしっかり立案し、継続性の活動と変化に対応できる柔軟性を持ち、一丸となって邁進していただけることをお願いいたします。

職業奉仕委員会

委員長 **山本　正樹**

（佐賀南RC）

職業奉仕委員会委員長を拝命しました佐賀南RCの山本正樹と申します。本年度は委員長として、地区内のクラブによる職業奉仕活動を支援していきたいと思います。

長年ロータリーの奉仕を通じて、人々の生活や地域社会に変化がもたらされていますが、残念ながら、ロータリーが具体的にどんな活動をしているのか知らない人が大勢います。

2016年の規定審議会では、職業奉仕の規定で活動項目として、職業を使ってのボランティア活動や若者への職業支援セミナーや専門職業のネットワーク等と具体化されました。

そこで本年度は地区の皆様とともに、ロータリーにおける職業奉仕も含めて「奉仕の理念」は私達にとって何を意味するのかを改めて考え、他の奉仕部門と協力してアイデアを出し、他にはないロータリーの魅力を各クラブの会員の方々にお話しいただければと思います。

そのような研鑽及び親睦の機会として、9月には講師をお招きし職業奉仕セミナーを開催いたします。また、1月の職業奉仕月間では「奉仕の理念」を分かり易くお話できればと思います。

１年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

インターアクト委員会

委員長 **徳川　清隆**

（唐津RC）

今年度、地区インターアクト委員長を担当させて頂きます。初めての地区委員長ですが、皆様のご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

地区委員会の方針として、インターアクトプログラムは、国際ロータリーの活動から発展し創設されたもので、それは国際ロータリークラブの活動となります。また、インターアクトクラブは、ロータリークラブの提唱の下、12歳から18歳までの青少年が社会奉仕、国際理解、指導力育成に寄与する相共に活動する機会を得ることです。その活動は、主に学校あるいは地域社会を基盤として結成されていますが、インターアクトと言う名称のとおり、「インターナショナル」(国際的) と「アクション」(行動) という２つの語に示されるように、世界的な青少年ネットワークとして発展しております。

その主な目標として、次の項目を示します。

1　指導力と優れた人格の育成
2　他者を尊敬し、進んで助ける態度
3　各人の責任を果たすことや一生懸命努力することの価値の理解
4　国際理解と親善の推進

以上の目標に照らし合わせ、先輩たちが築いて来られた礎を基に、創造性に富んだ奉仕の考え方を持ち、地域、社会へ幅広い奉仕活動となるよう進めて行きたいと考えております。更に、ここ数年来、ロータリーでの青少年危機管理が問われる中、その理解に努め行動基準に則りながら、楽しく活動が出来るようにと考えております。

ＲＹＬＡ委員会

委員長 **山口　宏二**

（長崎RC）

昨年に引き続きＲＹＬＡ地区委員長として活動することになりました長崎ロータリークラブの山口宏二です。ＲＹＬＡは地区内の若き指導者を育成することを目的としています。私の好きな言葉に「今の地球は未来の子供たちからの借り物」という言葉があります。これは決して環境についてだけの言葉では無いと思います。

去る6月9日、10日の2日間、ローターアクトクラブの年次大会が開催されましたが、講演会の講師を務めた被爆者の三瀬清一朗さんは、被爆者が年々減少する中で核兵器絶滅に向けて、「種を蒔き続けないと花は咲かない。」と熱く語られました。道のりは遠くとも活動を継続することへの大切さを肌で感じた次第です。

私たちロータリアンも少子化、地域間格差、事業継承の困難さなど青少年活動を取り巻く環境は年々厳しくなりますが、ローターアクトクラブを中心とした青少年活動の活性化のため、地区内で議論し私たちの地区に多くの優秀な若き指導者の花が咲くことを夢見ながら種を蒔き続けるべく活動していきましょう。

今年度も宜しくお願い致します。

送金のしおり

	送金資金の種類		金　額	期　限	振 込 先
人頭分担金	RI人頭分担金 前期 2018年7月1日現在会員 後期 2019年1月1日現在会員		(年額US$ 64.00) US$ 32.00 US$ 32.00 請求書通りお支払いください。	請求書受領後速やかに	【三井住友銀行】 新宿通支店(普) 6733244 国際ロータリー日本事務局
	途中入会会員RI人頭分担金 ※新会員の入会年月日により納入金が変わります。		請求書通りお支払い下さい	請求書受領後速やかに	
	規定審議会の為の追加会費		上期のみUS$1.00	請求書受領後速やかに	
	地区関係資金等	地区資金	年間 6,800円(半期 3,400円)	2018年7月1日及び2019年1月1日の会員数を基準に15日以内に送金を行う。	【親和銀行】 本店(普) 4155590 第2740地区 地区資金
		ロータリー文庫協力金	年間 300円(半期 150円)		
		全国ガバナー会運営費	年間 200円(半期 100円)		
		平和奨学生支援金	年間 15円(後期のみ 15円)		
		世界社会奉仕資金	年間 360円(半期 180円)		
		ガバナー事務所費	年間 5,400円(半期 2,700円)		
		ガバナー月信購読料	年間 1,000円(半期 500円)		
		国際青少年交換資金	年間 1,400円(半期 700円)		
		計	年間 15,475円		
	地区大会分担金		年間 5,300円	後程ご案内いたします	後程ご案内いたします
寄付金	ロータリー財団寄付金		寄付金:個人/法人/クラブ/地区 寄付分類: 年次基金(シェア) ポリオ・プラス 恒久基金(シェア) 補助金(補助金番号) その他(詳細)	随時	【三井住友銀行】 赤羽支店(普) 3978101 公益財団法人 ロータリー日本財団
	米山記念奨学会寄付金		(普通預金) 金額×会員数(7月1日、1月1日現在)	2018年7月末日 2019年1月末日	【三井住友銀行】 京橋支店(普) 0920373 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会
			(特別寄付) 表彰金額 準米山功労者 3万円以上 10万円未満 米山功労者 10万円以上 準米山功労法人 5万円以上 50万円未満 米山功労法人 50万円以上 100万円未満 米山特別功労法人 100万円以上	随時	
その他	ザ・ロータリアン誌購読料		1部・半期分US$12.00	請求書受領後速やかに	RI人頭分担金と同じ
	「ロータリーの友」購読料		1部・半期分1,200円(税別) ※購読部数	請求書にて請求された時	【三井住友銀行】 浜松町支店(普)7450015 ㈳ロータリーの友事務所
	文献資料代		表示価格	随時	

※ 人頭分担金、比例人頭分担金、規定審議会追加年会費(上期のみ)、ザ・ロータリアン誌はクラブ請求書にて一緒に請求されます。請求書通りにお支払いください。

※ 『ロータリー財団への寄付については「寄付・認証 ロータリークラブの手引き」<https://goo.gl/7LTNWP>をご参照ください。』

Rotary 国際ロータリー第2740地区 2018-2019年度

地区大会

インスピレーションになろう

大会1日目 11/16(金)

ホテルオークラJRハウステンボス

親睦ゴルフ大会 8:00～

佐世保カントリー倶楽部 石盛岳ゴルフコース

RI会長代理歓迎晩餐会 18:30～20:30

ホテルオークラJRハウステンボス

大会2日目 11/17(土)

アルカスSASEBO

本会議

アルカスSASEBO 大ホール

登録受付 11:00～

本会議・点鐘 13:30～16:20

懇親会場へ移動

懇親会 17:40～19:30

ホテルオークラJRハウステンボス

大会2日目 11/17(土)

パールクィーン

エクスカーション

※詳細につきましては後日お知らせ致します

- 海上自衛隊護衛艦見学（予定）
- 九十九島遊覧クルーズ（九十九島パールシーリゾート）
- 昼　食（アルカスSASEBO）
  会場内にて海軍カレー及びさせぼバーガーを提供致します。

大会2日目 11/17(土)

海上自衛隊音楽隊演奏会 12:00～13:00

アルカスSASEBO 大ホール

皆様のご参加をお待ちしております。

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2018.9／vol.03

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

2018-2019年度 RI第3ゾーン ロータリー戦略計画推進セミナー（7/14㈯ 大阪にて）

ガバナー ロータリー情報

ロータリークラブに入会した最初の日本人及び日本のロータリーの始まり

日本人で最初のロータリアンは1914年（大正3年）に佐賀県有田町出身の福島喜三次氏が、当時三井物産のダラス出張所長をされており、その関係でダラス市のロータリークラブに入会されました。福島氏がロータリークラブに在籍中に、米山梅吉氏が経済使節団として訪米の折り、福島さんの自宅を訪問されたとの記録が残っているそうです。福島さんは、帰国後は米山梅吉氏を助けて東京ロータリークラブ設立に尽くされ、大阪に転勤後は1922年（大正11年）に大阪ロータリークラブの設立に尽力されました。

米山氏と共に我が国のロータリークラブの生みの親として日本ロータリー史上に特記される人物です。

福島さんの出身地有田をテリトリーとして設立されているクラブが有田RCで、クラブで福島顕彰碑を建立され、福島記念奨学金制度も作られております。

我が国のロータリークラブは、米山梅吉氏がダラスで福島喜三次氏よりロータリーについて聞き、大いに心を動かされて帰国され、1920年（大正9年）10月20日東京に東京ロータリークラブを設立し、1921年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認されました。会長は米山梅吉、幹事は福島喜三次、会員数は24名でした。

現在の米山記念奨学会は東京ロータリークラブ内で米山氏を記念して作られた奨学金制度でしたが、その後、拡大を続け日本のロータリーでの事業となり、現在では日本最大の支給タイプの奨学金制度となっています。

その後、第2次世界大戦の結果、一時国際ロータリーから脱退（1940.9.11）はしたものの、その精神を堅持し名前を変えて会合に努め、戦後国際復帰への努力が実り、1949年3月、東京、大阪をはじめ各クラブの国際ロータリーへの復帰が認められ、今日に至っております。

CONTENTS

◉ 地区委員長挨拶…… 2
◉ ガバナー公式訪問クラブ報告…… 4
◉ 地区大会のご案内…… 8

地区委員長挨拶

地区委員会について

リーダーとしての豊かなスキル、経験、熱意を持つ委員から成る地区委員会は、地区ガバナーによって任命されます。クラブと地区の活動や運営を援助するこれらの委員会は、地区目標の設定においてガバナーと協力します。

第2740地区には、下記の15の委員会があります。

- クラブ管理運営委員会
- 会員増強委員会
- 公共イメージ委員会
- ロータリー財団委員会
- 奉仕プロジェクト委員会
- 職業奉仕委員会
- 米山記念奨学委員会
- ローターアクト委員会
- インターアクト委員会
- 国際青少年交換委員会
- RYLA委員会
- 資金管理委員会
- ポリオプラス委員会
- 資金推進委員会
- 補助金委員会

クラブ管理運営委員会

委員長 **竹田　健介**

(平戸RC)

クラブ管理運営委員長を拝命して2年目に入ります。昨年度は会員増強委員会、公共イメージ向上委員会との3合同委員会セミナーを開催し、全体会議では「クラブ戦略計画の推進について」というテーマで他地区のパストガバナーに講演していただきました。それぞれのクラブが時代に適応したクラブから、将来への備えができるクラブへと変容していかなければならないなどの示唆に富んだお話でした。その後、各分科会に分かれ、より深く突っ込んだ内容の研修、質疑応答で締めくくりました。

今年度の計画は同じく3合同委員会で9月にセミナーを開催いたします。福田ガバナーからロータリーへの思いを語っていただき、その後、各委員長の時間をいただいて全体会2時間ですべてを行う予定です。そして懇親会もやろうと計画しています。飲んで食べて大いに議論を戦わし、交流を深めることを主眼としています。後日案内がありますので、たくさんの皆さんの参加をお願い致します。

バリー・ラシンRI会長はおっしゃっています。「全世界で、ロータリーはかつてないほど重要な存在となっており、より良い世界を築くその潜在能力は莫大です。・・・私たちのクラブ内でさえ、多くのロータリアンがロータリーについて十分に知らず、ロータリー会員であることの恩恵を十分に享受していません」。それぞれの潜在能力を存分に活かして奉仕に勤しみたいものです。

会員増強委員会

委員長 **加納洋二郎**

(佐世保RC)

今年度、地区会員増強委員長を務めます。宜しくお願い致します。

福田ガバナーの運営方針に基づき、地区会員のためのセミナーを計画致します。

これまでも会員の増強策については、時代の変遷のなかで多くの対策が講じられてまいりました。実に深く重い永遠のテーマであろうと思います。

今年度はこれまで地区活動にてご尽力いただきました歴代委員長の行動実績を踏まえて、これから取り組むべき課題を再認識し、これまで以上に各クラブの共通テーマとして頂くため、その提案の場をまず実現致したいと考えます。

地区会員セミナー開催は、クラブ管理・運営委員会の竹田委員長、公共イメージ委員会の久保委員長、そして当委員会と各委員会会員の皆さんのご協力のもとに開催実現致したく存じます。何卒宜しくお願い申し上げます。

米山記念奨学委員会

委員長 **大家　和義**

(小城RC)

今年度も引き続き、米山記念奨学地区委員長をさせて頂きます、大家和義（小城RC）です。地区委員の経験者である本多、本村、牧、中嶋さんの留任をお願いし、更に良い結果を残せるように頑張っていきます。

これからの総ての事業に悔いを残さぬように心掛けていきますが、思うようにお世話出来るか？心配では有りますが、努めてまいりたいと思っております。

また、今年の米山記念奨学生への配慮が充分出来るのか心配ですが、地区委員の本多委員には顧問・学友会担当、本村委員には奨学生担当、中嶋委員には寄付増進担当として、ご指導を頂きたいと思っており、他の地区委員の皆様のご協力をお願いし、頑張って努めていきますので、第2740地区内の57RCの会員の皆さん、特にクラブ米山委員長の皆さん、どうぞ宜しくお願い致します。

福田ガバナーより、年間個人平均寄付額￥16,000円／人を目指すことを、地区研修・協議会・クラブ訪問時等の折に呼び掛けて頂いておりますので、私と共に地区委員とカウンセラーの皆様には米山月間の10月前後に実施する「出前卓話」にお供して頂き、個人平均寄付額の目標達成を呼び掛けて頂くよう、お願い申し上げます。

地区委員長挨拶

ローターアクト委員会
委員長 **西畑栄一郎**
（佐世保東RC）

本年度ローターアクト委員長を拝命いたしました佐世保東RCの西畑と申します。微力ではございますが、歴代委員長のご尽力を仰ぎつつ、また、地区委員の方々のご協力をいただきながらこの1年間を全うしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

さて、ローターアクトクラブは、18～30歳を対象にロータリークラブが1968年に提唱した青少年育成プログラムで、親睦と奉仕活動を通じて、個々の能力の開発や知識・技能の向上を図ることを目的としております。

現在、地区内ではローターアクト7クラブ（唐津、鹿島、長崎、長崎北、島原、長崎国際大、佐世保東）が活動を行っています。

地区内のローターアクトクラブは、年々クラブ数および会員数が減少しており、クラブ会員数およびクラブ数の増強が喫緊の課題ととらえております。ローターアクターの皆さん方は、熱心にも楽しくリーダーシップ研修やボランティア活動をなさっております。ローターアクトクラブの魅力をどのように広げられるかを樋口ローターアクト地区代表とも協議をしながら、地区委員の皆様とともに取り組んでまいる所存ですのでどうぞよろしくお願いします。

国際青少年交換委員会
委員長 **下津浦正明**
（佐世保南RC）

2018年度RI第2740地区国際青少年交換委員会委員長を拝命致しました下津浦正明（佐世保南RC）です。通算3年の地区委員出向を経て、委員長を仰せつかりました。会員の皆様1年間どうぞよろしくお願い致します。

青少年交換プログラムはRIの公式プログラムです。益々、この当地区におけるプログラムの活性化を図り、青少年育成のために委員会を盛り上げていく所存です。

今後の委員会運営に加え、派遣学生、ホストファミリーの募集など問題も山積しておりますが、鋭意これらの問題に取り組み、より良い、より活発な活動を続けて参ります。

より多くのロータリアンにこのプログラムにご参加いただきたいのですが、クラブの規模によっては予算が組めず、このプログラムに参加する事が出来ないというのが実情です。こういう事は人頭分担金を予算としている委員会としては心苦しく、目標としては地区内の10グループにおいて、各グループが毎年1人の学生を交換できるようにマルチ受け入れ体制を整えてみたいと思っています。是非、交換プログラムの啓蒙も含めて、グループごとの会議を開催される機会に訪問させていただきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

資金管理委員会
委員長 **岡村　康司**
（長崎南RC）

当委員会3期目の委員長を担当致します。

当委員会は、財団から各クラブに助成された補助金が各クラブにおいて適正に管理されるよう下記の4項目を重点に行ってまいりました。今年も地区内22クラブから地区補助金の申請を受けておりますが、事業の目的が達成できるよう努めたいと思います。難解なものを極力平易なものにしていくこと、これも大事な目的であるので職業奉仕の一環と考えて引き続き職務を全うしてまいりたいと思います。

2013～2014年度に初めて設置されたこの委員会も5年が経過して、各クラブにおかれても補助金への理解が深まったものと思いますが、今年度も次の4項目に沿って活動致します。

① 財務管理計画書および地区との覚書（MOU）の作成
② 財団セミナーや補助金セミナーを通じて、各クラブの補助金に対する意識と理解を高めることで補助金事業を支援していく
③ 補助金に関する利害対立を未然に防ぐ手段を講じる
④ 資金の不適切な利用や管理がないよう周知を行う

1年間ご協力よろしくお願い致します。

ポリオプラス委員会
委員長 **上田　康雄**
（長崎北RC）

本年度のポリオプラス委員長を拝命いたしました上田です。

ポリオはウイルスによっておこる感染症です。人から人へ食物などを介して経口的に感染します。ほとんど（9割）が不顕性感染で、症状が出ても軽い風邪程度ですが、まれに（1%）ウイルスが中枢の運動神経をおかして麻痺を起こします（小児麻痺、急性灰白髄炎）。日本においても昭和24～36年頃にかけて大流行しました。

ポリオはワクチンによる予防が可能です。ポリオは1988年には世界125カ国において年間35万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により2009年には約1600例まで減少、2017年は22例です。現在、ポリオの常在国はパキスタン、アフガニスタンの2カ国のみです。この取り組みが、ノーベル平和賞受賞者の財団が行う「One Billion Acts of Peace キャンペーン、ベスト非営利活動部門」の2018年ヒーロー賞に選ばれました。しかし、ポリオは感染力が強く不顕性感染も多いところから完全な根絶にはもうしばらく時間がかかりそうです。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いします。

地区委員長挨拶

資金推進委員会
委員長 **古賀　秀仁**
（伊万里西RC）

2018-2019年度地区資金推進委員会委員長を仰せつかりました伊万里西ロータリークラブの古賀秀仁です。

ロータリー財団は100年以上の歴史があり、ロータリークラブは世界最大の奉仕団体だと言われております。ご承知の通り財団ではポリオ撲滅やグローバル補助金など数々の有意義な奉仕活動を行っています。この奉仕活動の資金は皆様方のご寄付によるものです。毎年のご寄付は大変な事と存じますが財団の奉仕活動をご理解いただき、財団寄付一人150ドル/年間を達成して頂きたいと思います。公共イメージアップも含めロータリークラブが発展し続けるため、各クラブの皆様からのご寄付をお願い申し上げます。

地区委員会ではロータリーカードの普及も薦めております。ロータリーカードを利用すればカード利用額の0.3％が自動的にポリオ撲滅資金に回ります。また、ロータリーカードは個人口座決済用、会社口座決済用、ETCカードと、一度に３枚発行する事が出来ます。

後日各クラブ宛にロータリーカード加入のお願いを致しますので、こちらの方も是非ご協力ください。

補助金委員会
委員長 **隅　　康二**
（佐賀西RC）

日頃より財団活動へのご理解、ご協力有り難うございます。昨年に引き続き補助金委員長を務めさせて頂きます。何卒よろしくお願い致します。

補助金には地区補助金とグローバル補助金の2種類があります。地区補助金は、比較的小規模で自由度の大きな事業を地区の裁量にて決めることができます。一方グローバル補助金は６重点分野の事業に限られ、比較的規模の大きな事業を実施国のRCとの間で合意していることが前提条件となります。ややハードルの高い事業ではあります。

2740地区では今年度、地区補助金事業として22クラブからの申請と２つの国際事業、１つの奨学事業が承認されました。グローバル補助金事業では、ウランバートルRCとの連携による肝炎対策、ベラルーシRCとの連携による原発事故による影響調査・支援の計画が進行しております。

財団はいつも、どこかで、誰かが忙しい委員会ですが、会員の皆様のインスピレーションになれるように、今年も頑張って参りたいと思います。どうぞお気軽にお声かけ頂ければ幸いと存じます。よろしくお願い致します。

ガバナー公式訪問クラブ報告

神埼RC・佐賀空港RC　7月10日㈫

神埼RC／会長：西村　明美　　幹事：大川　哲矢
佐賀空港RC／会長：池田　光晴　　幹事：塚本　喜紀

福田金治ガバナー、田中洋介ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、佐賀空港ロータリークラブ様とのガバナー公式訪問・合同例会を当クラブ会場（吉野ヶ里町商工会館）にて開催致しました。

例会前の30分程度、福田ガバナーよりロータリークラブが定款及びクラブ細則を必ず作成しなければならない理由や、新会員の研修の充実が会員増強につながること、11月に開催される地区大会に向けての意気込み等、具体的なご教示を頂きました。

例会卓話では、RIテーマ・運営方針の説明から始まり、昨年度のテーマ「変化をもたらす」を踏襲された地区運営方針の説明を受けるにあたって、変えてはならない根本をしっかりと守りつつ時代の変化、潮流の変化に沿って変わるべきは勇気をもって変えていく不易流行が示唆されていることを感じました。当クラブに於いては、情報・活動・広報の３本柱を軸にネットワーク・交流・IT機器の駆使をうまく使い分けながら、クラブ運営に生かしていけるよう努力していく所存です。

また、会員増強について要は入会された方の退会を極力少なくすることであるという、新会員に対する愛情あふれた人材育成の具体策は、今後のクラブ運営にぜひ取り入れたい内容でした。

福田ガバナーはじめご来訪いただきました皆さまのご指導に感謝申し上げますとともに、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。（文／神埼RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

多久RC・佐賀大和RC　7月12日㈭

多久RC／会長：相浦　封哉　　幹事：船津美奈子
佐賀大和RC／会長：松永　光司　　幹事：牧瀬　正和

７月12日㈭、福田金治ガバナー、音成日佐男ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、佐賀大和ロータリークラブ様との合同の公式訪問を開催致しました。

２クラブ合同の公式訪問でありましたが、例会場を設営された松永会長はじめ佐賀大和ロータリークラブの皆様には大変お世話になりました。

例会では、福田ガバナーよりRIテーマ「インスピレーションになろう」について具体的な説明があり、また、地区大会や数々の地区行事の成功に向けての熱い想いをお伺い致しました。

また、新会員研修会を毎年実施し、入会３年未満の会員の退会者を少なくし、会員増強に繋げること等のご提案を承りました。

大変有意義な合同例会であったと思います。

ご訪問頂きました福田ガバナーはじめ地区役員の皆様に厚く御礼申し上げます。（文／多久RC）

佐賀南RC　7月17日㈫

会長：江副　　了　　幹事：古川　尋美

7月17日㈫、福田金治ガバナー、田中洋介ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

前週の10日には、クラブ協議会を無事済ませ、田中ガバナー補佐には２週続けてのご来訪となりましたこと、感謝申し上げます。

例会に先立ち、会長、会長エレクト兼幹事との懇談会が30分程度行われ、当クラブの現況や運営方針、継続して実施している環境保全活動に加え、新事業として、9月には地区補助金を使った社会奉仕活動の実施、またガバナー補佐輩出クラブとして、来年2月にはIMを実施する旨の説明を致しました。

特に、IMでは、ガバナー方針でもある「会員の退会防止と新会員のサポート」をテーマに、各クラブへの参加ご協力をお願いしたいと考えています。

福田ガバナーからは、駒井直前ガバナーを輩出したクラブとして、当クラブへの感謝と労いの言葉を頂戴致しました。

今年度RI方針・地区方針である「インスピレーションになろう」の卓話では、「インスピレーション」には、「鼓吹、激励、実行」という意味があるので、インスピレーション（鼓吹、激励、実行）する人になろう！という解釈をもって、この一年間活動を行なってほしいと、激励をいただきました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

小城RC・牛津RC　7月18日㈬

小城RC／会長：古川　博文　　幹事：古賀　正人
牛津RC／会長：谷上　　守　　幹事：栗原　賢司

今回は、牛津ロータリークラブの例会場において、福田金治ガバナー、音成日佐男ガバナー補佐及び増本一也地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会（第2587回）を開催致しました。

福田金治ガバナーの卓話は、RIテーマの「インスピレーションになろう」を地区運営方針にも定め、ひらめき、思いつきを活かし、自ら行動を起こして、クラブ会員や他クラブのロータリアンに刺激を与える人になろうと呼びかけられました。

奨学生の対象者の変遷（経済的弱者から成績優秀者へ）についての話は、ロータリーの考え方への警鐘もあったのではと感じました。

10月のロータリーデイへの取り組み、マイロータリーへの登録推進、メディアを活用してのクラブ活動のPR等には積極的に取り組んでいるところですが、更に工夫を凝らして地域の皆さんへの情報発信に努めていきたいと思います。

そして、「出席して良かった」と思える例会のあるクラブづくりを進めて参ります。

（文／小城RC）

大町RC・白石RC　7月19日㈭

大町RC／会長：諸石　一三　　幹事：三宅　　毅
白石RC／会長：山口　繁喜　　幹事：池上　　司

7月19日㈭、福田金治ガバナー、原 幸二ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えし、大町・白石合同公式訪問例会を開催致しました。例年行われていた懇談会はありませんでしたが、例会前に福田ガバナーよりクラブ定款、細則について分かりやすくご指導をいただきました。他にも色々なお話ができ、楽しい時間を過ごすことができました。

ガバナー卓話では、今年度国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」の解釈、国際ロータリー及び地区の運営方針、ロータリーのあり方、基本を口頭でご説明いただきました。今年度、我がクラブは会員増強に力を入れておりますが、福田ガバナーのお話を聞き「退会防止の重要性」を再認識しました。

また、広報にも力を入れ、まずは多くの方にロータリーを知っていただくことが大切だと思っています。

猛暑の中でのご訪問に対して、両クラブ会員一同心より感謝申し上げますとともに、今後のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。（文／大町RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎東RC・長崎みなとRC　7月20日㈮

長崎東RC／会長：川上　信幸　　幹事：中島健太郎
長崎みなとRC／会長：池田　俊明　　幹事：木村　道隆

梅雨明け早々から記録的な猛暑となった7月、20日㈮に福田金治ガバナー、瀬崎陽三ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催致しました。

今回は長崎みなとロータリークラブとの合同例会、点鐘はご持参頂いた100周年記念の金鐘を使用し、賑やかな雰囲気での例会となりました。

卓話では、RI会長バリー・ラシン氏の運営方針「BE THE INSPIRATION」の解釈、ロータリーDAY、マイロータリーへの登録促進など国際ロータリーの運営方針、地区の運営方針などご説明頂きました。懸念である会員増強について、新会員の退会を極力少なくする努力がクラブの拡大に繋がるといった考え方をご提示いただき、大変勉強になりました。その他にも財団の活動、地区大会の予告なども含み、情報量の多い有意義な時間を過ごせたと思います。

福田ガバナーを始め皆様方のご来訪に感謝いたしますと共に、今後ともご指導くださいますようお願い申し上げます。（文／長崎東RC）

武雄RC　7月23日㈪

会長：井手　静雄　　幹事：梶川ゆり子

7月23日㈪に福田金治ガバナー、原 幸二ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。

当日も、連日のうだるような猛暑の中、12時には会場の武雄センチュリーホテルに到着され、アイスコーヒーを飲みながら、しばし当武雄クラブの会長私、梶川幹事と懇談をしていただきました。40年を超えるロータリー歴を思わせる蘊蓄あるお話に聞き入っている内に12時30分例会の入場開始となり、2740地区100周年を記念してRIから送られた金色の鐘にて点鐘。

通常の例会次第に沿って会は進み、本日の卓話・福田ガバナーの登壇、地区運営方針をわかりやすく語られました。スライドもなく流暢に語られる運営方針に、ある意味の新鮮さを覚えたのは私だけでしょうか。私からの御礼とバナーの贈呈を行い、例会終了の点鐘。この後は記念撮影で、笑顔のひとときを過ごし、無事に一切終了となりました。

よくパスト会長の先輩方々から「ガバナー公式訪問までは気が抜けないもんね。」と温かい激励を受けてきましたが、会長エレクトの時以来の緊張感がスーッとフェイドアウトしたような瞬間でした。今、この原稿を書くに当たって思いますに、「終わったあ」というよりむしろ「いよいよ始まったあ」という感じです。

地区の皆様、これから1年間よろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2740地区 2018-2019年度

地区大会

インスピレーションになろう

2018 11/16(金)・17(土)

〈本会議会場〉アルカスSASEBO

〈懇親会会場〉ホテルオークラJRハウステンボス

第2740地区ガバナー
福田　金治

佐世保RC会長
古賀　巖

地区大会実行委員長
橘髙　克和

大会1日目 11/16(金)

ホテルオークラJRハウステンボス

◉**記念ゴルフ大会** 8:00～

会場：佐世保カントリー倶楽部 石盛岳ゴルフコース
（長崎県佐世保市知見寺町1410　TEL：0956-49-5654）

◉**RI会長代理歓迎晩餐会** 18:30～20:30

会場：ホテルオークラJRハウステンボス
（長崎県佐世保市ハウステンボス町10番　TEL：0956-58-7111㈹）

大会2日目 11/17(土)

◉**海上自衛隊艦艇見学**（予定）

◉**ランチ** 10:30～

会場：アルカスSASEBO イベントホール
（長崎県佐世保市三浦町2-3　TEL：0956-42-1111）

会場内にて海軍カレー又はさせぼバーガーを提供致します。

◉**海上自衛隊音楽隊演奏会** 12:00～13:00

会場：アルカスSASEBO 大ホール
（長崎県佐世保市三浦町2-3　TEL：0956-42-1111）

大会2日目 11/17(土)

アルカスSASEBO

◉**本会議**　登録受付　11:00～
本会議・点鐘　13:30～16:20

会場：アルカスSASEBO 大ホール
（長崎県佐世保市三浦町2-3　TEL：0956-42-1111）

懇親会場へ移動

◉**懇親会** 17:40～19:30

会場：ホテルオークラJRハウステンボス
（長崎県佐世保市ハウステンボス町10番　TEL：0956-58-7111㈹）

Rotary 国際ロータリー第2740地区　ホストクラブ：佐世保ロータリークラブ

〔お問い合わせ〕国際ロータリー第2740地区 2018-19年度 地区大会事務局

〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F　Tel：0956-37-0002　Fax：0956-37-2741　E-mail：ri2740conf@air.ocn.ne.jp

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2018.10／vol.04

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2740地区 2018−2019年度 インターアクト年次大会（7/28㈯ 佐賀市）

ガバナー ロータリー情報

ロータリー米山記念奨学会について

米山記念奨学会の事業は、日本最初のロータリークラブを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブが1952年に米山奨学制度を設立したのが始まりです。

その後、1967年に、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立され、日本最大の奨学団体となっております。

当初は、東南アジアの国々からの留学生で、経済的困窮を理由に修学を断念する学生を対象とする奨学金でしたが、2006年度制度改変により、「将来日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成する。」というように奨学会の目的が変更されております。

その結果、この使命に適うような人物、学業に優れた人材であれば、経済的に困窮しているのか否かを問わない、質を重視した奨学金制度に変わりました。

最終的には財団理事会により、「今後は救済支援型奨学金ではなく、知的貢献型奨学金制度にする。」という決定がなされました。

従いまして、現在のロータリーの米山記念奨学会は、大学で設けられている奨学金と異なり、経済的困窮を理由に修学を断念する学生を対象とするという性格の奨学金とはなっておりません。

当地区においても、「苦学生か否か」の経済的理由は選考の基準としておりません。

奨学金の種類・金額は下記の通りです。

奨学生の種類		金額(月額)
修士・博士課程奨学生		14万円
学部課程奨学生		10万円
地区奨励奨学生		7万円
クラブ支援奨学生	学部	10万円
	修士・博士	14万円
海外学友会推薦奨学生(上級研究員)		14万円
海外応募対象奨学生	学部	10万円
	修士・博士	14万円

CONTENTS

◉ ガバナー公式訪問クラブ報告…… 2
◉ 新会員紹介…… 6
◉ 逝去会員、寄付者紹介…… 7
◉ 地区大会のご案内…… 8

ガバナー公式訪問クラブ報告

鹿島RC・太良RC　7月24日㈫

鹿島RC／会長：植松　信安　幹事：織田　高徳
太良RC／会長：田嶋　征光　幹事：川島　力男

鹿島ロータリークラブ第2615回の例会は、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、原 幸二ガバナー補佐の3名のご出席を頂き、また太良ロータリークラブ会員出席のもと、合同ガバナー公式訪問例会として開催致しました。

例会前に懇談会が行われ、今年度の地区運営について説明があり、その後、鹿島ロータリークラブの本年度の事業について意見交換を行いました。和やかな雰囲気の中で分からないことの相談ができ、有効性、適切性、様々な観点からお教えいただくことが多く、非常に有意義な時間でした。

例会では「R-O-T-A-R-Y」の合唱に始まり、バナー贈呈等を経て、RIテーマ「インスピレーションになろう」について、また地区の本年度活動方針、内容について説明がありました。魅力あるロータリー活動を行っていきたいとの思いが強くなりました。

ガバナーにおかれましては、今後とも私共会員へのご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。また、お体ご自愛の上、ご活躍を祈念申し上げます。

（文／鹿島RC）

佐賀西RC・佐賀北RC　7月25日㈬

佐賀西RC／会長：隅　康二　幹事：永尾　竹則
佐賀北RC／会長：福井　泰成　幹事：田中雄一郎

平成30年7月25日㈬、福田金治 第2740地区ガバナー、田中洋介 第2グループガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を佐賀北ロータリークラブさんと合同で開催致しました。

当日は、例会に先立ち、佐賀北ロータリークラブ会長、幹事、当クラブ会長、幹事が参加して、ガバナーより、今年度の地区大会のご案内を頂きました。

合同例会では、福田ガバナーより卓話を頂戴し、本年度のRI方針、地区方針等のご説明を頂きました。また、RIのテーマである“Be The Inspiration”について、改めて、鼓舞・激励・実行する人になろうという解釈になること等ご説明頂きました。また、CLPやマイロータリーへの登録、会員増強ではカウンセラー制度の設置等ご説明頂きました。

今年の夏は例年にない酷暑にもかかわらず、福田ガバナー、田中ガバナー補佐、増本地区幹事のご来訪に感謝しますとともに、今後ともご指導の程よろしくお願い申し上げます。

（文／佐賀西RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐賀RC　7月26日㈭

佐賀RC／会長：岸川　正人　　幹事：平川　知裕

7月26日㈭に、福田金治ガバナー、音成日佐男ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、岸川会長、山下会長エレクト、幹事との懇談会を行ない、当クラブの現況報告及び運営方針など、お尋ねに答えながら説明させて頂きました。ガバナーやガバナー補佐、地区幹事の気さくで温かい人柄に触れる有意義な時間を過ごすことができました。

福田ガバナーのロータリーに対する知識が非常に豊富で感銘した次第です。

また例会では、ガバナーから本年度のRI、地区の方針、クラブとして何をすべきか、についての分かりやすいご講演を頂きました。

当クラブ会員一同心よりお礼申し上げますとともに、ご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

有田RC・嬉野RC　7月27日㈮

有田RC／会長：西山　晴男　　幹事：小林　成朗
嬉野RC／会長：渕野　虎登　　幹事：諸井　好晴

今年の公式訪問は例年とは違ったものでした。

ガバナー及び地区幹事の負担を軽減するため原則40名以下のクラブは2クラブ合同の公式訪問となり、2018年7月27日㈮ 嬉野観光ホテル大正屋にて、国際ロータリー第2740地区福田金治ガバナー、原 幸二第3グループガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えし、嬉野ロータリークラブと有田ロータリークラブ合同での公式訪問例会を開催致しました。

例会に先立ち、嬉野ロータリークラブ会長、幹事、有田ロータリークラブ会長、幹事との懇談会において、福田金治ガバナーより要望等をお伝え頂き有意義なご意見を拝聴することが出来ました。

その後の例会では、福田金治ガバナーに本年のRIテーマ「インスピレーションになろう」は、「インスピレーション（鼓舞・激励・実行）する人になろう」と言う解釈になるということや、国際ロータリー運営方針、地区運営方針についてわかりやすくご説明頂きました。

ご訪問頂いた福田ガバナー、原ガバナー補佐、増本地区幹事の今後のご活躍をお祈り申し上げますと共に、ご指導宜しくお願い致します。

（文／有田RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

唐津RC・唐津西RC　7月31日㈫

唐津RC／会長：平野　直人　　幹事：佐々木智之
唐津西RC／会長：河野　智幸　　幹事：松本　清則

平成30年7月31日㈫、福田ガバナー、増本地区幹事、川添ガバナー補佐をお迎えして、ガバナー公式訪問合同例会を開催いたしました。

今回の例会は、唐津ロータリークラブ、唐津西ロータリークラブとの合同例会であり、約100名が集まりました。初めてのことで準備が追い付かなく、粗相がないか心配ではありましたが、無事に終えることができ、安堵しております。

また、例会に先立ち懇談会の予定が計画されていませんでしたが、早く会場に到着され、少しの間、談話ができました。その場で理事役員の構成と定款についてご指導して頂きました。再度、見直したいと考えています。

公式訪問例会では、福田ガバナーの卓話を聴くことができ、RIテーマと地区運営方針を詳しく知ることができました。例会終了後、全員で記念写真撮影をし、滞りなく例会を終えることができました。

今回、2RCの合同例会により、他クラブとの懇親を深めることができ、すばらしい例会だったと思います。

猛暑、厳しき折、お身体に充分ご留意され、無事に公式訪問が終わることをご祈念申し上げます。

ありがとうございました。

（文／唐津RC）

佐世保東南RC
ハウステンボス佐世保RC　8月1日㈬

佐世保東南RC／会長：平地　　誠　　幹事：里元　浩二
ハウステンボス佐世保RC／会長：川副源太郎　　幹事：古市　　寛

2018年8月1日㈬、佐世保東南ロータリークラブ第1238回例会を開催しました。

今回は「ガバナー公式訪問」です。福田金治ガバナー、森山隆明ガバナー補佐、そして増本一也地区幹事をお迎えしての公式訪問例会となりました。

当日は、ホテルオークラJRハウステンボスにてハウステンボス佐世保ロータリークラブとの合同公式訪問になりました。

今年度、地区の運営方針の中で、「ガバナー」「地区幹事」の負担を少なくするため、原則40名以下のクラブは2クラブ合同の公式訪問となっており、双方のクラブにて事前打ち合わせを重ね、まずは無事に公式訪問が滞りなく閉会したことに安堵しております。

また、公式訪問での事前懇談会は運営方針で原則行わないとされている中で、時間を設けて頂きました。

クラブ定款についてのご説明、また2018年11月16日㈮、17日㈯に行われる地区大会のプログラム、地区大会記念事業について説明をされました。

例会では福田ガバナーによる卓話を行って頂きました。

RIテーマである“インスピレーションになろう”を冒頭に、国際ロータリーの運営方針である「マイロータリー」への登録の促進、活動実績の外部への広報などの説明、そして地区の運営方針の7つを分かりやすく拝聴しました。

また11月に地区大会を控えており、会員の皆様にプログラムを説明されているのを見て、地元開催ということもあり、より一層力が入っている事が分かりました。

私たちも最大限のご協力をさせて頂きたいと思います。

この度の合同公式訪問ではハウステンボス佐世保ロータリークラブのご協力、サポートを頂き素晴らしい合同公式訪問となりました。本当にありがとうございました。また、例会終了後、全員で記念撮影を行いました。

福田金治ガバナー、森山隆明ガバナー補佐、増本一也地区幹事にはこの度のご来訪に対し感謝申し上げます。今後ともご指導ご支援をお願い致しますと共に、益々のご活躍をお祈り申し上げます。　（文／佐世保東南RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

唐津東RC・唐津中央RC　8月2日㈭

唐津東RC／会長：佐伯　岳歩　　幹事：川原　浩心
唐津中央RC／会長：佐々木義文　　幹事：竹尾　秀樹

経験したことがないような猛暑が続く8月2日㈭、福田金治ガバナー、川添信雄ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を開催致しました。今年度は、唐津中央ロータリークラブとの合同で開催し、出席者が90名近い賑やかな例会となりました。

会場到着後の懇談では、クラブ定款や細則、活動報告書についての改善アドバイスがあり、今後の運営に活かせる貴重なご意見を頂戴し感謝しております。

例会開会では、お持ち頂いた特別なゴングで点鐘し、厳かな音色が会場に響きました。また、福田ガバナーからは、卓話の中でロータリーの重要な規定や用語を懇切丁寧に説明頂き、会員一同、大変有意義で勉強になったものと思います。

福田ガバナーはじめ地区役員の方々の、更なるご活躍とご健勝を祈念申し上げます。

（文／唐津東RC）

唐津東RC

唐津中央RC

平戸RC・北松浦RC・松浦RC　8月3日㈮

平戸RC／会長：渡邉　栄二　　幹事：松永いづみ
北松浦RC／会長：横尾　成人　　幹事：上ノ原宏二
松浦RC／会長：中山　吉則　　幹事：本吉　直之

平成30年8月3日㈮、福田金治ガバナーの斬新な改革で松浦ロータリークラブ、北松浦ロータリークラブ、平戸ロータリークラブの三地区合同公式訪問例会となり、松浦ロータリークラブがホストクラブで、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、山﨑 弘ガバナー補佐をお迎えして、当日は例会前に三地区の会長幹事を交えての懇談会で、各クラブのクラブ活動計画・報告書へのご指導があり、RIの定款、細則の変更に伴う、各クラブでの対応についてのご説明がありました。また第5・6グループの再編も検討中である事と、地区大会も斬新な改革がなされている事への説明を、解りやすく伺う事ができました。

その後、松浦ロータリークラブ恒例の全員握手会で例会が始まり、とても良い印象でした。

例会は福田金治ガバナーの卓話で、RIと地区のテーマである、日本語と少し意味が異なる「BE THE INSPIRATION」のお話と、地区の運営方針をお聞かせ頂き、斬新な三地区合同公式訪問例会を無事終わることが出来ました。

猛暑の中、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、山﨑 弘ガバナー補佐のご来訪に感謝しますとともに、１年間のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

（文／平戸RC）

新会員紹介 ～7月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

小城RC

大澤（おおさわ） 克己（かつみ） 君
㈱大澤保険
代表取締役

小城RC

常松（つねまつ） 久信（ひさのぶ） 君
(医)ひらまつ病院
財務部部長

佐賀北RC

飯盛（いいもり） 裕介（ゆうすけ） 君
日新こども園
園長補佐/事務長

神埼RC

雪竹（ゆきたけ）あゆみ 君
㈱西村商店

嬉野RC

宮﨑（みやざき） 里美（さとみ） 君
㈲ヤマダイ
取締役社長

唐津東RC

川辺（かわなべ） 啓史（たかふみ） 君
九州電力㈱唐津営業所
所長

伊万里西RC

小木（こぎ） 学（まなぶ） 君
佐賀銀行
支店長

佐世保西RC

竹永（たけなが） 智彦（ともひこ） 君
竹永測量・登記事務所
土地家屋調査士

松浦RC

飯田（いいだ） 健三（けんぞう） 君
第一生命保険㈱
江迎松浦営業オフィス
営業部長

佐世保南RC

池田（いけだ） 乃（おさむ） 君
九州ひぜん信用金庫
常勤理事(佐世保営業部長)

大村RC

隅田（すみだ） 和弘（かずひろ） 君
オリエンタル
エアブリッジ㈱
常勤監査役

雲仙RC

関（せき） 貴治（たかじ） 君
㈾長崎開発
所長

諫早RC

大平（おおひら） 伸（しん） 君
㈱クロダ
代表取締役

諫早北RC

川﨑（かわさき） 健（けん） 君
鎮西学院高等学校
校長

長崎RC

西川（にしかわ） 佳祐（けいすけ） 君
九州旅客鉄道㈱
長崎支社
支社長

長崎北東RC

山口（やまぐち） 貴史（たかふみ） 君
㈱リアルエステートPlus
専務取締役

長崎西RC

柳（やなぎ） 龍一郎（りゅういちろう） 君
旭栄産業㈱
代表取締役

長崎西RC

石山（いしやま） 俊介（しゅんすけ） 君
長崎文化放送㈱
メディアビジネス局長

長崎東RC

浜野（はまの） 哲夫（てつお） 君
株式会社テレビ長崎
常務取締役

長崎東RC

松尾（まつお） 真吾（しんご） 君
株式会社松尾酒店
取締役

長崎みなとRC

植田（うえだ） 秀之（ひでゆき） 君
㈲植田瓦工業
代表取締役

長崎出島RC

風間（かざま） 剛（つよし） 君
三井生命保険㈱
長崎支社長

逝去会員

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

南里　保和 会員（多久RC）
逝去日：2018年7月29日（享年74歳）
入会日：2000年4月8日
勤務先：株式会社 南里運送　代表取締役
クラブ役職：2013～2014年度　会長

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（7月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
副島　洋平	1	佐世保西
吉武　直亮	1	佐世保西
崎田　誠伸	2	佐世保西
江口　圭介	3	佐世保西
福田　輝機	7	佐世保西
中島　洋三	2	佐世保南
宮地　学	3	佐世保南
作元　誠司	3	佐世保南
川尻　治	4	佐世保南
菖蒲　公治	5	諫早多良見
川原　強	1	長崎
神之浦　潔	7	福江中央
竹山　直樹	1	長崎北
中嶋　久光	6	長崎北

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
上村　昇	佐世保南

■ベネファクター

氏　名	クラブ名
川原　強	長崎
張本　民雄	福江

◆米山記念奨学会（7月）

■メジャー・ドナー

氏　名	回数	クラブ名
岩崎　邦臣	13	佐世保西
神之浦　潔	10	福江中央

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
犬塚　勝政	6	伊万里
宮崎　邦喜	2	唐津中央
中島　洋三	2	佐世保南
宮地　学	3	佐世保南
近藤　正人	2	佐世保南
馬郡　謙一	5	佐世保南
太田　博道	6	佐世保南
山口　嘉浩	7	佐世保南
岩崎　修一	9	諫早北
中村　栄治	2	福江

■米山功労者

氏　名	クラブ名
谷嶋要三郎	嬉野
山口　保	嬉野
内田　一	長崎北
藤本　勝己	長崎みなと

第2740地区 2018年7月出席報告

2017年7月1日クラブ数	57 RC	2018年7月末日会員数	2,248 名
2018年7月平均出席率	83.3 %	（うち女性会員	92 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2018年7月入会者	23 名
（うち女性会員	91 名）	2018年7月退会者	11名

国際ロータリー第2740地区 2018-2019年度

地区大会

インスピレーションになろう

2018 11/16(金)・17(土)

〈本会議会場〉アルカスSASEBO

〈懇親会会場〉ホテルオークラJRハウステンボス

RI会長代理
細谷 伸夫氏

第2740地区ガバナー
福田 金治

地区大会実行委員長
橘髙 克和

大会1日目 11/16(金)

ホテルオークラJRハウステンボス

◉**記念ゴルフ大会** 8:00～

会場：佐世保カントリー倶楽部 石盛岳ゴルフコース
（長崎県佐世保市知見寺町1410 TEL：0956-49-5654）

◉**RI会長代理歓迎晩餐会** 18:30～20:30

会場：ホテルオークラJRハウステンボス
（長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL：0956-58-7111(代)）

大会2日目 11/17(土)

◉**海上自衛隊艦艇見学**(予定)

◉**ランチ** 10:30～

会場：アルカスSASEBO イベントホール
（長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL：0956-42-1111）

会場内にて海軍カレー又はさせぼバーガーを提供致します。

◉**海上自衛隊音楽隊演奏会** 12:00～12:45

会場：アルカスSASEBO 大ホール
（長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL：0956-42-1111）

大会2日目 11/17(土)

アルカスSASEBO

◉**本会議** 登録受付 11:00～
本会議・点鐘 13:30～16:20

会場：アルカスSASEBO 大ホール
（長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL：0956-42-1111）

懇親会場へ移動

◉**懇親会** 17:40～19:30

会場：ホテルオークラJRハウステンボス
（長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL：0956-58-7111(代)）

Rotary 国際ロータリー第2740地区 ホストクラブ：佐世保ロータリークラブ

〔お問い合わせ〕国際ロータリー第2740地区 2018-19年度 地区大会事務局

〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F Tel：0956-37-0002 Fax：0956-37-2741 E-mail：ri2740conf@air.ocn.ne.jp

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2018.11／vol.05

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

会員研修会（9月18日㈫ 佐世保市）

ガバナー ロータリー情報

国際ロータリーの現状

私どもが入会しております各ロータリークラブは、国際ロータリーに加盟申請して、条件が合えば加盟を認められます。しかし、加盟する条件として、「人頭分担金の支払い」と、国際ロータリーが作成する「標準ロータリークラブ定款及び手続要覧に記載されている規則」等を守ることが義務づけられます。

これらの加盟条件を守らなければ、国際ロータリーへの加盟が取り消されます。事実、日本ではあまり聞きませんが、世界では加盟を取り消されたクラブがあるそうです。

会社には「就業規則」、学校には「校則」があります。それらに違反した場合は、「退社」「退学」ということがあるように、加盟条件を守らなければ、加盟取り消しを受け入れるか、こちらより国際ロータリーへの加盟を取り下げなければなりません。しかし、国際ロータリーの運営方針に意見があるときは、３年に１度の規定審議会へ、地区より議案を提出して、評議員の過半数の賛成があれば、国際ロータリーが決めているいろいろな規則を改正することが可能です。

私は以上の理由により、私どもが入会している各ロータリークラブが、国際ロータリーに加盟を続ける以上、加盟条件を守らなければならないと思います。

ポール・ハリスが３名の仲間と「ロータリー」を創立した目的は、４名の違う職業の者が、互いの職業を通して互いの仕事に役立てようと、そして４名の仲間がいろいろな活動を通じて個人的に親しくなることでした。現在の「職業奉仕」の原点です。「社会奉仕」については、シカゴ内に「公衆便所」を作ったのが社会奉仕の始まりと聞いています。その後「クラブ奉仕」、「国際奉仕」と進んでまいりました。

しかし、近年は「アイサーブ」から「ウィサーブ」への変更、さらに職業を通じての奉仕ではなく、金銭を使っての奉仕が主流となってきているようです。

「ロータリー財団」について、少し説明させて頂きます。

「ロータリー財団」というのは、米国イリノイ州に設立された非営利財団法人です。運営については、ロータリー財団管理委員会が行っています。

日本のロータリーに当てはめると、「米山記念奨学会」と同じような組織になると思います。「米山記念奨学会」も非営利法人で、運営も米山記念奨学会が行っています。

この説明でわかられるように、「ロータリー財団」は、国際ロータリーの中では、いろいろな活動の一部門と思います。

私の座右の銘は、故 佐藤千寿パストガバナー（第2580地区東京東ロータリークラブ）が講演会で話されていた「もともとロータリークラブというものは、仲間同士を助け合おう、自分の町を住みよくしようという身近な問題から誕生したもので、身を捨てて人類を救済しようという聖人の集まりではありません」という言葉です。

CONTENTS

◉ 会員研修会及び懇親会…… 2
◉ 職業奉仕セミナー報告…… 3
◉ 長崎出島RC創立20周年記念例会・祝賀会…… 3
◉ ガバナー公式訪問クラブ報告…… 4
◉ 新会員紹介、寄付者紹介…… 7
◉ 地区大会のご案内…… 8

全クラブを対象とする 会員研修会及び懇親会

クラブ管理運営委員長　竹田　健介（平戸RC）

全会員研修を終えて

9月18日㈫、全会員研修会が九十九島ベイホテルで行われました。これはクラブ管理運営委員会（竹田委員長）、会員増強委員会（加納委員長）、公共イメージ委員会（久保委員長）の３委員会合同セミナーとして開催されたものです。

連休明けの平日で、午後４時からの開会にもかかわらず約250名の参加をいただきました。会員増強を唱える前に、新会員の定着をいかに図るかが肝要だということを痛感しました。事例発表として長崎出島クラブの安達会長にお話をしていただきました。創立20周年を迎えたクラブで、30名でスタートし、現在は67名、70名に手が届くところまできています。明確な目標を持って入会を募り、カウンセラー制度を設けたり、新会員フォローアップセミナーを開催したりと、新会員に対する配慮が行き届いています。

マイロータリーへの登録が当地区は33％位ということですが、これを公共イメージ委員会は今期50％まで持って行こうとしています。皆様のご協力をお願い致します。

ロータリー情報について福田ガバナーからのお話がありました。全会員に資料を配付することになっていますので、目を通していただきたいと思います。安部パストガバナーからは「ロータリーは人生の羅針盤」というテーマでお話をしていただきました。達磨と武帝の問答「無功徳」は示唆に富んだお話でした。

福田　金治ガバナー

クラブ管理運営委員会
竹田　健介 委員長

会員増強委員会
加納洋二郎 委員長

公共イメージ委員会
久保　泰正 委員長

長崎出島 RC
安達健太郎 会長

安部　直樹
パストガバナー

研修会のようす

懇親会　乾杯
森山　隆明 ガバナー補佐

懇親会のようす

懇親会　閉会の辞
桑田　隆朗 ガバナー補佐

国際ロータリー第2740地区 2018-19年度 職業奉仕セミナー報告

職業奉仕委員長 山本 正樹（佐賀南RC）

国際ロータリー第2740地区職業奉仕セミナーを、2018年9月8日㈯ 佐賀県武雄市の「武雄センチュリーホテル」にて開催致しました。

残暑が厳しい中お集まりいただいた122名の参加者の皆様、誠にありがとうございました。新会員の方々の退会防止という点も含めて、入会３年未満の会員の方々にも多数ご参加いただきました。

またセミナー講師として、第2510地区（北海道西部）の職業奉仕委員長である玉井清治委員長に、第一部「奉仕の理念とservice」、第二部「時代とともに変化する職業奉仕」という二部構成にて講演いただきました。

近年、奉仕の実践が評価され、ロータリアン自身の奉仕の理念の育成がおざなりになっている現状。また「ロータリークラブの価値とは、いかなるロータリアンとしての人づくりをしたかという事に尽きる」という基本理念を分かり易く話していただきました。

その後の質疑応答では「例会の在り方について」、「次年度以降の職業奉仕の在り方について」等の質問があり、丁寧に答えていただき非常に有意義なセミナーになったと感じております。

今回のセミナーが各クラブの退会防止、及び会員増強の役に立てれば良いと思います。

長崎出島RC創立20周年記念例会・祝賀会

去る9月7日㈮、福田金治ガバナー、田口　厚パストガバナー、岩永信昭パストガバナー、崎永　剛パストガバナー、増本一也地区幹事ほか多くのご来賓の皆様をお招きして、長崎出島ロータリークラブ創立20周年記念例会及び記念祝賀会を開催いたしました。

長崎出島ロータリークラブの20周年プロジェクトは「①記念例会・記念祝賀会 ②記念事業 ③記念誌 ④2070会員増強」という４つの事業で成り立っています。記念事業として、従前より当クラブで取り組んでいた児童養護施設への支援事業を発展させた形の「おしごと探検隊」、そして毎周年時に行っている出島への寄付活動、いずれも記念例会にてVTRと共に紹介いたしました。また新会員３名の入会式も行い、現在67名。今年度中に会員70名を目指します。記念祝賀会は活水女子大学吹奏楽団の伴奏による当クラブ会員の歌、あるいは同楽団のコンサートなども交え、盛況のうちに終了いたしました。

20年を契機としてこれからも充実した楽しいクラブづくりに全員で取り組んでまいります。

ガバナー公式訪問クラブ報告

福江RC・福江中央RC　8月7日㈫

福江RC／会長：植松　郁雄　幹事：市来　敦
福江中央RC／会長：浦　和弘　幹事：富山　博弥

平成30年8月7日㈫、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事には、五島まで遠路はるばるガバナー公式訪問 福江中央・福江RC合同例会にお越し頂き、ありがとうございました。

また、福江中央RCより輩出されました、江口正則第９グループガバナー補佐にもお忙しい中ご出席頂きましてありがとうございました。

例会前の懇談会では、ガバナーより地区グループの地理的面からの見直し、定款について、私ども2クラブの合併の考えは等、色々お話があり、また、離島から本土の行事への出席は、経費が掛かり大変でしょうとお気遣いまで頂きました。最後に、増本一也地区幹事より、地区大会の内容説明を受け、会場を移し例会に入りました。

ガバナーのご講話では、国際ロータリー・地区の運営方針の説明があり、その中でも特に「会員増強は勿論のこと、入会3年未満の会員の退会が多いので、新会員研修会・カウンセリングを充実させ、その方たちのフォローを徹底する」、これこそ最もロータリー活動として大切なことではないかと思いました。

私どもは、RIテーマ「BE THE INSPIRATION」(インスピレーションになろう) に沿った形で、クラブの運営・活動方針・事業計画を、1年間実行実践していく所存でございますので、ご指導、ご助言等、宜しくお願い致します。

畑中重徳SAA (福江中央RC) のスムーズな進行のもと、滞りなく定刻に例会を終え、その後、2クラブそれぞれガバナーを交えての記念撮影で終了しました。

この度の合同例会で、開催日が福江中央RCの例会日に当たり、会場設営から諸々のご準備等、浦 和弘会長はじめ富山博弥幹事、堺　末喜プログラム委員長、会員の皆様には、大変お世話になりありがとうございました。

最後に、ガバナーのご訪問も、35回中今回で16回目と、段々折り返し地点に差し掛かり、疲労もピークを迎えておられる事と思いますが、例年にない今年の異常な暑さに負けず、お体にご留意されまして、最終訪問の9月14日 長崎出島RC迄、乗り切って頂きたいと思います。(文／福江RC)

福江RC

福江中央RC

佐世保RC・佐世保西RC　8月8日㈬

佐世保RC／会長：古賀　巖　幹事：大久保利博
佐世保西RC／会長：副島　洋平　幹事：西浦　隆洋

2018年8月8日㈬、佐世保玉屋7階において、福田金治ガバナー、第5グループ山﨑 弘ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして佐世保RC第3318回、佐世保西RC第2358回例会となる合同公式訪問例会を開催しました。

例会に先立ち12時より両クラブ会長・幹事と別室で食事を挟んで様々な意見交換を行い、多くの会員が待つ例会場に拍手でお迎えしました。

福田ガバナーの講話では、RIテーマ「インスピレーションになろう」についてわかりやすいお言葉でその趣旨をご説明いただき、地区運営方針や、本例会日をもって残り100日となりました11月16日・17日の地区大会に向けての会員の意識高揚を図っていただきました。

また、佐世保RCより福田ガバナー、増本地区幹事を輩出させていただいておりますので、この機会にクラブとしての一体感を高められたことはもちろんですが、大変和やかな雰囲気の中、佐世保西RCとの合同例会でこれまでの友情を更に深められる例会となりましたことを、大変嬉しく思っております。

福田金治ガバナーを始めとする本年のRI第2740地区の役員・委員の皆様の今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

(文／佐世保RC)

ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎RC　8月9日㈭

長崎RC／会長：川原　強　幹事：山口　宏二

73回目の長崎原爆記念日の平成30年8月9日㈭、第2例会日に、福田金治 第2740地区ガバナーの公式訪問が、江口正則 第9グループガバナー補佐、増本一也 地区幹事のご同伴をいただき行われました。

例会前に、福田ガバナー、江口ガバナー補佐、増本地区幹事と会長、会長エレクト、幹事、副幹事を交えて記念撮影、懇談が行われました。

例会場へのガバナー入場時は、全員起立して拍手でお迎えし、ガバナーご一行の紹介の後、福田ガバナー、江口ガバナー補佐、増本地区幹事へバナー贈呈を行いました。

福田ガバナーの卓話は、(1) RI会長の新年度運営方針、国際ロータリーの運営方針、(2) 地区運営方針の説明、(3) 会員増強について、(4) 地区主催事業の説明でした。「特に、会員増強については目標を設定しませんが、退会防止が会員増強につながると思いますので退会防止の努力をします。本年度地区では、ロータリーを理解していただく為に、すべての会員を対象とした会員研修会を開催予定です。また、各クラブでも、新会員研修会を定期的に開催していただくことが大切です。」と述べられました。

地区大会は、本会議の時間を短縮し、懇親会の開始、閉会を早くしました。また、全員着座での懇親会とし、ゆっくりと親睦を深めていただけるようにしていますので、たくさんの参加をよろしくお願いしますとのことでした。

最後に、会長からガバナー公式訪問のお礼として、当クラブの宝である元RI会長 ハーバート・J・テーラー氏直筆の四つのテストの複写を贈呈させていただきました。

ガバナーの公式訪問に感謝いたしますとともに、今年度のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

佐世保北RC　8月20日㈪

佐世保北RC／会長：森　豊　幹事：松田　信哉

8月20日㈪の第1536回例会に、福田金治ガバナー、森山隆明ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えしての公式訪問を開催いたしました。

例会前の三役懇談会では、ガバナーから、当クラブの定款及び細則がRIの規定に則したものであり、寸分の間違いのないクオリティーの高いものであるとのお褒めの言葉をいただきました。

また、先に行われる地区大会の内容について述べられ、特に記念事業でありますハワイの短期留学プログラムが、今回の目玉の事業であることを熱く語られました。

例会においては、ガバナーに当日入会された女性の新入会員にバッジの授与をしていただきました。

卓話では、持参されたロータリーの鐘の説明をされ、今年度のRIのテーマの意味から地区運営方針まで、わかりやすく丁寧に述べられました。

最後に全会員との記念撮影を行い、緊張感が漂いつつも、終始和やかな公式訪問となりました。

福田ガバナーにおかれましては、地元輩出のガバナーでもありますので、最後まで頑張っていただきたいと思っております。

ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早多良見RC・諫早南RC　8月21日㈫

諫早多良見RC／会長：石田　豊　幹事：冨永　龍也
諫早南RC／会長：千葉まさこ　幹事：永渕　憲輔

平成30年8月21日㈫、国際ロータリー2740地区福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、桑田隆朗第8グループガバナー補佐をお迎えしての公式訪問を、諫早南クラブとの合同例会として開催いたしました。

例会前には各々のクラブへの懇談会に対応していただき、福田ガバナー、増本地区幹事からは地区の状況、行事の説明ならびに当クラブについて的確な状況分析、ご指導をいただきました。

また、福田ガバナーの卓話では、限られた時間の中で、RIの現状やロータリークラブの奉仕活動について細部まで理路整然と説明していただき、その見識の広さに一同ただただ言葉を無くした次第であります。

ロータリー活動の基礎として、これからも手続要覧、定款、細則の理解を深めていく必要性を感じました。福田ガバナー、増本地区幹事、桑田ガバナー補佐のご訪問を感謝するとともに今後のご健勝、ご活躍を祈念いたしております。

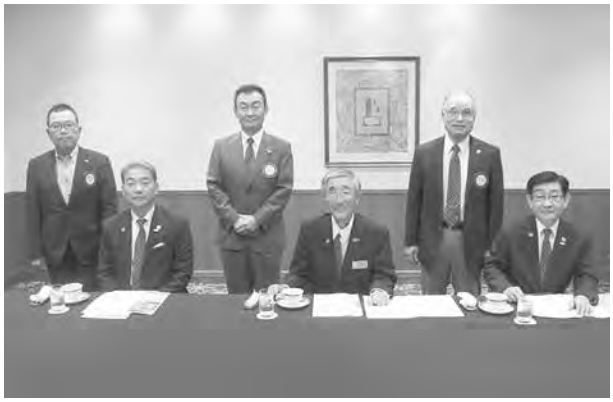
（文／諫早多良見RC）

長崎南RC　8月22日㈬

長崎南RC／会長：杉田　祐保　幹事：山辺　滋

8月22日㈬に、国際ロータリー第2740地区福田金治ガバナーが、長崎南ロータリークラブを公式訪問されました。瀬崎陽三第10グループガバナー補佐、増本一也地区幹事の2名の方が随行されました。ガバナー公式訪問卓話として、(1) RI会長の新年度運営方針、国際ロータリーの運営方針、(2) 地区運営方針の説明、地区主催事業の説明について、詳しくわかりやすく説明して頂きました。地区委員会が主催する「セミナー」「研修会」出席義務者は、地区委員会と直接関係のある各クラブの委員会の方だけにし、会長・幹事の出席については、出席義務とせず希望者だけにされるようです。会長・幹事の仕事量の集中を軽減する良き策だと感じられました。

大変お忙しい中、ご訪問いただき心から感謝しております。この1年間、ロータリー活動を楽しみつつ、頑張っていきます。よろしくお願いいたします。



新会員紹介 ～8月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

佐賀RC

富永（とみなが） 金吾（きんご） 君
株式会社 佐賀銀行
常務取締役

佐賀RC

阿部（あべ） 高巳（たかみ） 君
ニシム電子工業株式会社
取締役システム技術本部長

多久RC

吉浦（よしうら） 剛（ごう） 君
有限会社 真栄土木開発
代表取締役

多久RC

松﨑（まつざき） 香住（かずみ） 君

唐津西RC

小西（こにし） 政彦（まさひこ） 君
九州電力㈱玄海原子力発電所
玄海原子力発電所長

佐世保北RC

茶村（ちゃむら） 亜子（あこ） 君
㈲寿屋貸衣裳店
代表取締役

島原RC

田中（たなか） 博徳（ひろのり） 君
九州電力島原営業所
営業所長

大村北RC

北村（きたむら） 貴寿（たかとし） 君
瑞鳳会グループ
代表

大村北RC

中川（なかがわ） 寿幸（としゆき） 君
九州電力㈱大村営業所
所長

長崎RC

袴田（はかまだ） 直希（なおき） 君
㈱長崎国際テレビ
代表取締役社長

福江RC

丸本（まるもと） 敏彦（としひこ） 君
九州電力㈱五島営業所
所長

長崎西RC

草野（くさの） 郁子（いくこ） 君
㈲アーバングリーン草野
代表取締役

長崎南RC

日向（ひなた） 照宏（てるひろ） 君
東急建設㈱長崎出張所
所長

長崎みなとRC

鳥越（とりごし） 伸二（しんじ） 君
㈲鳥越住建
代表取締役

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（8月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
池田　豊	8	佐世保
富田　耕司	4	佐世保北
永田　武義	8	佐世保北
藤原　正廣	3	福江中央

◆米山記念奨学会（8月）

■メジャー・ドナー

氏　名	回数	クラブ名
前田　一彦	20	佐世保南

第2740地区 2018年8月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2018年8月末日会員数	2,252 名
2018年8月平均出席率	82.9 %	（うち女性会員	93 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2018年8月入会者	14 名
（うち女性会員	91 名）	2018年8月退会者	10 名

国際ロータリー第2740地区 2018-2019年度

地区大会

インスピレーションになろう

2018 11/16(金)・17(土)

〈本会議会場〉アルカスSASEBO

〈懇親会会場〉ホテルオークラJRハウステンボス

RI会長代理

国際ロータリー第2800地区
2011-2012年度 ガバナー

細谷 伸夫 氏
(山形西ロータリークラブ)

大会1日目 11/16(金)

ホテルオークラJRハウステンボス

◉**記念ゴルフ大会** 8:00～

会場：佐世保カントリー倶楽部 石盛岳ゴルフコース
(長崎県佐世保市知見寺町1410 TEL：0956-49-5654)

◉**RI会長代理歓迎晩餐会** 18:30～20:30

会場：ホテルオークラJRハウステンボス
(長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL：0956-58-7111(代))

大会2日目 11/17(土)

◉**海上自衛隊艦艇見学(予定)**

◉**ランチ** 10:30～

会場：アルカスSASEBO イベントホール
(長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL：0956-42-1111)

会場内にて海軍カレー又はさせぼバーガーを提供致します。

◉**海上自衛隊音楽隊演奏会** 12:00～12:45

会場：アルカスSASEBO 大ホール
(長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL：0956-42-1111)

大会2日目 11/17(土)

アルカスSASEBO

◉**本会議** 登録受付 11:00～
本会議・点鐘 13:30～16:20

会場：アルカスSASEBO 大ホール
(長崎県佐世保市三浦町2-3 TEL：0956-42-1111)

懇親会場へ移動

◉**懇親会** 17:40～19:30

会場：ホテルオークラJRハウステンボス
(長崎県佐世保市ハウステンボス町10番 TEL：0956-58-7111(代))

Rotary 国際ロータリー第2740地区 ホストクラブ：佐世保ロータリークラブ

〔お問い合わせ〕国際ロータリー第2740地区 2018-19年度 地区大会事務局

〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F Tel：0956-37-0002 Fax：0956-37-2741 E-mail：ri2740conf@air.ocn.ne.jp

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2018.12／vol.06

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

国際ロータリー第2740地区 2018-2019年度 地区大会（11月17日㈯ 佐世保市）

ガバナー ロータリー情報

ロータリークラブへの女性の入会について

佐藤千寿パストガバナーが書かれた「ようこそロータリーへ」に詳しく書かれておりますとおり、ロータリーへの女性の入会については、1970年代にはロータリー会員の中から女性の入会を認めるべきだという声が出てきて、規定審議会にこの案件が提出されましたが、その都度否決されていました。

会員資格については、国際ロータリー定款に定められているので、女性を入会させるにはまずこの定款を変更しなければなりません。そしてその定款を改めるには、三年に一度開かれる規定審議会にこれを提案して、代議員の3分の２以上の賛成を得なければなりません。

女性の入会について大きく動き始めたのは1977年、カリフォルニア州のデュアーテ・ロータリークラブが、女性をニックネームで入会させたことがマスコミを通じて世間に知れ渡ったので、国際ロータリーはデュアーテ・ロータリークラブを除名したからです。

デュアーテ・ロータリークラブはこれに対して、国際ロータリーを相手に裁判を起こし、第一審では国際ロータリーが勝訴しましたが、控訴審では逆に第一審を破棄し、女性入会拒否は違法であるとの判決を下しました。

その後控訴裁判所に再審請求しましたが却下され、連邦最高裁判所に上告しました。

1987年5月4日、連邦最高裁判所は「ロータリーが女性の会員加入を認めないのは、カリフォルニアの州法に抵触し、従ってその限りにおいて違法である」という判決を下したのです。

アメリカにはこれ以上の上級裁判所は無いので、RIは女性の入会を認めることとなりました。

国際ロータリーが女性のロータリー入会に反対の方針を賛成に変更した理由は、他のクラブもデュアーテ・ロータリークラブの様に国際ロータリーに対して裁判を起こしそうになり、裁判になった場合には多額の費用が必要で、国際ロータリーの財政を圧迫する恐れが出てきたからです。

もう一つの理由は、アメリカでは男女の性、人種、思想信条等々で、差別のある組織に入会している者の入会金や会費を、その人が所属している会社、銀行等で負担することは、国税当局が認めない、ということから、中小企業や銀行の支店長等の退会が続出していたからです。

1987年5月4日に、連邦最高裁判所の判決が出たので、1989年1月のシンガポールでの規定審議会で、女性の入会に関する制定案が可決されました。

CONTENTS

◉ 青少年ミニフェスタ報告 …… 2
◉ ガバナー公式訪問クラブ報告 …… 2
◉ ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件 …… 6
◉ 新会員紹介 …… 6
◉ 逝去会員、寄付者紹介 …… 7
◉ ロータリー国際大会のご案内 …… 8

国際ロータリー第2740地区 2018-19年度「青少年ミニフェスタ」報告

インターアクト委員長　徳川　清隆（唐津RC）

国際ロータリー第2740地区「青少年ミニフェスタ」が、2018年10月13日㈯～14日㈰、参加者57名が佐賀県唐津市鎮西町の「佐賀県波戸岬少年自然の家」に集い、両日とも好天に恵まれ、海の青さが輝いた2日間での開催となりました。

この事業は、国際ロータリーテーマ「インスピレーションになろう」のもと、ロータリーファミリーであるインターアクターと顧問、国際青少年交換学生、ローターアクター、それを支えて頂いているロータリアンとが相互に交流し理解を深める目的で開催したセミナー形式のプログラムです。

第1日目、基調講演「インターアクトが世界を変える！～誰かのために善い事をする喜びに生きる～」と題し、RID2700地区青少年奉仕委員長・ロータリー学友委員長・ロータリー情報交換委員長をされている田村 志朗氏（福岡東RC）に講話をいただきました。

その講話の中で、青少年奉仕とはロータリー第5番目の奉仕部門であり、指導力養成活動や社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって変化がもたらせる事を認識するものであると述べられました。またインターアクトの成り立ちと歴史に触れながら、社会の一員として自覚と世界観も持ち「自分達だけのために生きるのではなく、誰かのために善い事をする喜びのために生きるべきだ」と、ロータリー財団創始者アーチ・クランフの言葉を引用されて、「恩送りで世界を変えてみよう。世界を変えるのはあなた達（私達）です。」でしめくくられました。

その後、青少年は分科会へ移動し、①クラブ運営、②社会奉仕、③国際理解のテーマでグループ討議、ロータリアン、ローターアクター、顧問の先生は、第2部「いかにして仲間を増やしていくか」の題で、田村氏より講話をいただきました。未来のロータリアンを創るために「青少年学友の組織化」をして、インターアクト、ローターアクト、国際青少年交換、RYLAの青少年学友をそれぞれ構成、そしてロータリー財団学友、米山奨学生学友が相互に参加・交流することで、ロータリーに入会する「学友クロスプロモーション」の概念をお聞きし、当地区でも検討すべきことではないかと考えさせられました。その後、分科会のまとめをグループリーダーが発表し、第1日目を終了しました。第2日目は、カッター体験、史跡巡りと、それぞれ楽しんでいただきました。

最後に、台風の影響が心配されたところですが、事業が無事終了し、ご参加いただいた方、ご支援いただきました方々に感謝いたします。

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保東RC・佐世保中央RC　8月23日㈭

佐世保東RC／会長：川中　裕二　幹事：吉田　親司
佐世保中央RC／会長：崎元　英伸　幹事：芥川圭一郎

8月23日㈭、福田金治ガバナー、森山隆明ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問を開催いたしました。

今回は、佐世保中央ロータリークラブとの合同例会のもと、セントラルホテル佐世保においての開催であり、準備・進行のほとんどを佐世保中央ロータリークラブの会員の皆様にご尽力いただくことになりました。

事前懇談会は依頼しておりませんでしたが、例会前の食事会の中で、クラブやローターアクトの現況、予定行事について情報交換を兼ねたお話をさせていただきました。

現況をお伝えしたところで例会に入り、ガバナー卓話ではRIと地区の運営方針についての説明に続き、地区大会や研修会の概要、開催目的など、ガバナーのロータリーへの想いを交えたお話をいただきました。

新年度に入り2ヵ月が経過しようとしている時期ではありましたが、我々ロータリアンが年度方針や目標を再認識する機会をいただきました。今後も適度な緊張感と楽しみをもって活動できることと思います。

ご多忙の中、ご訪問していただきましたことを両クラブを代表して厚く御礼申し上げますとともに、今後もご指導いただきますようお願い申し上げます。

（文／佐世保東RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

佐世保南RC　8月24日㈮

佐世保南RC／会長：中島　洋三　　幹事：作元　誠司

2018年8月24日㈮、福田金治ガバナー、森山隆明第6グループガバナー補佐、増本一也地区幹事が我が佐世保南ロータリークラブに公式訪問され、第2955回例会を開催しました。

例会に先立ち、中島洋三会長、矢次保夫会長エレクト、若宮達昌副会長、作元誠司幹事を含めた7人で懇談会を行いました。

ガバナーから指導事項として、①「RI標準定款・推奨細則」と当クラブの「定款・細則との相違点」の指摘・改善指導 ②当クラブ定款・細則と活動計画書の相違について ③役員と理事について、RIが規定する役職名等、理事会構成が間違っている場合には指摘・改善指導ということでありましたが、当クラブはおおむね問題ないというお言葉をいただきました。また、姉妹クラブについての提案とし、姉妹クラブとの締結の経緯について、活動計画書に記載することを提案され、関係性や歴史についてもう少し改善の余地があると指摘を受け、今後の課題としました。

公式訪問例会でのガバナーは、地区大会のPRをされました。地区大会へは当クラブは全員登録で臨むことを予め伝えていました。11月17日㈯のエクスカーションから本会議、懇親会という流れを説明され、素晴らしい地区大会になるであろうと思いました。また、今年度のガバナーの青少年育成事業として第5・第6グループの高校生を対象に、作文や面接審査により、優秀者14名にハワイ大学への10日間の短期留学を実施することを発表され、多くのロータリアンの賛同を受けられました。

ロータリアンとして必要な基本的知識や専門的知識を「ロータリー情報」として全会員に提供する学習の場として、ガバナー主催の会員研修会および懇親会の開催を9月18日㈫に行うので、多くの会員の出席をお願いされました。

福田ガバナー、森山ガバナー補佐、増本地区幹事、公式訪問ありがとうございました。今後のご健勝とご活躍を祈念し報告とします。

大村北RC・大村東RC　8月27日㈪

大村北RC／会長：麻生　康友　　幹事：田崎　賢一
大村東RC／会長：石田　賢二　　幹事：松村　　学

8月27日㈪酷暑の中、例会日を月曜に変更しての大村東RCとの合同例会へ福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、為永ガバナー補佐にご来訪いただきました。

例会前懇談会では全会員研修会及び地区大会への理解と動員の依頼や、活動計画書の組織や細則についての御指導が微に入り細に入り行われ、昨今のガバナー懇談会とは少々趣を異とするものでした。

ガバナーによる点鐘で始まった例会は若干戸惑いながらも粛々と進行し、ガバナー卓話でロータリーの成り立ち、組織、RIテーマなどについて詳細に解説をしていただきました。

会員増強において退会防止が重要であるという点では我々も全く同じ認識であり、意を強くしたところであります。当日出席は17名(77%)と水曜例会と比べると出席率は低く、通知していたものの、その週の水曜日に「今日の例会はどうなっているのか」との問い合わせが多数寄せられ、いかに会員にホーム例会出席が染みついているかを実感させられました。

福田ガバナー、増本地区幹事におかれましては暑い中、過密日程でまだまだ公式訪問を継続されるとのこと、御健勝を祈念いたします。また、大村東RCの皆様には大変お世話になりありがとうございました。

（文／大村北RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

大村RC　8月28日㈫

大村RC／会長：伊達　秀喜　　幹事：芦塚　義幸

8月28日㈫、福田金治ガバナー、為永伸夫ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問例会を割烹寿楽にて開催いたしました。

ガバナーの卓話ではまず、RI会長・国際ロータリーの運営方針、地区の運営方針に始まり、地区の事業紹介、地区大会の説明をいただきました。その中でも特に会員増強については項目を挙げて説明され、熱い思いを感じることができました。

当クラブは特に新しい会員が増えております。より会員同士の絆を深め、ロータリーへの理解を深め合って、その輪を広げることで会員増強に努めて行けたらと感じました。

クラブでは4月24日に会員の理解を得て、推奨ロータリー細則に準拠したクラブ細則の改正・承認を経て、本年度は新たな組織でスタートを切りました。それにより、地区との連携がより強固なものとなり、更なる会員、そしてクラブの活動が活性化されることを確信したガバナー公式訪問例会でした。

島原RC・雲仙RC・島原南RC　8月29日㈬

島原RC／会長：前田　寛信　　幹事：谷口鉄一郎
雲仙RC／会長：原田　徹　　幹事：林田　政晋
島原南RC／会長：永橋　秀光　　幹事：近藤　義光

8月29日㈬は、福田ガバナー、増本地区幹事、為永ガバナー補佐をお迎えして、島原クラブ、雲仙クラブ、島原南クラブ、３クラブ合同の公式訪問例会を開催いたしました。

今年度のガバナー公式訪問は、島原南クラブがホスト役になり、会場設営から例会進行まで責任をもってさせていただきました。

島原クラブからは高城パストガバナーにもおいでいただき、緊張しながらの点鐘。この点鐘は、ガバナーが持参された物で、ロータリー100周年記念で特別に制作された、各地区に1つしかないものだそうで、重厚な感じで、音が違うように聞こえました。

例会も3クラブの会長挨拶、幹事報告、委員会報告と入れ替わりながら進行し、福田ガバナーには卓話を頂戴いたしました。RIテーマについて、具体的な説明や、地区大会の成功に向けて、熱心に語られ、時間のたつのが早く感じるほどでした。会員の退会防止についてのお話は、大変勉強になり、クラブに取り入れていきたいと思っています。

こうして、３クラブ合同の公式訪問も、皆様の協力で時間どおりに無事終了できて、大変感謝申し上げます。

福田ガバナーはじめご来訪いただきました皆様に厚く御礼申し上げますとともに、ご健勝を心よりお祈り申し上げます。

（文／島原南RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

伊万里RC・伊万里西RC　8月30日㈭

伊万里RC／会長：犬塚　勝政　　幹事：谷口　恭士
伊万里西RC／会長：福母　秀一　　幹事：仁部　義久

8月30日㈭、福田金治ガバナー、川添信雄ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、伊万里西ロータリークラブ様とガバナー公式訪問、合同例会を開催いたしました。

合同例会でしたので、例会の運営、会場設営をしていただきました福母会長をはじめ伊万里西ロータリークラブの皆様に感謝いたします。

例会前に会談して、クラブ定款、細則について丁寧で分かりやすいアドバイスをいただきました。また地区大会の説明もありました。

福田ガバナーの卓話では、RIテーマ『インスピレーションになろう』についての解釈や国際ロータリー、地区の運営方針などの説明がありました。またどこのクラブの問題でもある会員増強、退会者防止のお話もあり、これからのクラブ運営に役に立てようと思いました。

合同例会でいつもとは違う雰囲気で、とても緊張感のある例会でした。

福田金治ガバナー、川添信雄ガバナー補佐、増本一也地区幹事、ご来訪ありがとうございました。

（文／伊万里RC）

長崎中央RC　9月3日㈪

長崎中央RC／会長：原田　知行　　幹事：岡村　展成

朝夕、少しずつ秋の気配を感じる9月3日㈪に、福田金治ガバナー、瀬崎陽三ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

当日、12時には皆様例会会場であるザ・ホテル長崎BWプレミアコレクションに到着され、控室にて原田知行会長と私、幹事岡村で懇談していただきました。

増本地区幹事より、11月開催の地区大会のご説明があり、福田ガバナーからは、役員と理事の定款及び細則の取り扱いについてご指摘がありましたが、福田ガバナーのロータリーに対する知識の深さに感銘を受けました。

例会は、12時30分、持参していただいた100周年を記念してRIから寄贈された金の鐘で点鐘しスタートしました。式次第に従って会は進行し、途中、前回例会で練習した「R-O-T-A-R-Y」を合唱しました。

ガバナー卓話では、⑴RI会長の運営方針「BE THE INSPIRATION」の意味 ⑵地区運営方針 ⑶会員増強について ⑷地区主催事業について をご説明いただき、一同大変勉強になりました。

福田ガバナーの温かなお人柄にふれたすばらしい例会となり、無事終了することができました。皆様には心より感謝いたします。

新年度も３か月が過ぎようとしておりますが、これから年度末までご指導くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

国際ロータリー第2740地区クラブ会長　各位

ガバナーノミニー・デジグネート推薦の件

国際ロータリー細則第14.020.4項により、2021～2022年度ガバナーに就任するガバナーノミニー・デジグネート候補者の推薦を希望するロータリークラブは、2019年3月15日までに地区ガバナー指名委員会宛（国際ロータリー第2740地区ガバナー事務所気付）に文書を以てご推薦ください。推薦する場合には、候補者を推薦することをクラブ例会で決議した後に、クラブ幹事がその決議を証明する形で推薦書を提出してください。

尚、ガバナー指名委員会がその選択をするにあたっては、その選択の範囲は地区内クラブによって提案された指名に限定されるものではありません。

ガバナーノミニー・デジグネートの資格条件は、国際ロータリー細則第16.070項をご参照ください。

ご推薦のない場合は、指名委員会で決定された方がガバナーノミニー・デジグネートになります。

ガバナー　**福　田　金　治**

新　会　員　紹　介　～9月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

佐賀RC

髙松（たかまつ）　順二（じゅんじ）君
佐賀ガス株式会社
顧問

佐賀RC

宮田（みやた）　英紀（ひでき）君
西日本新聞社 佐賀総局
総局長

佐賀南RC

園田（そのだ）　清子（きよこ）君
エステート三日月
代表

唐津RC

林田（はやしだ）　道生（みちお）君
九州電力㈱
玄海原子力総合事務所
所長

伊万里RC

黒川（くろかわ）　幸彦（ゆきひこ）君
七ツ島産業株式会社
代表取締役

佐世保RC

小村（こむら）　英司（ひでし）君
㈱商工組合中央金庫
佐世保支店
支店長

松浦RC

青﨑（あおさき）　秀雄（ひでお）君
㈲平戸ビルサービス
専務取締役

佐世保南RC

竹森（たけもり）　悟（さとる）君
㈱九州広告
北部営業本部取締役本部長

大村RC

烏山（からすやま）　雅之（まさゆき）君
学校法人 向陽学園
理事長

大村北RC

永石（ながいし）　辰巳（たつみ）君
㈲永石解体産業
代表取締役

長崎出島RC

松石（まついし）　崇（たかし）君
松石電設工業㈱
代表取締役社長

長崎出島RC

濵村（はまむら）　俊介（しゅんすけ）君
濵村 俊介税理士事務所
所長

長崎出島RC

海野（うみの）　泰兵（たいへい）君
㈲海野清掃産業
代表取締役

お詫びと訂正

地区大会およびパンフレットにおきまして、次の方の表彰が漏れておりました。
誤りにつきまして、深くお詫び申し上げるとともに、訂正をさせていただきます。

50年以上在籍者表彰　木下　一功 様　大村RC
50年連続出席者表彰　木下　一功 様　大村RC
25年連続出席者表彰　荒木　静男 様　大村RC
25年連続出席者表彰　鐘ヶ江輝昭 様　佐賀南RC … お名前を間違って表記しておりました。
35年連続出席者表彰　松山　要 様　長崎北RC
35年連続出席者表彰　山中　精 様　長崎北RC
会員増強特別表彰クラブ　長崎みなとRC

逝去会員　謹んでご冥福をお祈り申し上げます

松尾　武彦 会員（唐津RC）
逝去日：2018年9月14日（享年86歳）
入会日：1973年7月3日
勤務先：㈲松尾印刷所　代表取締役
クラブ役職：1982～1983年度　幹事
1995～1996　会長
地区役職：
1983～1984・1984～1985・1985～1986
インターアクト委員
1988～1989・1989～1990・1990～1991
会報・雑誌・広報委員

川添　一巳 会員（長崎中央RC）
逝去日：2018年9月26日（享年86歳）
入会日：1990年6月21日
勤務先：ラッキー自動車㈱　取締役会長
クラブ役職：1990～1991年度　会長

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（9月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
古宇田れい子	3	佐賀南
高森　紘二	3	佐賀南
田中　洋介	3	佐賀南
藤井　義博	2	佐賀南
川副　隆裕	1	佐賀南
神代　剛	1	佐賀南
宮原　明夫	6	佐世保北
三谷　秀和	3	佐世保北
近藤　竜一	2	佐世保北

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
浦　和弘	福江中央

◆米山記念奨学会（9月）

■メジャードナー

氏　名	回数	クラブ名
川野　恒雄	16	諫早北

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
諸隈　正剛	9	多久
江副　了	2	佐賀南
小川　信	6	佐世保南
小川　一貴	3	佐世保北
平石　晃一	3	佐世保北

■米山功労者

氏　名	クラブ名
古川　尋美	佐賀南
森　豊	佐世保北
浦　和弘	福江中央
川上　信幸	長崎東

第2740地区 2018年9月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2018年9月末日会員数	2,257 名
2018年9月平均出席率	82.7%	（うち女性会員	95 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2018年9月入会者	15 名
（うち女性会員	91 名）	2018年9月退会者	10 名

ハンブルグで
一生の思い出を
つくろう
ドイツ ハンブルグ | 2019年6月1～5日
Rotary
2019 HAMBURG
大会へのご登録：RICONVENTION.ORG/JA
#rotary19

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.1／vol.07

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

第47回ロータリー研究会（11月20日㈫ 神戸市）

ガバナー ロータリー情報

職業奉仕についての基本的考え方

ポール・ハリスが３名の仲間と、1905年にロータリークラブを創立した際には「奉仕」という考え方は無く気の許せる友人を作り、友人同士が相互扶助で生きていこうということではなかったかと理解しています。

その後、会員、クラブが増えていきますと、クラブ会員同士の相互扶助だけでなく、自分の身近な人々にも相互扶助の輪を広げていったのではないかと思います。この行為が「奉仕」と表現されるようになっていきます。

ロータリークラブの創立に際して、ポール・ハリスは職業の違う３名の仲間を集めて、職業の違う人々が互いの仕事を通じて互いに助け合おうという考え方がありました。この考え方が、ロータリー活動の原点は「職業奉仕」と現在でも言われている理由ではないかと思います。

長年ロータリーは、このポール・ハリスの活動の原点を受け継ぎ「職業奉仕」「個人奉仕」をロータリー活動の根本としてきました。しかし、会員が増え、クラブが増えますと、いろいろな考え方が出てきて「職業奉仕」か「社会奉仕」か、また「個人奉仕」か「クラブ奉仕」かという議論が長年されてきました。

議論の結果、1992年の規定審議会で「クラブ奉仕」も行なって良いという考え方が認められました。

それ以降、今までの「個人奉仕」が「クラブ奉仕」に全面的に変わったと理解され、行動されている方がたくさんいらっしゃいますが、「個人奉仕」がなくなったのではなく、個人奉仕だけでは限界のある活動については「クラブ奉仕」をしても良いとなっただけですので、「個人奉仕」の考え方も当然有効です。

個人的考えとしては「ポリオ運動」のように全世界規模で行う活動は全世界のロータリアンが協力しなければ出来ませんが、やはりロータリー活動は会員一人一人の身近な問題に注目して活動していくのが原点ではないかと思います。

パストガバナーの佐藤千壽さんも著書や演説で「もともとロータリークラブというのは、仲間同士を助け合おう、自分の町を住み良くしようという身近な問題から誕生したもので、身を捨てて人類を救済しようなどという聖人の集まりではありません。」と述べておられます。

私もこの意見に同感で、まず自分の家族、社員、地域社会の人々に役立つことから始めて、それらの諸問題がうまくいったら、それから先のことに役立つことを始めるべきだと思います。

このように、自分の職業を通じて身近な問題からロータリー活動を行うということが「職業奉仕の原点」ではないかと考えています。

CONTENTS

◉ ロータリー財団セミナー報告…… 2
◉ 米山記念奨学会 国際交流会報告…… 2
◉ ガバナー公式訪問クラブ報告…… 3
◉ 公式訪問の御礼…… 6
◉ 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介…… 7
◉ 地区大会ご報告とお礼…… 8

ロータリー財団セミナー報告

補助金委員長　隅　　康二（佐賀西RC）

財団セミナーが、2018年11月11日㈰に東彼杵町総合会館にて開催されました。千葉ガバナーエレクトはじめ、地区内の各クラブから会長、会長エレクト、R財団担当者、そして地区の財団委員が参集し100名を超える参加者にて会場は満席に近い状態となりました。

財団の各担当委員長6名よりトピックが報告され、また第2グループの神埼RC雪竹様より、今年度行った補助金事業（テーマ：「非行歴のある青少年の社会復帰支援プロジェクト」）の体験が報告されました。クラブとして事業をどのように計画し実行したか、どのように予算組みをして成果をあげることができたかなど報告されました。雪竹様は７月にロータリークラブに入りたての最も若い新会員さんでしたが、この事業を通じてロータリー活動を実感することができたと述べられた感想がとても印象的でした。

財団事業の計画や予算組み、申請には複雑な仕組みがありますが、まずは第一歩を踏み出して体験してみないとなかなか理解が難しいこと、そして次のステップとしては長期的展望に立って、クラブ独自の目標を定めていくことを千葉ガバナーエレクトは勧めておられました（「ロータリー財団章典」に目を通すこともお勧めされました）。

財団委員会では、2019年2月3日に補助金セミナーの開催を予定しておりますが、同セミナーでは申請に関するテクニカルな説明が主となる予定です。早速各クラブにおける次の補助金事業の協議など始めていただければ幸いです。

今後とも財団事業へのご理解・ご協力よろしくお願い申し上げます。

米山記念奨学会 国際交流会報告

米山記念奨学委員会委員　中嶋　久光（長崎北RC）

国際ロータリー第2740地区米山記念奨学会では、11月16日㈮に九州文化学園高等学校で、1年生約70人と米山奨学生10人が「国際交流会」を実施しました。「国際交流会」はご存じの方もいらっしゃると思いますが、米山奨学生が民族衣装で学校を訪問し、授業の一環として、訪問先の学生に米山奨学生が自分の国のことや自分の研究などについて、日本語で説明を行い質問を受けたりするものです。

当日は、13時から歓迎式があり、生徒代表の少林寺の演武や、70人の高校生のダンスがあり、米山奨学生並びにロータリアンが歓迎を受けました。若い力は本当に素晴らしいと思いました。本題の交流会ですが、5～8人の10テーブルを10人の米山奨学生が20分×3テーブル移動交代して行いました。最初は、ちょっと緊張していた高校生も1回目の10分くらい経つと、米山奨学生と打ち解けてきて、大きな声と笑顔が目立つようになりました。2回目、3回目はご想像どおりです。米山奨学生は、出前卓話で自信を深めており、PCを使った説明や会話もとても上手になりました。

最後に、米山奨学生のキム・ソネさんがお礼の言葉を述べたのですが、涙・涙が止まりませんでした。みんなと別れるのが辛かったのですね。私たち、米山記念奨学会の地区委員（長）も同様でありました。本当に、九州文化学園高等学校の校長先生、教頭先生並びに担当の先生方、生徒の皆さん、ありがとうございました。言葉では言い尽くせないですが、それぞれの立場の方に、国際的な相互理解が少しでも深まってくれるものと信じています。

ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早西RC　9月5日㈬

諫早西RC／会長：草野　惠介　　幹事：原田　典範

去る9月5日㈬に、福田金治ガバナー、桑田隆朗ガバナー補佐、増本一也地区幹事を迎えてのガバナー公式訪問例会を行いました。

事前の案内では例会前の懇談会は行わないとのことでしたが、例会の1時間前に来訪され、時間までロータリーについて熱い議論を交わしました。当クラブの「クラブ現況報告＆活動計画書」を読み込んでおられて、細かな事柄にまで見解を述べられたことには、ご多忙にもかかわらず、その丁寧さに頭の下がる思いでした。

事前に深いところまで議論していたせいでしょうか、ガバナー公式訪問卓話は、私には概略的な説明が多いと感じてしまいましたが、もちろん入会年次の若い会員にとっては、ロータリーを知るための大きな一助になったことは間違いありません。

特に会員増強についてのガバナーの見解では、当クラブの育成方針の正しさを確認できたことを感謝いたします。

諫早北RC　9月6日㈭

諫早北RC／会長：芦塚　文美　　幹事：辻　登志美

まだまだ暑さが残る９月６日㈭に、福田金治ガバナー、桑田隆朗ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。お忙しい中、11時半頃には当クラブの例会場Ｌ&Ｌホテルセンリュウに到着されました。

例会に先立ち、当クラブの定款、細則の解釈のこと、出席免除規定のこと、地区大会のことなどを説明していただきました。

例会ではまず、100周年記念の黄金の鐘での点鐘に始まり、当クラブの現状を見ていただきました。そして、ガバナー卓話では、今年度の国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」の解釈やRIの運営方針のロータリーDAY、マイロータリーのことなどを説明され、それから、地区の運営方針を説明していただきました。とくに退会防止が大事と教えていただきました。例会終了後の写真撮影をして、無事公式訪問が終わりました。

ほんとうに、有意義な時を過ごせました。今後のクラブの運営に生かしていきたいと思います。

ありがとうございました。

ガバナー公式訪問クラブ報告

諫早RC　9月7日㈮

諫早RC／会長：前田　博明　　幹事：上野　英剛

9月7日㈮ 福田金治ガバナー、桑田隆朗ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えし、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

懇談会は諸事情のため予定していなかったのですが、ご配慮いただき例会まで少し余裕をもってお越しいただきました。

例会に先立ち懇談を交え、クラブの現況・運営方針・活動等を報告させていただきました。ガバナーからはクラブ定款・細則等について、当クラブのために作成された資料をもとにご指導いただきました。ガバナー年間行事予定から鑑みれば、地区運営への熱意が伝わり大変感銘を受けました。

例会は昼食の諫早の『鰻-うなぎ』を、訪問の皆様と当クラブメンバーでいただきつつの交流・懇親となりました。ガバナー卓話ではプロジェクター等を用いず、ガバナー自らが当クラブメンバーと向かい合い、地区運営方針等を説明をされました。それにより地区リーダーとの距離を縮め、非常に良かったと感じました。

また例会後も地区行事等の在り方などの話に花が咲き、誠に勝手ながら訪問いただきました皆様に“親近感”をいだいたガバナー公式訪問となりました。

まだ当分暑さが続くかと思われますが、お身体に充分ご留意され無事に公式訪問を終了されることをご祈念申し上げます。

長崎北RC　9月10日㈪

長崎北RC／会長：竹山　直樹　　幹事：寺田　治之

9月10日㈪に福田金治ガバナー、瀬崎陽三ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えしてガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

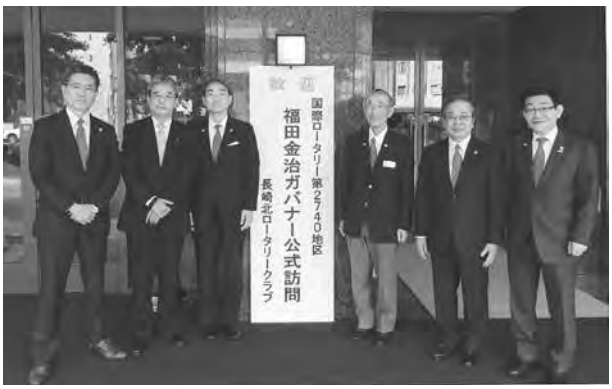
例会前の懇談の中で、11月16日、17日の地区大会のお話がありました。

できるだけメンバー手作りで準備をなさっており、本会議前の充実したエクスカーション、そしてランチまで用意しておもてなしを考えておられること、また青少年育成を重視されたハワイ短期留学の記念事業の計画のお考えを、あらためて知り感銘を受けました。

卓話の地区方針説明のなかで、会員増強に繋がるであろう具体的な退会防止策、広報、またその発信の重要性についてわかりやすくご説明がありました。

当クラブでもそのような活動を強化して参りたいと思います。

ご来訪にあらためて感謝申し上げるとともに、益々のご活躍をお祈りいたします。



ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎西RC　9月11日㈫

長崎西RC／会長：川瀬　隆史　　幹事：山田　吉盛

9月11日㈫、夏の炎暑が残る中、福田金治ガバナー、江口正則第9グループガバナー補佐、増本一也地区幹事のお三方にご訪問いただき、ガバナー公式訪問例会を開催いたしました。

例会前、30分以上も早く到着され、会長、会長エレクト、幹事との懇談の時間を多く取っていただき、その中で、多くの示唆をいただきました。

1点は、活動計画書に盛り込まれた内容の精査と、変化を加えながらの活動の大事さ。

1点は、活動計画書の中に、友好クラブとの歴史や交流を盛り込まれたら、もっと充実出来ると考えるとのアドバイス。

また、地区大会への参加と、その大会を、出来るだけ作業委託を減らし、会員手作りの分野を多くし、経費削減を目指しているとのお話もありました。

会員の伸び悩みや、高齢化、出席率の改善等々、多くの問題、課題を抱えながら進む我がクラブが、どのようにそれらを解決していくかへの指針をいただいた公式訪問でした。

福田ガバナー一行のご来訪に感謝の念を深く込め、御礼申し上げます。

長崎北東RC・長崎琴海RC　9月12日㈬

長崎北東RC／会長：久保田和典　　幹事：田中　徳之
長崎琴海RC／会長：友岡　純一　　幹事：西村　潮満

9月12日㈬に福田金治ガバナー、江口正則ガバナー補佐、増本一也地区幹事をお迎えして、長崎琴海ロータリークラブ様との合同公式訪問を開催いたしました。

まずは例会前に、例会場である長崎新聞を表敬訪問し、才木邦夫 長崎新聞社社長（長崎ロータリークラブ）を囲み懇談会を行いました。（その時の取材内容は9月12日の長崎新聞に掲載されております。）

その後、例会には才木社長も参加いただき、福田ガバナーより、RI会長の新年度運営方針（インスピレーションになろう等）・地区運営方針の説明（財団への寄付等）・会員増強（会員歴の短い方への指導方法により退会防止へ等）・地区主催事業の説明（地区会等）の詳細でわかりやすい説明をしていただきました。当クラブでも退会防止にも力を入れているところでしたので、大変参考となりました。

福田ガバナーをはじめ地区の役員の皆様方のご来訪に感謝するとともに、今後もロータリー活動を通じ社会に貢献できるように決意を新たにいたしました。

（文／長崎北東RC）

ガバナー公式訪問クラブ報告

長崎出島RC　9月14日㈮

長崎出島RC／会長：安達健太郎　　幹事：藤岡　秀則

去る9月14日㈮、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、瀬崎陽三ガバナー補佐をお迎えして、公式訪問例会を開催いたしました。

例会前の30分程度の懇談の中で、当クラブ運営についてのいくつかのご助言もいただき、当クラブの定款細則について殊の外お褒めの言葉も頂戴いたしました。また、ここ数年の会員増強の成果についてもご評価をいただきました。

福田ガバナーによる例会卓話では、今年度のRIテーマである「インスピレーションになろう」の考え方の説明、またどのクラブにも共通する課題である会員増強について、(1)新会員研修会を毎年必ず実施する。 (2)新会員にはカウンセラーを付けて、最低２年はその方に新会員を指導していただく。そうすることで新会員にクラブに馴染んでいただくことで会員数を安定的なものにできる旨のご指導がありました。その他11月に開催される地区大会のプロモーションなど内容豊富なものでありました。

当クラブを最終として長きに渡る公式訪問例会が終了するということで、ガバナー及び地区幹事も一息つかれていたようでしたが、また当クラブも瀬崎ガバナー補佐訪問例会～当クラブ20周年記念例会祝賀会～そして今回のガバナー公式訪問例会と怒涛の三週間が終了し、また次の目標に向かって会員全員で取りくむ所存です。

今後ともご指導をよろしくお願い申し上げます。

公式訪問の御礼

新年を迎えられ、会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度のガバナー公式訪問は、7月10日神埼・佐賀空港RC合同公式訪問を最初に、9月14日長崎出島RCへの公式訪問で37回の公式訪問が終了しました。年度初めのお忙しい中、歓迎していただき誠にありがとうございました。

本年度は2クラブ及び3クラブ合同の公式訪問にさせていただいたクラブがございました。理由は、公式訪問の際お話ししましたが、DLP(地区リーダーシップ・プラン)の導入で、ガバナー補佐がクラブ協議会にガバナーの代わりに出席するようになったことと、ガバナーの負担軽減です。このような理由とはいえ、合同公式訪問にさせていただいたクラブには、会場設営や準備など大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、深謝しますとともに、ご協力に感謝申し上げます。

さて、地区大会も例年とは少し形を変えた内容でございましたが、皆さまのおかげをもちまして無事終了することができ、地区運営も残すところ、あと半年となりました。

今後は各グループのIM、クラブの周年行事をはじめとした地区関係行事等ございますが、少しでも会員の皆様方のお役に立つよう精一杯頑張ってまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

国際ロータリー第2740地区
ガバナー　福田　金治

逝去会員　謹んでご冥福をお祈り申し上げます

西浦　隆洋 会員（佐世保西RC）
逝去日：2018年10月8日（享年63歳）
入会日：2004年9月7日
勤務先：㈱ダイヤ　代表取締役
クラブ役職：2007～2008年度　幹事
2011～2012年度　会長
2014～2015年度　幹事
2018～2019年度　幹事

小坂　信春 会員（大村北RC）
逝去日：2018年10月30日（享年70歳）
入会日：1999年5月19日
勤務先：おべんとう&kitchenみしま　代表
クラブ役職：2010～2011年度　幹事
2012～2013年度　会長

新会員紹介　～10月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

小城RC

角﨑（かくざき）　龍介（りょうすけ）君
法律事務所 かくすけ
弁護士

牛津RC

原田（はらだ）　烈（れつ）君
㈱バイオテックス
代表取締役

佐賀北RC

豆田（まめだ）　伊左徳（いさのり）君
まめだ司法書士事務所

鹿島RC

Rotary

馬場（ばば）　謙吾（けんご）君
株式会社 カシマ美装
代表取締役　会長

HTB佐世保RC

吉田（よしだ）　彬（あきら）君
㈱アップルドクター
会長

諫早北RC

板部（いたべ）　隆一（りゅういち）君
㈱九州ガスホールディングス
取締役

長崎中央RC

藤井（ふじい）　智明（のりあき）君
有限会社 亜紗
代表取締役

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（10月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
藤井　良介	5	佐世保北
古賀　新二	1	佐世保北
岩永　正人	4	長崎
川原　強	2	長崎

◆米山記念奨学会（10月）

■メジャードナー

氏　名	回数	クラブ名
堤　和之	37	佐賀大和
福田　俊郎	25	佐世保北

◆米山記念奨学会（10月）

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
田中丸善保	8	佐世保
古賀　良一	7	佐世保南
村瀬公一郎	2	佐世保東
藤井　良介	9	佐世保北
湯口　純二	4	佐世保北
松田　信哉	2	佐世保北
三谷　秀和	2	佐世保北
天本　俊太	5	長崎
岩永　信昭	7	長崎北東
三宅　敏彦	6	長崎西
﨑永　剛	4	長崎北

■米山功労者

氏　名	クラブ名
田崎　賢一	大村北
野田　孝則	大村東
市川　清史	長崎西
高谷　忠	長崎出島
安達健太郎	長崎出島
光富　智子	長崎出島

第2740地区 2018年10月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2018年10月末日会員数	2,257 名
2018年10月平均出席率	81.7%	（うち女性会員	95 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2018年10月入会者	7 名
（うち女性会員	91 名）	2018年10月退会者	7 名

国際ロータリー第2740地区 地区大会　ご報告とお礼

地区大会実行委員長　橘高　克和

2018年11月16日(金)・17日(土)、細谷伸夫RI会長代理ご夫妻をお迎えして、国際ロータリー第2740地区 地区大会を開催いたしました。

16日は佐世保カントリー倶楽部にて記念ゴルフ大会を開催。105名のご参加をいただき、難コースを楽しんでいただけたことと思います。当日夜は、ホテルオークラJRハウステンボスにてRI会長代理歓迎晩餐会を開催いたしました。

翌17日は、エクスカーションとして海上自衛隊 護衛艦「あきづき」見学と、九十九島遊覧船クルーズを実施。特に「あきづき」の見学会には140名のご参加があり、その関心の高さに驚きました。

今回初の試みとして、昼食 (佐世保ならではの佐世保バーガーと海軍カレー) を提供させていただきました (合わせて約1,100食ご提供)。

本会議前の海上自衛隊 佐世保音楽隊による記念コンサートでは、青少年460名を含め1,120名の観客が、そのプロの演奏に魅了されました。

13時30分より本会議を開始。細谷伸夫RI会長代理に「ロータリーは何故必要とされるか、奉仕の理想は思いやりの心」の演題でご講演いただき、RIテーマ「インスピレーションになろう」とは、「思いやりの心を育て、自分に家庭に地域に、そして世界に広めていくことだ」というお話をいただきました。

今大会の記念事業として、高校生を対象としたハワイ短期留学プログラムを計画いたしました。選ばれた14名の高校生を檀上で表彰、その代表者に応募時の作文を発表してもらいました。彼らには、3月末からの留学を機会に大きく世界に羽ばたいてほしいと願っています。本会議終了後、会場をホテルオークラJRハウステンボスに移し、全員着座による大懇親会を開催。予定どおり19時30分に全ての行事を無事終了することができました。

あらためて、第2740地区の会員の皆様、とりわけ、エイド役を引き受けてくださったパストガバナー 岩永信昭様ご夫妻、そしてパストガバナー、役員の皆様に心より感謝申し上げます。

第2740地区ガバナー　福田　金治

本会議風景

RI会長代理　細谷　伸夫 氏

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.2／vol.08

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

台南RC65周年記念式典にて福田金治ガバナーが祝辞（2019年1月11日 台南市）

ガバナー ロータリー情報

ロータリークラブが、クラブ定款、クラブ細則を必ず作成しなければならない理由

〔1〕**国際ロータリー定款 第5条「会員」第3節「定款および細則の承認」に下記の記載があります。**
RI加盟認証状を与えられ、これを受理したクラブはすべて、それによってRIの本定款と細則ならびにその改正規定を受諾し、承認し、法律に反しない限り万事これによって拘束され、それらの規定を忠実に遵守することを承諾するものとする。

〔2〕**国際ロータリー細則 2.030「クラブによる標準ロータリークラブ定款の採択」に下記の記載があります。**
すべての加盟クラブは、標準クラブ定款を採択しなければならない。

〔3〕**定款第18条「ロータリーの目的の受諾と定款・細則の遵守」に下記の記載があります。**
会員は入会金と会費を支払うことによって、本クラブの定款・細則に従い、その規定を遵守し、これに拘束されることを受諾するものとする。

〔4〕**クラブ定款にて、クラブ細則で決めることが義務づけられている規則は下記の通りです。**
⑴定款第8条「会合」第1節 —「例会」
クラブ例会の開催日、開催時間の決定
⑵定款第8条「会合」第2節 —「年次総会」
役員を選挙する為の年次総会の開催方法の決定
⑶定款第13条「理事および役員」第1節 —「管理主体」
本クラブの管理主体は、細則の定めるところによって構成される理事会とする。
⑷定款第13条「理事および役員」第4節 —「役員」
会場監督を理事会メンバーにするか、しないかの決定
⑸定款第13条「理事および役員」第5節 —「役員の選挙」
役員及び会長を選挙で選ぶ方法の決定
⑹定款第14条 —「会費」
年会費の決定

以上のように、国際ロータリー「定款」及び「細則」に、クラブ定款、クラブ細則で決めるように義務づけられている事項があるので、各クラブは必ず「クラブ定款」と「クラブ細則」を作成しなければなりません。

CONTENTS

諫早南RC 創立20周年記念式典の報告…… 2
国際青少年交換委員会「クリスマスパーティ」…… 2
米山記念奨学会・学友会「総会・懇親会」…… 3
ロータリー文庫通信…… 3
第2740地区の歴史 よもやま話 ～第1話～…… 4
逝去会員…… 6
新会員紹介、寄付者紹介…… 7
世界大会のご案内…… 8

創立20周年記念式典の報告

諫早南RC 会長　千葉まさこ

当クラブが、諫早多良見ロータリークラブをスポンサーとして創立され、国際ロータリー認証されてから、今年で20年目になるのを記念し、2018年11月24日㈯に、諫早観光ホテル道具屋において、創立20周年記念式典を行いました。

ご多忙の中、多数の第8グループロータリークラブ会員にご出席いただき、会員一同、感謝しております。また、宮本諫早市長、栗林パストガバナー、福田ガバナー、千葉ガバナーエレクト、第8グループ桑田ガバナー補佐、諫早剣道協会会長 小島様、活水学院長 湯口様にはご祝辞を賜り、ありがとうございました。

式典では、チャーターメンバーである立川安二郎会員及び長期在籍会員の表彰等を行いました。

20周年記念事業としては、野口寧斎記念碑の洗浄、青少年奉仕としての諫早少年剣道大会（8月19日㈰、森山スポーツ交流館）、音楽による地域の活性化としての活水中学高校吹奏楽部演奏会（11月24日㈯、諫早文化会館）を行いました。

国際ロータリー第2740地区 国際青少年交換委員会「クリスマスパーティ」

国際青少年交換委員長　下津浦　正明（佐世保南RC）

2018年12月16日㈰、RID2740の国際青少年交換委員会、及びオリエンテーションを開催しました。加えて、クリスマスパーティ、Jordana Booth のfarewell party、そして、1月に渡豪予定の岡すみれさんの壮行会を兼ねて、福岡のLa Serre French Restaurant のご協力を頂いて、テーブルマナーとお料理をみんなで楽しみました。

なかなか時間が取れなくて、帰国報告が出来なかったROTEX本城あかりさんにもスピーチいただきました。

何よりも今日はみんなで、クリスマスmealを楽しみました。

35人分のクリスマスmealと、楽しいオリエンテーションも、最後はみんなで持ち寄ったプレゼントの交換を終えあっという間に4時間半、今年もよく頑張った(^^)委員会の皆様、ご協力感謝いたします。

2019年もいろんな催しを企画して、楽しく元気な国際青少年交換委員会を目指します。

国際ロータリー第2740地区 米山記念奨学会・学友会「総会・懇親会」

米山記念奨学委員長 大家 和義（小城RC）

米山記念奨学生の2018年度生には、現在７か国の学生がいます。その学生のお国の名物料理を作っていただき、当地区出身の米山記念奨学生OBで、地区内又は隣接地区へ就職をしている、さらに地区外の大学へ進級している学生等へ連絡を入れ、新旧のOB会として「学友会」があります。

当地区の米山記念奨学会でつながったそれぞれの国の仲間、友人となった友好国の仲間の皆さんが一堂に会し、親交を深めていただくために、この「学友会」があり、会則の役員は全て米山記念奨学生で当地区内に就職をしているOBの皆さん・現役の学生で構成し、学友会長・副会長・幹事・会計までが海外の方で、これに監事としてロータリアンである米山記念奨学会地区委員が、学友会担当として参加します。もちろん、米山記念奨学会の地区委員長・地区委員の皆さんの応援が無ければ、学友会の「総会・懇親会」の開催は難しかったのではと思われます。

このような形で開催できるのも、全てはロータリアンの皆さんの「心と絆」で成り立っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

さらには、日本の友人・親日家を増やし、平和を実践する人材を育てる。『平和日本を世界へ！』の思いで頑張っています。

平成30年12月24日㈪ 開催

ロータリー文庫通信（371号）

http://www.rotary-bunko.gr.jp

～ 地区大会講演から ～

書　　名	著者 / 出版社	発行年	ページ
これからのロータリー	斎藤直美 D.2520 地区大会記念誌	2016	7P
変わりゆく時代とロータリー	本田博己 D.2740 地区大会記念誌	2018	8P
ロータリークラブの運営について	深川純一 D.2760 地区大会記録誌	2016	9P
よく分かる職業奉仕	藤林豊明 D.2520 地区大会記念誌	2016	10P
菩薩の心とロータリー	北河原公敬 D.2640 地区大会記録誌	〔2018〕	2P
ロータリーとの出会いを通しての成長	ジャンチブ ガルバドラッハ D.2790 地区大会記念誌	2018	2P
人類の進歩に役立つ科学の例～有機ホウ素化合物を利用する有機合成	鈴木　章 D.2690 地区大会記念誌	2018	5P
男と女の脳科学～脳が作り出す男女のミゾ、人生の波	黒川伊保子 D.2710 地区大会特集号	2018	10P
これからの日本と誇りある国づくり	櫻井よしこ D.2740 地区大会記念誌	2018	2P

Rotary 国際ロータリー第2740地区の歴史

よもやま話 ～第１話～

ガバナー 福田金治

1960年代後半、ロータリーの地区は現在のように細かい区分けをされておらず、九州全県は第370地区という一つの地区でありました。そして1968年に福岡・佐賀・長崎の3県による370地区、南九州の熊本・大分・宮崎・鹿児島の4県による373地区の2つの地区に分割されることになりました。

そしてその九州分割時のお別れ記念となる「1968年国際ロータリー第370地区・第373地区連合年次大会」を、佐世保ロータリークラブがホストクラブとして実施した内容を2740地区の歴史の一つとしてご紹介させていただきます。

年次大会開催日は、昭和43年10月19日～20日の2日間、会場は佐世保市民会館と名切公園で行われました。当時のRI会長は、ちょうど日本人として初めてのRI会長になられた東ヶ崎潔氏でありました。大会のRI会長代理は第355地区のパストガバナーを務められた西村二郎氏（新潟RC）をお迎えし、第370地区は児玉来三ガバナー、第373地区は大津篤造ガバナーのもと開催されました。記念講演は『島原の子守唄』や『まぼろしの邪馬台国』の著者として知られる宮崎康平氏にお願いをしました。そして大会実行委員長と大会幹事はそれぞれ佐世保RCの坂田重保会員、松尾弘司会員、コ・ホストクラブは佐世保南RCと佐世保東RC（当時の佐世保市内は3クラブでありました）にお手伝いいただき、大会キャッチフレーズは『友愛に集う秋の西海路』でございました。

【大会会場の選定】

まず、実行委員会が最初に行ったのは大会会場の決定です。

当時、佐世保には参加者2,000名を収容できるような会場はありませんでしたので、名切公園に大型テントを設置して懇親会の会場とされました。

【宿泊施設の手配】

次に、来訪者が泊まる宿泊施設ですが、当然佐世保市内では不足しましたので、嬉野や武雄の旅館にも手配・ご協力をいただいて、3日間で延べ1,300名近い方が宿泊されました。

【こだわりの食事】

食事については、海に近い佐世保としては新鮮な魚を召し上がっていただこうと企画をし、「伊勢エビの活き造り」や「鯛」の刺身、アゴの焼物を準備されております。

大会会場

嬉しそうな坂田大会委員長

参加人数が約2,000名ですので、伊勢エビは350匹、鯛500尾、アゴ5,000尾と相当の数となります。鮮度を保つために伊勢エビ、鯛は事前に集めて生け簀でいかしておき、アゴについては平戸より平戸RCの支援を受けて5,000尾を取り寄せ、ガスでは味が落ちるということで、炭火で焼かれています。

これだけの量を料理するのに板前が30名必要でしたので、市内の旅館、料理店にお願いして集まってもらい、料理時間も4時間かかったそうです。

【世知原茶と天然水】

飲み物についてはお茶の葉は「世知原茶」、水は世知原の天然水を無料でいただけるということで、給水車で10台分用意しました。この天然水は、当時私の父が懇親会担当でしたので、私が給水車を運転して運んだことをよく覚えております。

そのほかには、コカコーラ1,000本、ペプシコーラ1,000本、ワイン・ウイスキー700杯分なども、それぞれのメーカーより寄贈していただきました。

【開かずの傘】

大会当日は、事前の天気予報では雨天になっており、懇親会会場が屋外ということもあり、雨傘1,000本、それから地面が土の為、通路に敷く板800枚を準備されました。しかし、幸いなことに予想が外れ当日は雨が降らなかったので、雨傘や板の出番はありませんでしたが、実行委員会としては万全の準備をされていたことに頭が下がる思いです。

【体験航海と日米親善夫人懇親会】

式典以外の取り組みとしては、今年度の地区大会の護衛艦見学のように、海上自衛隊の協力で、このときには『体験航海』を計画・実施されました。こちらが大変人気で、予想を大きく超える480名の方が参加され、楽しんでいただいたようです。

また、米軍の協力を得て、『日米親善夫人懇親会』を米軍の基地内で開催されております。日米合わせて、およそ400人という多くの方で賑わったという記録が残っており、積極的な国際交流がなされました。

本年次大会の最終集計資料は

参加ロータリアン	1,918名
協力団体	10団体
弁当（懇親会も含む）	約 3,000食
宿泊者	延 1,277名
リボン	780個
雨傘	1,000本
費用	2,500万円

以上が1968年国際ロータリー第370地区、373地区連合年次大会の概要です。

およそ50年前の大会についてになりますが、当時の佐世保3クラブの一致団結と実に様々な細かい気配り、おもてなしが散りばめられていたことを感じる大会でありました。

記念品贈呈に嬉しそうな西村RI会長代理

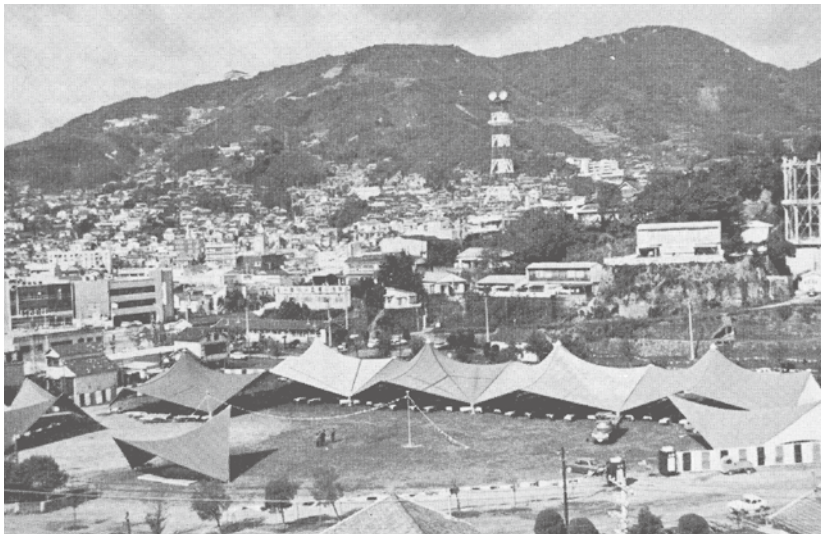
大津篤造373地区ガバナー

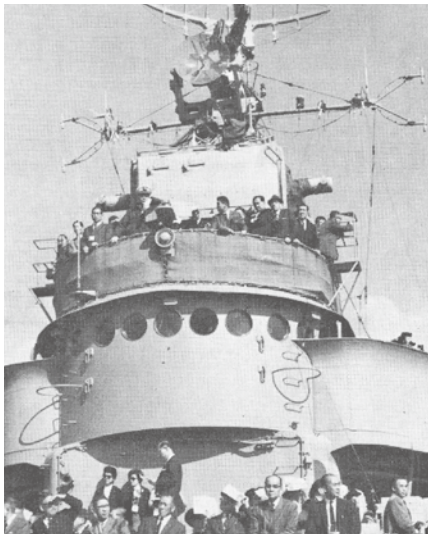
児玉来三370地区ガバナー

壇上の大会役員

交換学生全員応援に

特別講演の宮﨑康平氏


懇親会場大テント張


大変な人気だった自衛艦の体験航海

逝去会員　謹んでご冥福をお祈り申し上げます

下釜　貞志 会員（諫早RC）
逝去日：2018年11月16日（享年80歳）
入会日：1992年6月19日
勤務先：㈲魚荘ホテルグランドパレス諫早
取締役相談役

前田　一彦 会員（佐世保南RC）
逝去日：2018年11月18日（享年86歳）
入会日：1984年2月1日
勤務先：国際運輸㈱　代表取締役会長
クラブ役職：2000～2001年度　副会長
2004～2005年度　会長
地区役職：1991～1992年度・1992～1993年度
1993～1994年度・1995～1996年度
地区国際青少年交換委員会 委員
1996～1997年度・1997～1998年度
1998～1999年度
地区国際青少年交換委員会 委員長
1997～1998年度
地区社会奉仕委員会 委員
地区新世代奉仕委員会 委員
2008～2009年度　地区協議会実行委員会 委員長

新会員紹介 ～11月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

多久RC

赤熊（あかぐま） 国近（くにちか） 君
NPO法人 きらら
理事長

武雄RC

柏部（かしわべ） 一成（かずなり） 君
武雄センチュリーホテル
副総支配人

唐津RC

冨永（とみなが） 裕一（ゆういち） 君
唐津信用金庫
常勤理事

佐世保西RC

百武（ひゃくたけ） 和子（かずこ） 君
㈱第百不動産
副社長

佐世保東南RC

平山（ひらやま） 正輝（まさき） 君
㈲佐世保電器防災
常務取締役

島原RC

宮崎（みやざき） 清志（きよし） 君
㈲清福祉事業
代表取締役

大村東RC

伊藤（いとう） 正実（まさみ） 君
日本料理　実り
店主

大村東RC

諸岡（もろおか） 昌弘（まさひろ） 君
アーキテクトスペース
モロオカー級建築士事務所
代表

長崎南RC

松尾（まつお） 延大（のぶひろ） 君
㈱アルス
代表取締役

長崎中央RC

小石（こいし） 慶（けい） 君
キリンビール㈱
北部九州支社 長崎支店
支店長

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（11月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
永田　章	3	北松浦
吉川　幸太	3	大村東
石田　賢二	1	大村東
芦塚　文美	1	諫早北
岩永　正人	4	長崎
原田　延介	3	長崎
小牧　憲明	4	福江中央
押渕　禮子	4	長崎出島
廣高　信彦	1	長崎出島

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
船津美奈子	多久
藤　宣好	長崎出島
伊東　浩子	長崎出島
松尾　宏司	長崎出島
西村　広平	長崎出島
佐伯　秀人	長崎出島

■ベネファクター

氏　名	クラブ名
安達健太郎	長崎出島

◆米山記念奨学会（11月）

■メジャードナー

氏　名	回数	クラブ名
原田　延介	11	長崎

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
吉川　幸太	2	大村東
辻　登志美	2	諫早北
山口　大司	2	諫早西
森　秀樹	2	長崎北

第2740地区 2018年11月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2018年11月末日会員数	2,259 名
2018年11月平均出席率	82.2 %	（うち女性会員	95 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2018年11月入会者	10 名
（うち女性会員	91 名）	2018年11月退会者	8 名

ハンブルグで一生の思い出をつくろう
#rotary19
riconvention.org/ja
ハンブルグで
一生の思い出を
つくろう
ドイツ ハンブルグ | 2019年6月1～5日
Rotary
2019
HAMBURG
JA—(418)

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.3／vol.09

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

インターアクト後期指導者研修会（2019年1月26日 佐世保市）

ガバナー ロータリー情報

ICGF(IM)の歴史

IMの前の名称はIGF〔Intercity General Forum〕で、それ以前はICGF〔Intercity and Club General Forum〕と言われておりました。日本語訳では「都市連合一般討論会」となっておりました。2740地区では、1978年度までは「ICGF」、1979年度以降は「IGF」という名称になっています。

IGFよりIMという名称に変更になった経過ですが、1989年7月の全国ガバナー会議におきまして、1986年版の手続要覧(英文)中に、ガバナーの任務の一つに書かれていた「at least one Intercity Meeting during each year」(少なくとも毎年一回は、都市連合会を)の「Intercity Meeting」と1981年版手続要覧に記載されていた「Intercity General Forum」のどちらを正式に使用すべきか議論の結果「Intercity Meeting」に決定して、この文章の頭文字の「IM」という名称を今後日本では使用することとなりました。

IGF(IM)の開催方法については、1981年版の手続要覧までは記載されておりましたが、その後の手続要覧には記載がありません。

1981年版の手続要覧には「ロータリー情報及び教育の手段として都市連合ゼネラル・フォーラム(ICGF)は実際的かつ有効な手段であり、ロータリークラブ集団がその集団の中心地に全会員を招いて、経験あるロータリアン、通常、国際ロータリー現役員または旧役員が司会を務め、ロータリーの一般性格や計画等について研究、討議するフォーラムを開催することを奨励する。」と記載されています。

手続要覧より削除するということは、国際ロータリーの方針として、削除した活動は今後、廃止または中止するという意思表示です。

日本事務局にも聞きましたが、現在「IGF」は日本以外の国ではほとんど行われていないそうです。

2004年版手続要覧までは、ガバナーの任務の中に「各クラブに対して、少なくとも毎年一回はロータリークラブの都市連合会に参加するよう奨励する。」という記述がありましたが、2007年版手続要覧以降は、ガバナーの任務の中にそのような記述がありません。

ただし、手続要覧の標準ロータリークラブ定款の中には「ロータリークラブの都市連合会」に出席するとメークアップになるという記述は現在も残っております。

このような訳ですから、日本国内の各地区ではIGF(IM)を実施していない地区もあります。実施されている地区においては、手続要覧等にIGF(IM)の開催方法について記載がない為、古い手続要覧に記載されている開催方法を参考に、各地区で独自の方法で行っておられます。第2740地区では、分区代理制の時は分区ごとにIGF(IM)が実施され、ガバナー補佐制に変更後は、地区が10グループに分けられましたので、各ガバナー補佐の判断で、IGF(IM)を行うかどうか決められています。

CONTENTS

◉ 2019年国際協議会報告 …… 2
◉「インターアクト後期指導者研修会」報告 …… 3
◉ ロータリー文庫通信 …… 3
◉ 第2740地区の歴史 よもやま話 ～第２話～ …… 4
◉ 逝去会員 …… 6
◉ 新会員紹介、寄付者紹介 …… 7
◉ ロータリー国際大会のご案内 …… 8

2019年国際協議会報告

第2740地区ガバナーエレクト　千葉　憲哉（諫早北RC）

2019年1月13日㈰、国際協議会出席のためサンディエゴに到着。会議場のグランドハイアットサンディエゴで早速翌日から本会議７回、分科会８回が開かれました。その概略をご披露いたします。

次年度RI会長はジケーター・ロータリークラブ（米国）会員のマーク・ダニエル・マローニー氏です。

2019-2020年度のRI会長テーマは「ROTARY CONNECTS THE WORLD：ロータリーは世界をつなぐ」でした。それは、「地球を取り巻く文化、人種の違う、多数の人々が手をつなぎ、ロータリーが掲げる奉仕プロジェクトを実現しよう！」という意味とのことです。ロゴマークは会長テーマを表現し、「地球を中心に世界の多くの人種が手を取り合っている」形です。

本会議で提案された2019年度の新しい目標は、「①インターアクト、ローターアクトへの積極的アプローチ、さらには ②若い世代、家族、地域社会、国際社会との連携が求められ、また ③SNSすなわちMy rotary、クラブセントラル、フェースブックの利用促進でRIと国際社会、地区、クラブをもっと、もっとつなげることです。さらには ④国連UNICEFと一緒になってポリオ撲滅を第一とした、奉仕活動を積極的に行い、ロータリーの存在価値を高めようということ。」でした。

GEだけの分科会ではリーダーが一方的に結論を説明するトップダウンではなく、「研修者自らが考える」RLYと呼ばれる「研修リーダーは問題解決のファシリテーターとなり、研修チーム間同志との討論方式」でした。その結果、全８回の分科会ではGE一人一人が自ら考え、少しずつ問題解決がなされ、最終的に自分の地区にどのように説明したらよいか？をそれぞれのGEが身につけることができ、研修チームには問題解決への一体感が生まれました。

２月から始まる地区チーム研修セミナーをはじめ、多くのセミナーで2019年国際協議会の内容及び第2740地区の目標をご披露したいと思います。今回の研修にあたり第2740地区の多くのロータリアンの皆様のご協力、ご支援に深く感謝申し上げます。

国際ロータリー第2740地区 2018−19年度「インターアクト後期指導者研修会」報告

インターアクト委員長　徳川　清隆（唐津RC）

「インターアクト後期指導者研修会」を2019年1月26日㈯、インターアクターと顧問の先生、ローターアクターとロータリアンの参加により開催しました。会場は安部直樹パストガバナーが理事長をされている長崎国際大学大講義室を利用させていただきました。とても立派な設備で会運営についてもスムーズに出来、実施にあたりご協力いただきました関係者の方々にお礼を申し上げます。

さて、この研修会では、ロータリーの５大奉仕部門である青少年奉仕について理解する目的で開催しております。

福田ガバナーの点鐘で開会、ガバナー挨拶をいただきました。

次に第１部「インターアクトをもっと知ろう！」と題し、インターアクトクラブの活動事例を参加代表校「聖和女子学院高校」「唐津西高等学校」の２校より発表。

第２部では、「ローターアクトをもっと知ろう！」と題し、2017-18年度ローターアクト会長 峯　将洋さんがローターアクトの現況や活動を発表。それぞれの発表は、インターアクトクラブやローターアクトクラブでは、ロータリーの青少年ファミリーとして同じ理念のもと、青少年奉仕活動を行っています。活動の幅や形態は違うけれども、その精神を育みつなげられていると感じました。

第３部では、「学友会」をテーマにパネルディスカッションでした。パネラーは、地区米山記念奨学委員長 大家和義さん、ローターアクター 峯　将洋さん、長崎国際大学ローターアクトクラブ会長 三原千明さん、聖和女子学院高校顧問 山田彩也香先生、生徒 手光　彩さんです。

当地区では、学友会はありませんが、大家委員長より米山奨学会学友会についてご説明をいただき、また、第2650地区学友会資料を参考に学友会への理解を深めました。学友会は、未来のロータリアンを創るため「青少年学友の組織化」を行い、インターアクト、ローターアクト、国際青少年交換、RYLAでのそれぞれの青少年学友で構成し、ロータリーへ入会を促す「学友クロスプロモーション」の考えを検討し、今後、学友会組織を発足すべきではないかと実感しました。

最後に、第４グループガバナー補佐 川添信雄様より総評をいただき研修会終了となりました。

ご参加いただいた皆様、ご支援いただきました方々に感謝しご報告といたします。

ロータリー文庫通信（372号）

http://www.rotary-bunko.gr.jp

～ 最近の資料より ～

書　名	著者 / 出版社	発行年	ページ
ロータリーの扉を開く言葉	服部芳樹	2018	11P
ロータリー語ときあかし辞典	服部芳樹・北川宥智	2018	43P
日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則	服部芳樹	2018	12P
職業奉仕委員会報告書－永続・発展の職業奉仕とは！	D.2530	〔2018〕	28P
「内向き」と「外向き」わかりやすい職業奉仕	D.2780	2018	43P
プロフェッションの職業奉仕	高良　明 凡太の奉仕経営物語	2018	5P
ヘルスィライフーロータリアンの願い	小林　博	〔2018〕	17P
ロータリーの心と原点〈改訂第８版〉	廣畑富雄	2018	171P
ロータリー財団ハンドブック	D.2750	2018	123P
初期ロータリーを顧みて	鈴木　宏 監修	2014	106P

Rotary 国際ロータリー第2740地区の歴史

よもやま話 ～第２話～

ガバナー 福田金治

前号では冒頭、1960年代後半はロータリーの地区は今ほど細かい区分けはされていなかったということをご紹介させていただいておりましたが、今回は、地区がどのようにして現在の第2740地区に行きついているのかという変遷について、もう少し詳しく踏み込んでいきたいと思います。

【初めての地区の設置】

2020年10月20日をもって、日本のロータリーは100周年を迎えることになります。

現在の日本を34地区に分けた編成の基となったのが1928年7月にRI本部より承認された「**第70地区**」です。日本、朝鮮、満州を一つのテリトリーとし、7クラブでこの地区を形成したという記録が残っております。

【長崎ロータリークラブの創立】

現在2740地区に属するクラブで最も歴史のある長崎ロータリークラブが1935年10月6日に創立されます。福岡RCをスポンサークラブとし、戦前の国内ロータリークラブ認証順においては24番目、RI認証番号は4056でありました。

【日満ロータリー連合会と70地区の分割】

日米間の関係が悪化する中、アメリカに本部を置くロータリークラブは敵国のスパイであるとか、フリーメイソンであるといった批判や弾圧が激化していくことになります。そういった目をそらす意味でも、ロータリーの理念を保持した上でRIの中央集権から、国家単位の自治分権として独立した「日満ロータリー連合会」が1939年7月に誕生します。その際に第70地区は、名古屋以東の第70地区、西日本と台湾を含む「**第71地区**」、朝鮮・満州の第72地区として3分割されることになりました。

【国際ロータリー脱会と七曜倶楽部】

1939年9月、第二次世界大戦がはじまります。そのあおりを受け、1940年8月8日の静岡RCを皮切りにすべてのロータリークラブが国際ロータリーを脱会いたしました。しかしながら、各クラブは脱会と同時に「七曜倶楽部」という名称で会を立ち上げることで活動を継続されました。これは、脱会はしてもロータリーに対する心や精神までは絶やしてはならないという、当時のロータリアンの信念を感じる事実であります。

当地区においては、長崎ロータリークラブがRIを脱会後に「長崎木曜会」という名称でRIに復帰するまで活動を続けられておりました。

【国際ロータリーへの復帰と第60地区の発足】

戦後、RIを脱退しながらも前述の各曜会に名称を変えて活動を続けていた会員のRI復帰への運動が高まりをみせます。復帰運動のかいもあり、国際ロータリーは日本のロータリーの復帰を承認しました。復帰の3条件は、

①各七曜倶楽部の解散、②RIの定款細則の厳守、③RIへの義務の完全履行、そして日満ロータリー連合会のような地区や国家でかたまることのないように、というものでありました。

そして1949年3月29日の東京ロータリークラブをはじめとして、多くのロータリークラブが復帰を果たし、全国1区として「**第60地区**」が発足することになります。

【東西2地区への分割】

全国1区としていた日本のロータリークラブはこの時期急増しており、地区分割の必要性を感じるようになります。そこで1951年4月7日、8日の第60地区の年次大会において地区分割案が提案され、RIの承認を受けます。そして1952年7月1日をもって、東日本の第60地区、西日本の「**第61地区**」への地区分割が実施されました。

【東西2地区から4地区へ】

さらに広がりをみせる日本のロータリークラブは、さらなる地区分割を協議することになります。当時、3地区にするのか4地区にするのかという2案が出たそうですが1954年4月の地区協議会において、1955年7月から日本を4地区にするということでまとまりました。結果、第60地区を第60と第62地区へ、第61地区が第63と第64地区へ分割され、当地区は岡山以西の「**第64地区**」へ分類されることになりました。

【地区番号の整理】

これまでは地区は2ケタ番号でありましたが、1957年5月の国際大会において地区番号の整理が決まり、同年7月よりすべての地区番号が3ケタとなることになりました。

このとき、アジア圏は300台の番号に整理をされることとなり、日本の4地区は3ケタへの変更と、全国5地区への区割りが実施されました。

このとき当地区は64地区から「**第370地区**」へと変更になりました。

【細かい区割りが行われる】

1957年7月の370地区への変更の際、岡山以西の中国地方5県と九州7県の12県が地区に含まれましたが、1959年7月には山口と九州7県の8県で、新しい370地区が構成されます。このとき分かれた山口を除く4県（岡山、鳥取、島根、広島）は新しく誕生した368地区に区分けされることになりました。続いて1964年7月には山口が分離して九州7県を1地区とする370地区となります。そして、1968年7月に前回ご紹介した九州南北地区への分割が行われることになります。1957年から1968年にかけた細かい分割の際、当地区は第370地区のまま推移したことがわかります。

【2回目の地区番号整理】

2ケタであった地区番号が3ケタに整理されたのが1957年7月でした。

そして、1977年7月に2回目の地区番号の整理が実施されることになります。このとき、アジア地域が250から399にナンバリングされたことにより、日本の各地区が300番台であったのが下2ケタはそのままに200番台に変更がなされました。結果、当地区は第370地区から「**第270地区**」へと20年ぶりに地区番号の変更が行われました。

【270地区と274地区への分割】

当時、270地区は、福岡・佐賀・長崎で構成されておりましたが、1982年7月の地区分割により第270地区を福岡と鳥栖、壱岐、対馬を含む地域、第274地区を鳥栖を除く佐賀と壱岐、対馬を除く長崎という区分けが実施されました。これにより、鳥栖や壱岐・対馬は佐賀県や長崎県でありますが、地理的な事情により福岡を中心とする270地区へ分割されました。当地区は、「**第274地区**」へと名称が変更になりました。

【現在の2740地区へ】

1991年7月より、3回目の地区番号整理が実施され、当地区は見慣れた4ケタの「**第2740地区**」がスタートし、現在に到っております。

＜参考文献＞

・国際ロータリー第270地区史
第270地区史編纂委員会

・ロータリー歴史探訪　田中　毅

◆第2740地区　地区番号の変遷まとめ

1928年～1939年	第70地区〔日本・朝鮮・満州〕
1939年～1940年	第71地区〔西日本・台湾〕
1940年～1949年	～戦争によるRI脱会期間～
1949年～1952年	第60地区〔全国一地区〕
1952年～1955年	第61地区〔近畿・中国・九州　23府県〕
1955年～1957年	第64地区〔中国・九州　12県〕
1957年～1959年	第370地区〔山口・九州　12県〕
1959年～1964年	第370地区〔山口・九州　8県〕
1964年～1968年	第370地区〔九州　7県〕
1968年～1977年	第370地区〔福岡・佐賀・長崎〕
1977年～1982年	第270地区〔福岡・佐賀・長崎〕
1982年～1991年	第274地区〔佐賀・長崎〕
1991年～現在	第2740地区〔佐賀・長崎〕

逝去会員

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

下西　　昭 会員（唐津東RC）
逝去日：2018年12月14日（享年71歳）
入会日：1995年9月7日
勤務先：㈱下西商店　代表取締役
クラブ役職：2009～2010年度　幹事

新会員紹介 ～12月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

佐賀RC
田中（たなか） 広敏（ひろとし） 君
㈱メモリード
常務取締役

佐賀RC
山﨑（やまさき） 久（ひさし） 君
NHK佐賀放送局
局長

佐世保RC
前田（まえだ） 隆夫（たかお） 君
西日本新聞佐世保支局
支局長

大村北RC
白石（しらいし） 直子（なおこ） 君
個別学習塾 勉強ラボ
代表

諫早南RC
沼光（ぬまみつ） 美樹（みき） 君
㈱メモリード
館長

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（12月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
荒木　文明	2	大村
森本　英敏	2	大村
伊達　秀喜	1	大村
千葉　憲哉	5	諫早北
鳥巣　維文	4	長崎
森　義則	1	長崎
馬場　政徳	4	長崎西
江上　徹也	4	長崎西
岡田　康信	8	長崎中央
原田　知行	2	長崎中央

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
古賀　巖	佐世保
朝野　卓也	佐世保南
松尾　彰	諫早北
水上　正博	長崎北東
西岡　克之	長崎北東

◆米山記念奨学会（12月）

■メジャー・ドナー

氏　名	回数	クラブ名
大神　邦明	10	佐世保

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
花島　光喜	7	鹿島
村田　純一	9	佐世保南
角　康隆	2	佐世保南
本多　善彦	9	雲仙
千葉　憲哉	5	諫早北
許斐　義彦	2	長崎西
安永　勝信	3	長崎西
平山　寿則	3	長崎西

■米山功労者

氏　名	クラブ名
法本憲一郎	佐世保東南
森崎　良昌	長崎中央

第2740地区 2018年12月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2018年12月末日会員数	2,242 名
2018年12月平均出席率	83.0 %	（うち女性会員	96 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2018年12月入会者	5 名
（うち女性会員	91 名）	2018年12月退会者	22 名

ロータリアンの皆さま

ロータリー国際大会は、一つの街で世界レベルの体験ができる、ほかに類を見ない行事です。ヨーロッパの「世界への玄関口」とも称されるハンブルグでの大会は、ロータリー世界への扉を開く機会となります。インスピレーションあふれる本会議で一日を始め、あらゆる関心と熱意に応える分科会に出席したら、新旧のご友人たちと一緒に、歴史豊かな湾岸都市の探索へと出かけましょう。古くからの建造物とモダン建築を眺め、多文化の食事を味わい、運河が入り組む街の散策をお楽しみください。

ハンブルグでの第110回ロータリー国際大会（2019年6月1～5日、於ハンブルグメッセ）に皆さまをお迎えできることを心から楽しみにしています。インスピレーション、新しいアイデア、友情、そして楽しみに満ちた国際大会。ハンブルグで、一生の思い出をつくりましょう！

バリー・ラシン

Rotary 2019 HAMBURG

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.4／vol.10

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

北松浦RC 創立50周年記念式典（2019年2月16日㈯ 佐世保市）

ガバナー ロータリー情報

ライラの歴史

ライラの正式な名称は「Rotary Youth Leadership Award」(略称RYLA)、日本語訳では「ロータリー青少年指導者養成プログラム」となっております。

1959年、オーストラリアのクイーンズランド州は自治権獲得100周年を祝うこととなり、エリザベス女王がアレクサンドラ王女を名代として派遣されました。この機会に、王女と同世代の青年達を招いて100周年記念式典に参加させ、意見交換をさせるという計画が持ち上がりました。そして、ブリスベンロータリークラブが全豪から集まってきた青年リーダー達のホストを務めました。これらの青年達の資質の良さに感心したブリスベンロータリークラブは、この催しを毎年行う事を決め、地区の各クラブより2名ずつの青年をブリスベンに招待し、1週間、文化、社会、教育のプログラムに参加させることにしました。これがライラの起源で、ライラは第260地区で生まれました。

その後、このような催しがオーストラリアやニュージーランドで盛んになり、アメリカ、カナダを始め世界の各地に広がって国際ロータリーは、1971年に青少年奉仕に関する公認プログラムにいたしました。

ライラの主旨は、ライラに参加する若い人達がロータリアンとともに学び、若者の心の中に潜在している指導者としての素質を十分に引き出し、育成助長し、あわせて生涯を正しく幸せに生きて行くために、立派な人間性を創造することです。

第2740地区では、第1回のライラは国際ロータリー創立75周年の地区記念事業として、当時の新家忠男パストガバナーが実行委員長となり1980年5月、長崎県西彼杵郡大瀬戸町の「しんわ森の家」で開催されました。私も佐世保RCの会員として参加いたしました。この時は2泊3日でしたので、1日目と2日目は青雲学園理事長 速見雄吉様、長崎県総務課長 寺田精介様、ボーイスカウト日本連盟 柴田常雄様他の方々の講話が行われ、最終日の3日目は海上自衛隊護衛艦隊の体験航海、海上自衛隊佐世保地方総監 杉浦章義様の講話が行われ、無事終了しました。

その後、このライラは地区行事に採用され、今日まで地区内の各クラブの持ち回りによって続けられ、今年度が第40回のライラとなっております。

「ローターアクト」「インターアクト」「国際青少年交換」は国際ロータリーの事業ですが、ライラはこれらの事業と違い地区が行っている事業です。

青少年育成には大変役に立っている事業ですので、これからも続くことを希望しております。

CONTENTS

- 「全国RYLA研究会」の報告…… 2
- 補助金管理セミナー報告…… 2
- 唐津中央RC創立25周年記念式典…… 3
- 北松浦RC創立50周年記念式典…… 3
- IM開催報告…… 4
- ハワイ短期留学プログラム 第1回オリエンテーション…… 6
- ロータリー文庫通信…… 6
- 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介…… 7
- ロータリー国際大会のご案内…… 8

「全国RYLA研究会」の報告

RＹＬＡ地区委員長　山口　宏二（長崎RC）

去る、2月3日㈰、第11回 全国ＲＹＬＡ研究会が、昨年に続き神戸にて開催されました。当2740地区から私と本年度開催予定クラブである島原南RC 本多 進実行委員長、又、オブザーバーとして野口清パストガバナーの３名にて参加いたしました。

本研究会のテーマは「Let's challenge ＲＹＬＡ　ＲＹＬＡにチャレンジしよう!!」です。又、開催目的については、ＲＹＬＡ（ロータリー青少年指導者養成プログラム）は、地域社会、国際社会に奉仕する青少年のリーダーを養成することですので、この養成プログラムに対する認識を深めることが目的です。参加者については、ＲＹＬＡ学友など卒業生の支援を受けながら活発に活動している近畿、首都圏を中心に国内約150名の参加にて開催されました。

現在ＲＹＬＡは、各々の地区で独自の運営形態にて開催され、統一規格というものはありませんし、開催されていない地区もあります。この研究会の分科会の中で情報交換を行いながら、各々の地区が青少年にとって参加してよかったと感じてもらえるＲＹＬＡを開催できれば、本研究会参加の意義があると考えます。

2740地区では、地区内に確固たるＲＹＬＡ委員の組織はなく、グループごとに毎年開催クラブが移行する運営形態が今年で40回続いています。全国的にみれば、この運営形態をＲＹＬＡと呼ばれるに足りる基本的要素という観点から疑問視する向きもありますが、私は、先人の方々の努力により40年の長きに渡り継続していること、又、開催する過程でホストクラブが活性化すること並びにその開催地ならではの特色あるＲＹＬＡ（37回長崎RCの観光フィールドワーク、38回伊万里RCのＨＵＧ避難所運営、39回多久RCの論語で学ぶ等々）が行われていることは意義深いことだと考えます。

今年は4月20日㈯、21日㈰ 島原南RCのホストのもと「このＲＹＬＡが君を変える」というテーマにて開催されます。多くのロータリアン、青少年の参加をお願いします。

国際ロータリー第2740地区 2018-19年度 補助金管理セミナー報告

補助金委員長　隅　康二（佐賀西RC）

ロータリー財団・補助金管理セミナーが、2019年2月3日㈰に諫早市のL&L ホテルセンリュウにおいて開催されました。福田ガバナー、千葉ガバナーエレクトをはじめとする地区役員および西川財団委員長をはじめとする財団の各委員会担当委員、並びに次年度の各クラブ会長、幹事、R財団委員長など120名の会員の皆様にご出席いただきました。

西川財団委員長：国際ロータリーとして、財団全体の概況、世界における補助金事業の流れについて解説され、2740地区における活動状況が報告されました。

隅補助金委員長：財団の補助金のシェアシステムについての解説と、地区補助金事業を行う場合のタイムスケジュール、申請の手順について説明が行われました。

岡村資金管理委員長：事業報告の手順について、今年度の事業実例を示しながら、収支の記入方法、領収書や通帳の報告方法、事業の写真や新聞などに掲載された記事の貼付方法など、具体的な説明が行われました。

古賀資金推進委員長：クラブから本部への送金タイミングの重要性とロータリーカード使用の利点、寄付促進の意義についての説明が行われました。

喜多財団奨学委員長：現在の2740地区における奨学生応募状況などの報告と、今後の奨学生推薦、応募の手順についての説明が行われました。

学友・片岡一生様：2740地区よりグローバル補助金奨学生として英国へ派遣された留学体験と、現在の仕事に結びついたプロセス、国際的なネットワーク作り、今後のキャリアプランなど報告をいただきました。また、当地区で計画されているグローバル補助金事業（ネパールにおける水と衛生改善プロジェクト）についての支援と進捗状況なども伝えられました。

補助金セミナーの様子

唐津中央RC創立25周年記念式典

実行委員長　宮丸　典子

「春は名のみの風の寒さや」と早春賦の歌が聞こえてきそうな、春の訪れを感じる2月8日㈮、ホテル＆リゾーツ佐賀唐津にて創立25周年記念式典並びに祝賀会を開催いたしました。

当日は、唐津市長 峰 達郎様、福田金治ガバナー、宮島傳兵衞パストガバナー、川添信雄ガバナー補佐、増本一也地区幹事、第４グループの各会長幹事、遠来より韓国・麗水閑麗ロータリー会長と会員家族様、多くのご来賓の皆様に、公私ともにご多忙の中ご臨席賜り、盛大に執り行うことができました。

式典では、特別代表 本城好春様の追悼でその功績を忍び、創立25周年の歩みをかみしめました。

この度の記念事業として、地域貢献・青少年育成をテーマに、唐津市教育委員会へ「テント＆セット８張」寄贈（市内の学校を地域別に８ブロックに分けてある為）。去年の酷暑もあり、熱中症対策の上でこの寄贈は非常に喜ばれ、活用していただくことになります。

引き続き行われた祝賀会では、美味しい料理と美酒を食しながら、お客様や会員同士の親睦友好が図られたのが、最高のおもてなしになったのではないかと自負しております。

3月9日にＩＭも控えている日程の中で、実行委員会を立ち上げアイデアを出し合い、会員の協力を仰ぎながらより善い式典、祝賀会にすべく進めてきた手作りの25周年ではなかったかと思います。

我がクラブは、平成に生まれ育ち、平成最後の今年に25周年という節目を迎えました。まだまだ若い当クラブではありますが、伸びしろの大きいこれからの成長・発展に向け努力していく覚悟と、新年号のもと心新たにロータリーの精神をしっかり引き継ぎ、更なる活動の充実を目指し、力強く取り組んでいくメッセージを発信した式典になったと思います。これからも、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いして、報告といたします。

北松浦RC創立50周年記念式典

第50代会長　横尾　成人

当クラブは、旧北松浦郡６ヶ町（佐々町、江迎町、吉井町、小佐々町、鹿町町、世知原町〔現在、佐々町を除く５ヶ町は佐世保市に編入〕）をエリアとして佐世保RC様をスポンサークラブに仰ぎ、1969年1月14日創立、同年3月3日、国際ロータリーより正式承認を受け、チャーターメンバー25名で発足いたしました。

チャーターメンバーとして健在の御厨成宏会員をはじめ、本日まで178名の入会者がありました。現在は、26名の会員です。平均年齢は、昨年の7月1日時点で62.96歳です。

50年の歴史を振り返りますと3名の分区代理を輩出し、その中の御厨成宏会員は、今でも例会に出席され、後輩の良きアドバイザーとして活躍しておられます。また、その後、2名のガバナー補佐を輩出いたしております。

記念式典は、平成31年2月16日㈯に佐世保市江迎地区文化会館インフェニスタ 大ホールにて行われ、ロータリークラブ外からの来賓として朝長佐世保市長、古庄佐々町長をはじめ、当クラブにご縁のある地元有志の外部団体代表の方々、北松浦RC、OBの方々、また、ロータリークラブからは　福田金治2740地区ガバナーをはじめ、安増米山奨学会理事、千葉ガバナーエレクト、第5・第６グループの各ガバナー補佐をはじめ、各クラブの会長、幹事様、遠くは韓国釜山から姉妹クラブの釜山東南RC様、総勢100名を超える方々に出席していただき、すばらしい式典を開催することができました。

参加していただきました皆様には会員一同こころより感謝をいたしております。この場をお借りしてお礼申し上げます。また、平戸RC、松浦RCの方々には全員登録をして式典にご参加いただきましたことも重ねてお礼申し上げます。

今回の50周年記念事業といたしまして北松浦RCより、米山記念奨学会に特別寄付100万円、佐々町でんでんパーク公園内に佐々町様より命名いただいた「子供たちの未来を刻む時計」のモニュメントを設置、佐々町のボランティア団体ニコニコクリーン佐々には、作業用ジャケット50着を贈呈することができました。

そして北松浦RCのスポンサークラブ佐世保RC様はじめ、各外部団体に感謝状、記念品を贈呈、該当する当クラブの会員に表彰状の授与を執り行うことができました。

式典終了後、記念撮影を終え、会場をサンパーク吉井に移動し、旧北松６ヶ町の各々の特産品を使用したすばらしいコース料理をいただきながら和やかな祝賀会を行うことができました。

第7・第8グループ合同IM開催報告

IM実行委員長　野田　孝則（大村東RC）

去る2月2日㈯、2018～2019年度国際ロータリー第2740地区第7・第8グループ合同インターシティーミーティングを開催いたしました。

今回の大会のテーマ「ロータリアン地域の中で」～まず、地域を語ろう、そして伝えよう～です。

開会式、石田賢二大会会長の点鐘で始まり、ご来賓で福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、栗林英雄パストガバナー、高城昭紀パストガバナー、宮﨑清彰パストガバナーにご臨席を賜りました。

福田金治ガバナーには、開会式での挨拶を、栗林英雄パストガバナーには、閉会式での講評を、高城昭紀パストガバナーには、懇親会での挨拶を、宮﨑清彰パストガバナーには、懇親会での乾杯を賜り、ご来賓の皆様には本当にお世話になりました。

ご講演に関しましては、お一人目は、『村嶋寿深子』さんです。ここ大村をプロの音楽活動の拠点として全国で演奏会を企画・公演されています。講演のテーマ「生活の中の音楽」と題してお話していただきました。ご本人は東京藝術大学声楽科を卒業後渡米され、オペラやユル・ブリンナーと共演のミュージカル「王様と私」等、足掛け20年ニューヨークを中心に活躍され帰国後は約15年間カザルスホールスタッフとして活動され地元大村に戻られ、大村に恩返しをするために長崎県出身にこだわりプロの合奏団を作り上げられました。クラシック音楽や癒しの音楽、鼓舞してくれる音楽、親しみをもって音楽を取り入れられました。そのように生活の中には色々な音がありますと話していただきました。合奏団の演奏では、島原の子守歌・諫早のんのこ節・大村夏越音頭と心憎い演奏をしていただきました。

続いて、お二人目はスポーツを通じて活躍されている株式会社ジャパネットたかた創業者髙田明社長で、講演のテーマ「夢持ち続け日々精進」と題して講話をいただきました。スポーツを通して社会奉仕。長崎を元気にすれば世界も元気になると話されました。いろんな格言を賜りました。

前向きにくよくよせずにポジティブに、そうすれば道は開ける・ミッション(理念)が大事、パッション(情熱)を持ち続ける、アクション(行動)する。頑張ることで同じ価値観の人が集まり助けてくれる。人の縁を大事にし縁をつなげていく。プロセスの過程を大事に一生懸命に生きる。優しく伝える・間をとって話す・表情をもって伝える。伝えることの大切さ、今を頑張り、今を生きる、そして、愛と平和を伝えていきたい。さらに、お二人とも懇親会まで参加していただき、気軽に写真撮影に応じていただき、盛会の内に有意義な時間を皆で共有することができました。これをもちましてご報告といたします。

第9・第10グループIMのホストクラブを終えて

長崎琴海RC 会長　友岡　純一

わが長崎琴海ロータリークラブとしては、初めてのIM担当クラブとなりました。私にとっては会長年度にあたり、私自身が実行委員長を務めることになりました。役割分担はクラブ全員で行い、企画を練ってまいりました。そこで、駒井直前ガバナーにDLPとCLPについてお話をいただき、また増﨑長崎大学病院長に長崎の医学の歴史についてお話をいただきました。その後には、第9・第10グループ全12クラブを訪問しての各クラブ紹介と、それぞれの社会奉仕の紹介をいたしました。

CLPについては充実した内容で実施されているところもありますが、まだまだこれからというところもあるのではないでしょうか。公共イメージアップは、特にこれから強化されるべきではないかと考えております。さらに会員一人一人にその中身が浸透して行くためには繰り返し学び、討論し続ける事が必要ではないかと思います。

増﨑先生のお話では、医学の発達が人々を病から救い、苦痛を和らげ、さらに長寿へとつながって行くこと、この日本の医療技術･医療設備が発展途上国(特にアジアの各国)に広がっていくことを望まずにはいられませんでした。まだまだ救える命もたくさんあると思います。

各クラブの紹介では、それぞれのクラブが熱心に社会奉仕を実践実行なさっていると再度実感しました。ロータリーの基本は社会奉仕にあると考えます。そして地区大会やIMなどを通じて懇親を深め学び、一人一人の向上がさらに進んでいくことを願っております。

コ･ホストを務めてくださった長崎RCを含め、多くのクラブの皆様に、盛会のうちにIM開催ができましたことを御礼申し上げます。このような大役を務めることができ、充実した気持ちでおります。心より感謝申し上げます。

ハワイ短期留学プログラム　第1回オリエンテーション

ハワイ短期留学委員会　副委員長　安部　雅隆

2019年1月22日㈫、国際ロータリー第2740地区 2018-2019年度地区大会記念事業「ハワイ短期留学プログラム」に選抜された14名の高校生を対象に、第１回オリエンテーションを佐世保市内で実施しました。選抜された高校生にとっては昨年11月に開催された地区大会の表彰式以来の顔合わせということで、まだ若干の緊張感が包む会場でしたが、池田真秀委員長の挨拶に始まり、「留学の心得」「留学に際する注意事項」「『ESTA』等の申請手続きに関する注意点」を中心に説明がなされました。全体で90分という長丁場ではありましたが、高校生および保護者は熱心に耳を傾けており、加えて質疑応答の時間では様々な質問が寄せられ、今回のプログラムに対する熱意を感じた次第です。また、保護者からは、今回のオリエンテーションで不安が払拭できたという感謝の言葉をいただくこともできました。

次回のオリエンテーションは3月11日㈪に予定しており、現地での具体的スケジュールの提示の他、参加者の懇親を深める食事会も予定しています。

http://www.rotary-bunko.gr.jp

ロータリー文庫通信（373号）　～ 日本のロータリーの歴史より ～

書　　名	著者 / 出版社	発行年	ページ
温故知新　ロータリーの今昔	遠藤健三　D.263	1987	7P
＜座談会＞ロータリー文庫について	ロータリー文庫	1987	27P
ロータリー米山記念奨学会史〈第一章〉	米山記念奨学会	1992	31P
日本ロータリー史：1920 ～ 1971	直木太一郎	1971	37P
日本ロータリー再建の頃	ジョージ R. ミーンズ（元 RI 事務総長）	友1976/9月～	27P
満州におけるロータリー運動の展望	佐々木孝三郎	-	19P
朝鮮に於けるロータリーと第 10 年次大会を回顧して	佐々木孝三郎	-	11P

逝去会員　謹んでご冥福をお祈り申し上げます

福地　晋 会員（多久RC）
逝去日：2019年1月1日（享年89歳）
入会日：1985年6月28日
勤務先：㈲多久臨床検査センター　代表
クラブ役職：1986～1987年度　幹事
1996～1997年度　会長

宮島　省吾 会員（唐津東RC）
逝去日：2019年1月9日（享年70歳）
入会日：1989年7月14日
勤務先：宮島酒造㈱　社長
クラブ役職：2003～2004年度　幹事
2014～2015年度　会長
地区役職：2015～2016年度　月信編集長

西山　泰雄 会員（有田RC）
逝去日：2019年1月12日（享年75歳）
入会日：1993年12月7日
勤務先：共立エレックス㈱　取締役会長
クラブ役職：2005～2006年度　会長

新会員紹介　～1月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

佐賀大和RC

渡瀬（わたせ）　友也（ゆうや）君
キャットハンドサービス
わた工房

唐津RC

冨田（とみた）　裕樹（ひろき）君
㈱リバティ
代表取締役社長

伊万里RC

重松（しげまつ）　宏臣（ひろおみ）君
わかまつや化粧品店
代表取締役

伊万里西RC

百武（ひゃくたけ）　誠（まこと）君
司法書士法人
ハート・トラスト
代表

伊万里西RC

時里（ときさと）　誠（まこと）君
有限会社　とき里
代表取締役社長

伊万里西RC

齋藤（さいとう）　忠之（ただゆき）君
TMS&カンパニー㈱
代表取締役

佐世保東南RC

廣川（ひろかわ）　祐輔（ゆうすけ）君
廣川建築設計事務所
代表

福江中央RC

池田（いけだ）　秀樹（ひでき）君
いけだ内科
院長

長崎東RC

南部（なんぶ）　光伸（てるのぶ）君
南部洋服店
四代目（職人）

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。
ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（1月）

■メジャー・ドナー

氏　名	レベル	クラブ名
千葉　憲哉	1	諫早北
医療法人社団 昭成会 岩永医院	1	長崎北東

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
千葉　憲哉	8	諫早北
原田　典範	1	諫早西

■ベネファクター

氏　名	クラブ名
医療法人社団 昭成会 岩永医院	長崎北東

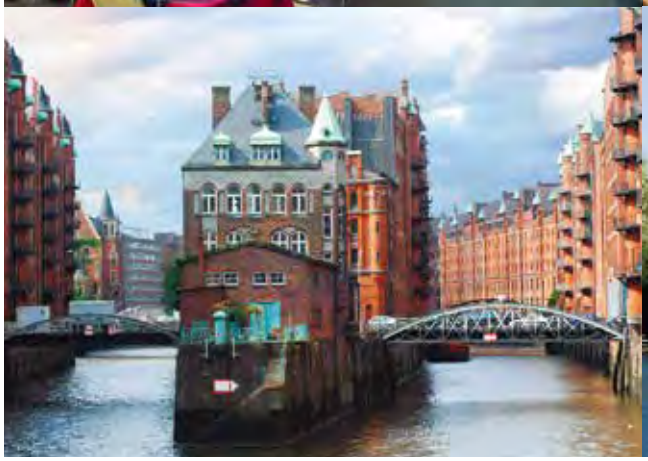
◆米山記念奨学会（1月）

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
黒田　隆雄	9	諫早北
中嶋　久光	7	長崎北

第2740地区 2019年1月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2019年1月末日会員数	2,246 名
2019年1月平均出席率	82.6 %	（うち女性会員	95 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2019年1月入会者	10 名
（うち女性会員	91 名）	2019年1月退会者	6 名



Rotary | 2019 HAMBURG

ハンブルグ：忘れえぬ体験の舞台へ

riconvention.org/ja

ハンブルグは、新旧の文化が交わることで醸し出される独特な雰囲気をたたえた街です。フレンドリーな地元の人たちと接し、多彩なエンターテイメントを楽しめるこの湾岸都市が、忘れられない体験の舞台となります。

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー　福田金治

2019.5／vol.11

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740　FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

米山記念奨学生修了式（2019年3月3日㈰　佐賀市）

ガバナー ロータリー情報

クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）についての説明

クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）とは、国際ロータリーが採用したクラブ運営の新しい方法です。今のところ、クラブ定款のように採用が義務付けられておりませんので、採用するかどうかは各クラブの理事会で決められて良いのです。

ここで、クラブ・リーダーシップ・プラン（CLP）導入の経過を説明します。

（1）CLPは2004年11月のRI理事会で、クラブ管理の枠組みとして正式に承認されました。

（2）2007年の手続要覧に、クラブ委員会としてCLPで採用された「クラブ管理運営」「会員増強」「クラブ広報（公共イメージ）」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の五つの常任委員会を作るべきであるとの文面が記載されています。

さらに、2007年の推奨ロータリークラブ細則にも、上記の五つの委員会を常任委員会として作るべきであるという文面が記載されています。

（3）RIは、2008年以降は、「クラブ委員長の手引き」としては、CLPで採用されている「クラブ管理運営」「会員増強」「クラブ広報（公共イメージ）」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」という名称の手引きしか作成していません。

（4）2016年の標準ロータリークラブ定款から、クラブ委員会として「クラブ管理運営」「会員増強」「公共イメージ」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の五つの委員会を有すべきであるという文面が記載されました。

「有すべき」の英文は「should」で、日本語訳では「任意」となるので、現在のところ、五つの委員会を設置することは義務ではありません。

標準ロータリークラブ定款第3条クラブの目的に、本クラブの目的は、・・・五大奉仕部門に基づいて成果あふれる奉仕プロジェクトを実施し、・・・という記載があり、第6条五大奉仕部門には、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」「青少年奉仕」が五大奉仕部門であるという記述があります。

CLPが採用される以前は、五大奉仕部門に基づいて、ロータリー活動を実際に行う五つの委員会の名称が、五大奉仕部門と同じでした。しかしCLP採用後は五つの委員会の名称が「クラブ管理運営」「会員増強」「公共イメージ」「ロータリー財団」「奉仕プロジェクト」に替りました。

CLPについて、これまでいろいろ説明させていただきましたが、この新しいクラブ運営の方法が打ち出された理由は、ひと言で言えば、クラブ運営方法があまりに肥大化して、会員数の少ないクラブにとって、クラブを運営していくことが困難になったからだと思います。

クラブ運営を簡素化するために、「委員会は最低五つの委員会だけで良い」「クラブの運営についても、各クラブ独自で決めて良い」となっています。

さらに2016年の手続要覧の改正で、それまで変えることが出来なかった標準ロータリークラブ定款の内容を、クラブ細則の意向で変更できるようになりました。

現時点では五つの委員会を採用することは義務ではありませんので、クラブの委員会をCLPに合わせるか合わせないかは、クラブで決められて良いと思います。

CONTENTS

◉ 地区チーム研修セミナー報告 …… 2
◉ 米山記念奨学生 修了式・歓送会 …… 2
◉ ハワイ短期留学プログラム　第2回オリエンテーション＆懇親会 … 3
◉ 会長エレクト・次期幹事研修セミナー報告 … 3
◉ IM開催報告 …… 4
◉ ガバナーノミニー・デジグネート決定のお知らせ … 6
◉ 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介 …… 7
◉ ロータリー国際大会のご案内 …… 8

地区チーム研修セミナー報告

2019-20年度地区幹事 大石 竜基（諫早北RC）

去る2月17日㈰、L&Lホテルセンリュウにて「2019～2020年度 地区チーム研修セミナー」が開催され、当日はまさに、千葉憲哉ガバナーエレクトにとってデビュー戦となりました。

セミナーに先だち、福田ガバナーより千葉エレクトに対し温かいエールが送られ、本人はもとより、地区役員にも緊張感が高まってきました。その後、千葉エレクトによるガバナー補佐、各委員長への委嘱状の交付が執り行われた後、2019～2020年度RI会長マーク・ダニエル・マローニーさんの紹介を含め、次年度のRI方針と地区運営方針を千葉エレクトが発表いたしました。

続いて、地区研修リーダーの駒井直前ガバナーによる研修セミナー「時代の変化に伴うリーダーの役割」の講演をいただき、千葉エレクトをはじめとする地区チームのメンバーは、来たるべき次年度に思いをはせ、決意を新たにいたしました。

2時間半のセミナー終了後は、参加者全員で福田ガバナー、千葉エレクトを囲み懇親会が催され、和やかな中にもロータリー談議に花が咲いていました。

米山記念奨学生 修了式・歓送会

米山記念奨学委員長 大家 和義（小城RC）

国際ロータリー第2740地区の本年度の米山奨学生の「修了式・歓送会」は、2019年（平成31年）3月3日㈰に、ホテル「グランデはがくれ」にて開催されました。当初の全奨学生16名の内、継続者を含む14名が参加をしました。16名中、修了対象者は13名でしたが、11名が今年度の修了式に参加し、就職・進学・帰国などの進路をとり、いろいろな世界へ羽ばたいて行きます。残念ながら欠席した2名のうち1名は学会発表のため、もう1名は入院中の為に今回の「修了式・歓送会」に参加できない残念な状態で、「おめでとう!」の一声がかけられませんでした。早く、元気になって欲しいと思っています。

地区委員長として一年間、奨学生＋カウンセラーの皆さんのバックアップと、充分にお世話できたものと思いつつ、楽しくお供をさせていただきました。世界と日本・2740地区の地域の持続的発展と平和に向けて、修了していく米山記念奨学生に日本のロータリアンの思いを一つでも、プレゼントできていれば幸いかと思って送り出します。

当日は、午後2:00に米山奨学生と一緒に集合し、会場の設営と受付・席順名札の準備等、最後の共同作業をし、「修了式・歓送会」を迎えました。

午後3:30より、本村委員の司会・進行のもと、永田委員の開式の辞にて始まり、国歌・ロータリーソング「奉仕の理想」を斉唱し、本日の出席者の紹介を芦塚委員が行い、今回は米山奨学生のバングラディシュのマハムド アル君の奥さんとご子息、中国のリョウウンエイさんの夫で学友会のジョ カイホウ君が参加してくれました。

福田金治ガバナーより「お祝いの言葉」をいただき、奨学生へ修了証の贈呈を駒井米山記念奨学会理事にお願いし、一人一人に激励の言葉を掛けて頂きました。

続いて、カウンセラーへの感謝状の贈呈を、宮崎米山記念奨学会評議員にお願いし、お礼の言葉を掛けていただきました。

次に、大家地区委員長より挨拶があり、「修了式」を無事に迎えることができたお礼を全ての方々に申し上げ、続いて2740地区の学友会長 趙 コウエンさんより、学友会の活動・入会説明があり、終了して世界に羽ばたいてから付き合いが始まることを伝えられました。最後に、全員で記念写真を撮影し、「修了式」を終えました。

続いて、第二部の「歓送会」を本多委員の司会により始め、花島ガバナーノミニーの挨拶・乾杯の発声により歓談を開始しました。しばらくしてから、奨学生とカウンセラーの二人での最後の共同作業で、一年・二年間の思い出のスピーチを檀上にて発表していただき、感謝、笑い、涙ありの思い出を披露していただきました。

まとめとして、贈る言葉を音成ガバナー補佐にお願いし、閉式の辞を松田委員が行い、無事に終了しました。

旅立つ米山記念奨学生13名のこれからの世界が楽しみです。

修了証・感謝状贈呈

ハワイ短期留学プログラム　第2回オリエンテーション&懇親会

ハワイ短期留学委員会　副委員長　安部　雅隆

出発の日を2週間後に控えた3月11日㈪、参加する高校生14名に対して、第2回オリエンテーションおよび懇親会を実施いたしました。今回は福田ガバナーや橘髙地区大会実行委員長も同席し、オリエンテーションの冒頭で激励の挨拶をいたしました。また、オリエンテーションの内容としては、具体的スケジュールを提示した他、保険や費用など諸手続きに関する事項を中心に説明がなされました。30分程のオリエンテーションの後、会場を移して参加者同士の親睦を深める目的で懇親会を開催しました。

古賀佐世保RC会長の乾杯の挨拶で会が始まった直後、池田委員長より滞在中の部屋割が発表され、参加者からは突然の発表に驚きの声と歓声が上がるなど、開始から大きな盛り上がりを見せました。また、会の中盤では個々の参加者から本プログラムへの抱負やハワイでやってみたいことなどを発表する時間が設けられ、参加者それぞれの個性や性格を知る良い機会となりました。最後は増本地区幹事の締めの挨拶をもって、盛大なうちに懇親会は終了した次第です。

次に顔を合わせるのはいよいよ出発日の3月25日㈪となります。ハワイでの活動の様子などについても、後日この月信にてご報告いたします。

会長エレクト及び次期幹事研修セミナー報告

PETS実行委員長　白倉　一男（諫早北RC）

去る3月17日㈰、L&Lホテルセンリュウにて「会長エレクト・次期幹事研修セミナー」が開催されました。

第2740地区56ロータリークラブ会長エレクト・次期幹事が参加され、千葉憲哉ガバナーエレクトより2019～2020年度RI会長マーク・ダニエル・マローニーさんの紹介、RI方針、次年度地区方針を説明されました。

会長エレクトセミナーは、栗林英雄パストガバナーを講師に「クラブ会長としての心構え」をテーマに講演していただき、次期幹事セミナーは、森栄一郎元地区幹事による「クラブ幹事の役割」をテーマとして講演をいただきました。出席された会長エレクト・次期幹事の皆様は、新元号に代わる記念すべき時期にクラブ運営に当たられます。今日の講演は、そのための一助になったことと思います。

後半は次年度ガバナー補佐のご挨拶、そして、講評は宮崎清彰パストガバナーより「ロータリーを楽しみましょう」とのお言葉をいただき終了しました。

セミナー終了後は、福田ガバナー、千葉エレクトを囲み懇親を深めることができました。

PETS運営に際し、ご協力いただきました福田ガバナー他、地区役員の皆様、スタッフの皆様、また、セミナーに参加されたロータリアンの皆様に深く感謝申し上げます。

第1・第2グループ合同IM開催報告

第2グループ ガバナー補佐　田中　洋介

国際ロータリー第2740地区 第1・第2グループでは、2019年2月24日㈰晴天のなか、佐賀市内のガーデンテラス佐賀 ホテル＆マリトピアにて、インターシティ・ミーティングを開催。音成日佐男 第１Ｇガバナー補佐（佐賀RC）、田中洋介第２Ｇガバナー補佐（佐賀南RC）の呼びかけのもと、域内10クラブの会員233名が参加しました。福田金治ガバナー、増本一也地区幹事（佐世保RC）、野口清パストガバナー（佐賀RC）、福元裕二パストガバナー（佐賀北RC）、駒井英基直前ガバナー(佐賀南RC）をお迎えし、昨今どのクラブでも頭を悩ませている共通のテーマについて、個別の事情も踏まえ考察を深めました。

今回のテーマは「会員増強・退会防止」。人口オーナス期を迎え、ロータリークラブの運営も高齢化にともなう新しいクラブ運営を迫られており、会員増強（退会防止）の実践のあり方にも各クラブの置かれた環境との格闘が垣間見えます。会員増強（退会防止）は、クラブ運営を映す鏡といっても過言ではありません。

◇2009年7月現在の第1･第2グループの総会員数：348名
◇2019年1月現在の第1･第2グループの総会員数：385名（※10年間で37名増）

数字で見ると第1・第2グループの総会員数は安定しているように見えますが、この数字は毎期会員の英知を結集して繰り返される各クラブの悪戦苦闘の結果の賜物であることを思い知らされます。主催の田中洋介ガバナー補佐、北島恭一IMアドバイザー（佐賀南RC）は、「退会防止」をクラブ運営の姿勢そのものに直結する命題と捉え（敢えて意図的に）、「会員増強」から分離させて議論を喚起する方向で当日のIM全体をコーディネート。基調講演も『会員増強について』（演者：駒井英基直前ガバナー）と『退会防止について』（演者：福元裕二パストガバナー）とテーマを分けて拝聴しました。（※基調講演要旨につきましては、第2740地区ホームページにてご確認いただければ幸いです。）

基調講演終了後、1時間弱の時間を配しシンポジウムを開催。北島恭一IMアドバイザーのコーディネートのもと、パネリストとして大坪恵介会員（佐賀RC）、飯盛康登会員（多久RC）、池田和雄会員（佐賀北RC）、合瀬一男会員（神埼RC）にご登壇いただき、自クラブでの成功事例・現在取り組んでいる課題を中心に具体的にお話しいただきました。会場のロータリアンの方々も常日頃、頭を悩ませている問題だけに、パネリスト（コーディネーターの肝煎りで小城RC 七田利秀会員も会場より参戦。）の皆さんの成功事例に耳を傾けていただき、全体として盛況でした。

北島恭一IMアドバイザーは総括として、「明確な目標設定」「強力なリーダーシップ」が成功の秘訣であると位置づけ、会員増強（退会防止）に成功しているクラブの好事例を確実に自クラブに持ち帰っていただくよう促し、福田金治ガバナーの講評を頂戴し、IMを終了しました。

IM終了後の懇親会も、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事はじめご来賓の方々にも最後までご参加いただき、180名という多くの会員の皆様と親睦を深めさせていただくことができました。

ご多忙のなか、佐世保よりお越しいただいた福田金治ガバナー、増本一也地区幹事、ご指導いただいた野口清パストガバナー、福元裕二パストガバナー、駒井英基直前ガバナー、そして当日ご登録をいただいた全てのロータリアンの皆様に心より御礼を申し上げます。

ありがとうございました。

第4グループIM開催報告

唐津中央RC 会長　佐々木　義文

2019年3月9日㈯ 唐津市にあります「ホテル＆リゾーツ佐賀唐津」において、川添信雄第4Gガバナー補佐のもと、国際ロータリー第2740地区第4グループのIMを開催いたしました。

今回のIMのテーマと基調講演内容等を決めるに当たり、実行委員会の皆さんと協議し、ロータリーの原点とも言える「職業奉仕」について学びたいとの意見が多数を占めたこともあり、講師の先生の人選から始まりました。

諸先輩の意見を聞かせていただく中で、「職業奉仕については、直前ガバナー駒井英基氏を講師としてお招きしたい」旨の意見を受け、駒井英基氏に「職業奉仕」について講演いただきたいとの申し入れを行いましたところ、快諾していただき当日の開催となりました。

基調講演の内容等の打合せをさせていただくなかで、「職業奉仕をもう一度考えてみよう」のタイトルをいただいたこともあり、IMのテーマについても「職業奉仕をもう一度考えてみよう」と決定し、準備から開催へと着手いたしました。

当日は、講師の駒井英基先生はもとより、ご来賓として福田金治ガバナー、隅田達男パストガバナー、増本一也地区幹事、白川十郎直前ガバナー補佐の出席を賜り、グループ外より佐賀南RCから吉岡義治君が出席され、第4グループ119人の出席(登録254人)で開催いたしました。

福田ガバナー、川添ガバナー補佐の挨拶を受け、駒井先生より「職業奉仕をもう一度考えてみよう」をタイトルとして基調講演を行っていただきました。

基調講演については、

- ロータリーとは
- なぜ職業奉仕が基本なのか
- 職業奉仕と社会奉仕の違いについて
- なぜロータリーはI serveと言われているのか
- ４つのテストとは
- 今後ロータリーはどうあるべきか

等々について、ロータリーの始まりから長い時代を経て現在に至るロータリーの変遷と実情を、文献資料等々の情報と私見を含め、わかりやすく丁寧にご講演いただき、多くの出席者が興味深く、熱心に聴講されており、今回のテーマである「職業奉仕（をもう一度考えてみよう）」に対する意識・関心度が高いことが感じられ、「職業奉仕」をテーマとしたIMの開催が良かったものと感じております。

駒井先生の基調講演が終わり、福田ガバナーから「講評」、川添ガバナー補佐より「謝辞」を述べていただいた後は、会場を変え駒井先生、来賓の皆様、出席者の皆様との懇親会へと移行しました。

懇親会会場では、来賓の皆様、出席者の皆様との胸襟を開いての交流もしかることながら、多くの出席者が基調講演に対する質問等々で駒井先生のもとに集まられ、ロータリーに対する「職業奉仕」の重要性が再認識させられた一時でございました。

結びになりますが、ご講演いただきました駒井先生、ご出席いただきました福田ガバナー始め来賓の皆様、出席者の皆様にこの場をお借りしお礼を申し上げますとともに、IM開催に関しご協力いただきました唐津中央RCの皆様にお礼を申し上げ、IM開催の報告とさせていただきます。

ありがとうございました。

ガバナーノミニー・デジグネート
決定のお知らせ

2021～2022年度ガバナー候補者の推薦について、2018年12月ガバナー月信（Vol.6）にて、地区内クラブ会長宛に募集通知をいたしましたが、期限内に推薦の申し出はありませんでした。

従いまして、国際ロータリー細則第14条第2節「ガバナーの指名手続」の定めにより、ガバナー指名委員会に於いて指名されました塚﨑寛氏（長崎中央RC）が、2021～2022年度ガバナーに就任する、ガバナーノミニー・デジグネートに選出されたことを公表いたします。

2019年5月1日

国際ロータリー第2740地区
ガバナー　福田　金治

＝ 塚﨑（つかさき）　寛（ひろし）氏プロフィール ＝

◆生年月日　1954年7月31日
◆現　　職　医療法人清潮会三和中央病院　理事長
◆勤 務 先　〒851-0403 長崎市布巻町165番地1
◆職業分類　精神・神経科病院
◆経　　歴　1982年　金沢医科大学医学部卒業
1985年　医療法人清潮会　塚﨑病院入社
1991年　医療法人清潮会　塚﨑病院理事長就任
2006年　医療法人清潮会　三和中央病院理事長就任

◆ロータリー歴
1990年7月　長崎中央ロータリークラブ入会
1998年～1999年　クラブ幹事
2008年～2009年　クラブ会長
〈ロータリー財団〉　・メジャー・ドナー
・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
・ベネファクター
〈米山記念奨学会〉　・米山功労者　メジャードナー

◆団体歴
1991年7月～　日本精神科病院協会会員
1991年7月～　日本精神科医学会会員
2001年5月～　長崎地区保護司

逝去会員

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

岩永　一郎 会員（大村RC）
逝去日：2019年2月13日（享年86歳）
入会日：1972年1月20日
勤務先：㈲吉原金物　取締役会長
クラブ役職：1977-1978年度　幹事
1985-1986年度　会長

新会員紹介 ～2月入会～

私たちの新しい仲間になられました
方々をご紹介いたします。

佐世保東南RC

大島（おおしま）　健一（けんいち） 君
有限会社 空電設備
代表取締役

諫早北RC

坂本（さかもと）　健太（けんた） 君
長崎ワールド警備保障㈱
警備部長

諫早北RC

石橋（いしばし）　陽子（ようこ） 君
日本生命相互会社

諫早北RC

竹内（たけうち）　崇（たかし） 君
㈱日本旅行
支店長

長崎西RC

竹内（たけうち）　幹也（みきや） 君
東武トップツアーズ㈱
長崎支店長

長崎南RC

園田（そのだ）　祐三（ゆうぞう） 君
株式会社 龍屋本舗
代表取締役

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（2月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
松本　英介	2	佐世保
山﨑　弘	4	平戸
御厨　善光	1	諫早西
千葉まさこ	5	諫早南
髙木　栄	8	大村東
（1月の寄付者）		
嵩下　明伸	2	長崎

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
上田　康雄	長崎北
（1月の寄付者）	
大久保利博	佐世保

※月信Vol.10において、1月の寄付者2名の記載が漏れておりました。また、昭成会 岩永医院様（長崎北東）の2件の認証は誤りで、実際は岩永信昭会員個人からの寄付でした。お詫びして訂正いたします。

◆米山記念奨学会（2月）

■メジャードナー

氏　名	回数	クラブ名
福元　裕二	10	佐賀北
宮﨑　清彰	31	諫早北
小川　春彌	10	長崎南

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
川原　強	2	長崎

■米山功労者

氏　名	クラブ名
山下　克己	福江
吉田　泰之	福江
小畑　和男	福江
竹山　直樹	長崎北

第2740地区 2019年2月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2019年2月末日会員数	2,244 名
2019年2月平均出席率	84.9 %	（うち女性会員	95 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2019年2月入会者	5 名
（うち女性会員	91 名）	2019年2月退会者	7 名

Rotary | 2019 HAMBURG

ロータリーの核心に触れる

riconvention.org/ja

インスピレーション、あふれる興奮、そして成長。最新の情報を学び、ロータリーを動かしている理念や方策の数々を知ることができる国際大会は、ロータリーの核心に触れる機会となります。会場には、ほかでは経験できない熱意とエネルギー、そしてロータリーの生命力があふれています。世界に末永く変化をもたらしたいという願いのもと、ロータリアンであるかどうかを問わず、行動へと一歩踏み出すきっかけとなるでしょう。

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー 福田金治

2019.6／vol.12

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740 FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

第40回記念 RYLA（2019年4月20日㈯ 雲仙市）

ガバナー ロータリー情報

ロータリーとは

佐藤千寿パストガバナーが講演会等で、もともとロータリークラブというものは、「仲間同士を助け合おう」「自分の町を住み良くしよう」という身近な問題から誕生したもので、「身を捨てて人類を救済しようなどという聖人の集まりではありません」と述べておられます。

また、儒教の経典『大学』の中に「修身、斉家、治国、平天下」という文章があります。

私なりにこの文章を解釈しますと、

①修身 … 自分の人格を高める
②斉家 … 健全な自分の家庭を築く
③治国 … 自分の住んでいる地域をよくする
④平天下 … 国の平和の為に努力する

になります。

このことをロータリーに当てはめますと、「修身＝ロータリアン」、「斉家＝クラブ」、「治国＝地区」、「平天下＝国際ロータリー」になるのではないでしょうか。

佐藤千寿パストガバナーのお考えと、『大学』の文章と、ロータリーの組織が一致していると思います。

ロータリーに入会しますと、同じクラブの会員、また、ロータリーの活動を通じて、多くの方々と知り合いになることにより、自分自身が人間としてロータリーに入会する以前より成長し、より良い人間になることができます。

自分がロータリーで経験したことが、「自分自身」「家庭」「地域社会」「国家」に対して、少しでも役立つようにすることが、「ロータリーの活動目的ではないか」というのが私のロータリーに対する考え方です。

このことを実現するには、「例会」、「ロータリー行事」に積極的に出席することにより多くの経験をすることが必要です。

以上の考え方で、私は今後もロータリー活動を続けていこうと思っております。

CONTENTS

◉ IM開催報告 …… 2
◉ RYLA開催のご報告 …… 4
◉ ロータリー文庫通信 …… 4
◉ 第2740地区の歴史 よもやま話 ～第３話～ …… 5
◉ 逝去会員、新会員紹介、寄付者紹介 …… 6
◉ ハワイ短期留学プログラムご報告 …… 7
◉ ハワイ短期留学プログラム現地での様子 …… 8

第3グループIM開催報告

IM実行委員長　山口輝二郎（大町RC）

平成31年3月23日㈯、第3グループIMを大町クラブ・白石クラブの共催にて開催いたしました。

この時期は年度末、行楽シーズンとも重なり出席を心配しておりましたが、福田金治ガバナーをはじめ増本一也地区幹事、高原武彦パストガバナーのご来賓の方々に、ご多忙の中ご臨席いただき盛会に開催することができました。

来賓挨拶では福田ガバナーよりIMについてその意義・成り立ち等を詳しく解説いただき、会員は改めてその意味を確認したところです。

今回のIMでは『人生100年　未来の年表』（ーあなたの医療、介護、年金、相続はこうなる！そしてロータリーは？）と題して共催クラブ・白石RC 山口繁喜会長（税理士）が、本業の知識を余すことなく講演され、その内容に各自に迫る現実を時には緊張し、時には安堵しながら聴き入りました。

業務多忙にもかかわらず、この日のために講演内容を編集、資料作成そして推敲いただいた山口会長に感謝いたします。

会場を移しての懇親会では、グループ内の全会員が一堂に会し、生バンドが奏でる懐かしのオールディーズの音楽をバックに、日頃のクラブでの出来事や話題、悩みなどをお酒を酌み交わしながら活発な会話で盛り上がり、興に乗ってのダンスやボーカルの飛び入り・・・親睦の深まる良い時間を会員皆で共有できました。

今回共催した大町クラブ及び白石クラブは合わせても18名の小さなクラブです。そのクラブが手作りのIMを夏過ぎから計画し、実施し、会員の相互理解が更に深まったことは言うまでもなく、第3グループの親睦の輪が広がったように思います。

今年度を最後に第3グループから白石クラブがなくなりますが、グループ内の会員皆さまのご協力により白石クラブと合同でIMが開催できたことに感謝いたします。

第5・第6グループ合同IM開催報告

第５グループ 平戸RC会長　渡邉　栄二

インターシティ・ミーティングテーマ

「ロータリーの魅力」

平成31年4月6日㈯、長崎県佐世保市江迎文化会館にて、第5・第6グループのインターシティ・ミーティングを、福田金治ガバナー、増本一也地区幹事をお迎えし、155名の登録のもと開催いたしました。

開会点鐘の後、福田ガバナーに祝辞をいただき、講演は２部制で最初は佐賀ロータリークラブの野口パストガバナーが「ロータリーって何?」というテーマで、ご自身の経験をもとにロータリーの魅力について講話され、ロータリーに入会した経緯とロータリーに入会して知り合った多くの友人の実名を交えながら話され、自分の人生で親睦が、いかに大事だったかを強く話されました。引き続き、㈱アスリンク代表取締役 高石様が「未来へ繋がる職業奉仕」のテーマで、ビジネスコミュニケーションの６つの成功要因について講話され、講演終了後、名刺交換をするロータリアンが多数おられました。

講演後の懇親会は会場を北松浦ロータリークラブの例会場でもあるサンパーク吉井に移し、乾杯から閉会まで野口パストガバナーの講話内容どおりの親睦が行われました。

今回ホストクラブとしてご尽力いただいた第6グループ森山ガバナー補佐、第5グループ山﨑ガバナー補佐、並びに佐世保東南ロータリークラブ、平戸ロータリークラブの会員の皆様、お疲れ様でした。

皆様に感謝を申し上げ、ご報告とさせていただきます。ありがとうございました。

RYLA開催のご報告

日時／2019年4月20日㈯・21日㈰
会場／雲仙市小浜町諏訪の池湖畔　休暇村雲仙

RYLA実行委員長　本多　進（島原南RC）

毎年開催のRYLAも今年で40年目の節目を迎え「第40回記念RYLA　テーマ：このRYLAが君を変える」といたしました。開催地が島原半島南部で交通アクセスも悪く、参加者が少ないのではないかと心配されました。危機感から第7と第8グループの各クラブ例会に訪問し、参加要請をいたしました。参加者は締め切り日が迫っても50名程の登録しかなく、開催できないのではないかと大変危惧いたしました。しかし、日増しに登録者が増加し150名余りのご参加をいただきました。これもひとえにロータリアンの皆さまのRYLAに対するご理解とご協力の賜物と深く感謝しております。しかし、問題点としてRYLAに対して毎年全く無関心で、参加者なしの数クラブが存在することも今後の課題です。

演題「学べば変わる」で上甲晃氏（松下政経塾元塾頭）に講演をいただきました。他人に必要とされる人間になるためには『人間力を上げる必要がある』とか『一人ひとりが人生の経営者である』『志を持って事に当たる大切さ』などと解りやすい話で、参加者は熱心にメモを取りながら聴講していました。講演の後、講師からグループ討議に「日本の将来」を出題してもらい、10名位に分かれて活発に討論されました。結果を各グループの代表者が発表し、人口減少、少子高齢化社会、将来の年金問題、過疎化など不安の意見が目立ちました。一方、日本の技術力を生かして世界に貢献などと前向きな意見も聞かれました。

RYLAの始まりはキャンプでスタートしたそうです。従って、今回のRYLAにはキャンプを取り入れ、夜はバーベキュー大会やキャンプファイヤーで賑わいました。

研修2日目は「島原半島南部の歴史を訪ねて」と貸し切りバス2台に80名が分乗して、キリシタン遺産記念館、世界遺産の原城、口之津民俗資料館をガイド付きで学んでもらいました。

わずか2日間でしたが、初めて出会う参加者と意見の交換を行いながら諸問題について討議し、指導力と伝達力を磨くことに貢献できたことと思います。参加した若者（ライラリアン）が、学校や職場で良きリーダーとして活躍してくれることを願うばかりです。

http://www.rotary-bunko.gr.jp

ロータリー文庫通信（374号）

～ 古典文献の翻訳書より ～

書　　名	著者 / 出版社	発行年	ページ
ロータリーの理想と友愛（THIS ROTARIAN AGE）	ポール P. ハリス著 米山梅吉訳	2007	295P
我が自叙伝（THE HERBERT J. TAYLOR STORY）	ハーバート J. テーラー著 菅野多利雄訳	1990	219P
ロータリー・モザイク（ROTARY MOSAIC）	ハロルド T. トーマス著 松本兼二郎訳	2006	327P
ロータリー通解 （A TALKING KNOWLEDGE OF ROTARY）	ガイ・ガンディカー著 小堀憲助訳	1989	69P
ロータリー解析（THE MEANING OF ROTARY）	ヴィヴィアン・カーター著 田中毅訳	1999	99P
シェルドン…忘れ得ぬその名 （SHELDON…A NAME TO REMEMBER）	ジョン O. ナットソン著 神崎正陳訳	1998	12P

Rotary 国際ロータリー第2740地区の歴史

よもやま話 ～第３話～

ガバナー 福田金治

今回は、57RCが属している当地区の国内認証順や、年月日についてご紹介したいと思います。

国内の認証順は、RIの認証年月日が古い順に列記しており、認証日が同じクラブについては、創立日が古いクラブを順位としては上にくるように並べております。

したがって、創立が早くても認証年月日が古い方を基準としていますのでご了承ください。

RI 第2740地区　クラブ認証順位一覧

	国内認証順	クラブ名	創立年月日	認証年月日		国内認証順	クラブ名	創立年月日	認証年月日
1	33	長崎	1936.10. 6	1950. 6. 9	30	1188	松浦	1973. 6.30	1973. 8.30
2	53	佐世保	1951. 2.21	1951. 3.30	31	1209	伊万里西	1974. 3. 9	1974. 4.12
3	94	佐賀	1952.10. 8	1953. 2.25	32	1212	長崎北東	1974. 4.30	1974. 5.22
4	194	唐津	1956.12. 1	1957. 3. 8	33	1263	福江中央	1975. 5. 6	1975. 5.19
5	227	長崎北	1957. 6.14	1957. 6.28	34	1334	大村北	1976. 7.14	1976. 7.28
6	244	佐世保南	1958. 1.10	1958. 2.27	35	1348	牛津	1977. 2. 6	1977. 3.18
7	312	佐賀西	1959. 5.15	1959. 7.25	36	1469	長崎みなと	1980. 1. 8	1980. 2.18
8	352	大村	1960. 2.23	1960. 3.14	37	1570	白石	1983. 3. 9	1983. 4.18
9	381	諫早	1960. 6.17	1960. 6.30	38	1616	佐世保北	1984. 4.16	1984. 5.14
10	427	平戸	1961. 3. 8	1961. 4.26	39	1632	長崎西	1984.10. 2	1984.10. 9
11	461	伊万里	1961. 7.27	1961. 9.20	40	1645	諫早西	1985. 2.20	1985. 3. 5
12	466	有田	1961. 6.29	1961.11.22	41	1671	多久	1985. 6.11	1985. 6.28
13	549	武雄	1963. 1.12	1963. 5. 6	42	1673	佐賀南	1985. 6.21	1985. 7.10
14	596	島原	1964. 2. 1	1964. 3.19	43	1714	神埼	1986. 5.13	1986. 6.10
15	604	福江	1964. 3.12	1964. 5. 4	44	1766	島原南	1987. 5.17	1987. 6.22
16	680	唐津東	1965. 1.26	1965. 6.15	45	1895	諫早多良見	1990. 4.17	1990. 5.10
17	700	長崎南	1964. 9.26	1965.10.16	46	1912	長崎中央	1990. 6. 4	1990. 6.21
18	703	鹿島	1965. 9. 7	1965.11.10	47	1924	佐世保中央	1990. 9.29	1990.10.22
19	707	小城	1965.11.10	1965.12.10	48	2003	長崎琴海	1992. 3.12	1992. 4. 3
20	788	佐世保東	1966.12.23	1967. 4.10	49	2010	佐世保東南	1992. 3.19	1992. 5. 6
21	900	北松浦	1969. 1.14	1969. 3. 3	50	2108	唐津中央	1994. 2.18	1994. 3.16
22	957	佐世保西	1969.10.13	1969.11.28	51	2110	佐賀大和	1994. 2.22	1994. 3.21
23	967	長崎東	1970. 1. 9	1970. 1.23	52	2139	太良	1994.12.22	1995. 1.17
24	969	唐津西	1970. 1. 7	1970. 2. 2	53	2198	大村東	1996. 4.22	1996. 5. 8
25	1003	雲仙	1970. 5. 7	1970. 5.25	54	2209	HTB佐世保	1996. 7.23	1996. 8. 7
26	1010	嬉野	1970. 5.28	1970. 6.10	55	2252	佐賀空港	1998. 4. 4	1998. 4.29
27	1011	佐賀北	1970. 6. 1	1970. 6.10	56	2262	長崎出島	1998. 9. 4	1998. 9.30
28	1048	諫早北	1971. 1.10	1971. 2. 2	57	2263	諫早南	1998. 9. 9	1998. 9.30
29	1171	大町	1973. 5.16	1973. 6. 7					

＜参考文献＞
・日本RC認証順位一覧　　RI第2720地区1995年度PG　前岡志郎
・認証状から見た日本戦前史　　RI第2720地区1995年度PG　前岡志郎

新会員紹介 ～3月入会～

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

佐世保RC

陣内（じんのうち） 純英（すみひで） 君
西海みずき信用組合
理事長

島原RC

酒井（さかい） 康臣（こうしん） 君
㈱臣フーズ
取締役

逝去会員

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

村上 寅雄 会員（佐世保北RC）
逝去日：2019年3月2日（享年92歳）
入会日：1984年4月16日
勤務先：村上内科病院 理事
クラブ役職：1983.4～1984.6 会長
1984～1985年度 会長
地区役職：1990～1991年度 第4分区代理
1991～1994年度 米山奨学委員
1994～1996年度 会員拡大・会員増強委員
1996～1997年度 会員拡大・会員増強委員長

益田 耕作 会員（長崎RC）
逝去日：2019年3月27日（享年87歳）
入会日：1970年3月12日
勤務先：石田エンジニアリング㈱
代表取締役社長
クラブ役職：1977～1978年度 幹事
1989～1990年度 会長

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。ご厚意に深く感謝申し上げます。

◆ロータリー財団（3月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏名	レベル	クラブ名
合瀬 一男	5	神埼
瀬戸口智彦	4	長崎南
小濵 正美	3	長崎南
藤岡 士郎	2	長崎南
濵本 好哉	2	長崎南
本田 圭助	2	長崎南
堀内 英俊	2	長崎南
伊藤 正彦	2	長崎南
川崎 孝	2	長崎南
川脇 輝也	2	長崎南
蒔本 恭	2	長崎南

氏名	レベル	クラブ名
中牟田真一	2	長崎南
鈴木 一郎	2	長崎南
梅本 義信	2	長崎南
山崎 甫文	2	長崎南
藤井 勝也	1	長崎南
伊藤 年徳	1	長崎南
村山 清治	1	長崎南
岡村 康司	1	長崎南
鈴木 元	1	長崎南
山辺 滋	1	長崎南

■ポール・ハリス・フェロー

氏名	クラブ名
梶川ゆり子	武雄
中尾 中	武雄
田中隆一郎	武雄
山口 修代	武雄
梶村 龍太	長崎南
諸熊 正文	長崎南
瀬戸 信二	長崎南

◆米山記念奨学会（3月）

■メジャードナー

氏名	回数	クラブ名
朝永 春郎	19	松浦

■米山功労者マルチプル

氏名	回数	クラブ名
福山 和彦	3	神埼
西村 明美	2	神埼

第2740地区 2019年3月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC	2019年3月末日会員数	2,209 名
2019年3月平均出席率	81.8 %	（うち女性会員	95 名）
2018年7月1日会員数	2,236 名	2019年3月入会者	2 名
（うち女性会員	91 名）	2019年3月退会者	37 名

ハワイ短期留学プログラムご報告 (3/25～4/5)

ハワイ短期留学委員会　委員長 池田　真秀

〇出発式3/25

25日の出発式では大いなる期待を胸に、今春開校を前にした九州文化学園小学校・中学校に14名の高校生が集いました。橘髙克和地区大会実行委員長の挨拶に始まり、朝長則男佐世保市長より激励のお言葉をいただき、最後に高校生を代表して、佐世保商業高校2年 大串理子さんより力強い決意表明をしてもらったのち、ご家族、ロータリアンが見守る中、福岡空港へ向け出発しました。

福岡空港までの車内や、乗り継ぎが5時間近くあったソウル仁川空港、そしてハワイへの機内においても生徒たちの興奮は収まることなく、ホノルル到着まで元気な様子でした。

〇学校生活や一日の流れ

2日目からは早速学校が始まり、朝8時半に出発するスクールバスを見送るのが引率ロータリアンの日課でありました。学校でのプログラムは、午前は英会話を中心とした授業があり、午後からはハワイ・プランテーション・ビレッジや戦艦ミズーリ号見学、また裁判所での模擬裁判を経験するなど、学校以外の課外授業を通じて、英会話とアメリカの文化や生活を密に学べたのではないかと思います。

学校終了後はスクールバスで15～16時ごろホテルに戻り、各々のグループでハワイの美しい街並みを散策したり、事前に調べた場所へ路線バスを利用して行ってみたりと、仲間たちとの交流を深めている様子でした。また、毎日21時からミーティングを行い、各人の1日の報告や、ロータリアンから注意事項を伝達して翌日に備えていました。

〇休日のアクティビティー

土曜日午後と日曜日は授業が休みでしたので、まず土曜の午後はホテル近くのアラモアナ・ビーチパークにてビーチバーベキューを行いました。手作りのハンバーガーやホットドッグ、ステーキやチキンを焼いて食べたり、海で遊んだり、また隣のテントで同じようにバーベキューをしていたハワイ在住の家族とビーチバレーをするなど、ローカルの方たちと積極的に交流する姿が見られました。

日曜日にはハワイで最も美しいビーチの一つと言われるカイルアに行きました。ここでは、高校生たちのハワイで一番したいこと１位の「パンケーキを食べたい」という願いを叶えるために、カイルアの超有名店「BOOTS ＆ KIMO'S」でパンケーキをテイクアウトしてカイルア・ビーチに移動。美しいビーチを見ながらの食事は皆大興奮で、高校生のみならず引率したロータリアンにとっても、有意義な土･日を過ごすことができました。

〇MINI EXPOの開催

翌日の4/1には学校内でMINI EXPOと称して、長崎や佐世保の物産品や文化を紹介する授業があり、折り紙や書道の披露、佐世保独楽の実演など、MINI EXPOを通じてハワイ大学の学生とコミュニケーションがとれたのは、素晴らしい体験でした。

〇ファイナル プレゼンテーション

最終日の授業にはロータリアンも同席する中、ファイナルプレゼンテーションとして、二人１チームで今まで学んだことを英語で発表してくれました。どの生徒も素晴らしい内容で、10日間しかない中でしっかりとプレゼンテーションを作り上げた姿を見て、本当に感心した次第です。

〇最後に

“グローバルに物事を考えることのできる人材の育成”を目的に本事業を募集しましたが、予想を超える80名という多くの応募をいただきました。その中から14名を選ぶのは大変心苦しかったですが、それだけに皆将来に対して明確なビジョンや目標があり、高校生とは思えないくらいしっかりした生徒たちばかりでした。そして、最初はぎこちなかった皆さんも、帰りには14名がまたこのメンバーでどこかに行きたいというほどの友情が芽生え、最後は泣きながら別れを惜しむ姿も見られました。

これからの将来を担う生徒たちにとって、今回の留学は一生涯忘れられない経験になったことは間違いなく、また、この経験をお手伝いできたことは、ロータリアンとしても本当に良かったと思える瞬間でした。

遠くハワイまで激励に来ていただきました福田ガバナーをはじめ多くのサポートをいただきました同行メンバー、様々な場面で応援、サポートいただいた方々、そして佐世保ロータリークラブの会員の皆様に感謝申し上げ、ハワイ短期留学プログラムのご報告とさせていただきます。

ハワイ短期留学プログラム 現地での様子

アリイオラニ・ハレとカメハメハ大王像の前で

KCCにて

MINI EXPO(KCC校長)

カイルア・ビーチで昼食

ダイヤモンド・ヘッド頂上から

ビーチバーベキュー

レイ作り

ワイキキビーチにて

現地の方とビーチバレー後

ハワイ・プランテーション・ビレッジにて

ファイナルプレゼンテーション

ワイキキRCで福田ガバナーご挨拶

ワイキキRC訪問

授業の様子

戦艦ミズーリ記念館

模擬裁判の様子

ミーティングの様子

修了証書

Rotary 2018−2019年度 国際ロータリー第2740地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER ガバナー月信

インスピレーションになろう

2018-2019年度 ガバナー　福田金治

2019.9／vol.13 総集編

国際ロータリー 第2740地区 ガバナー事務所
〒857-0055 長崎県佐世保市湊町2-8 石井ビル6F
TEL：0956-37-2740　FAX：0956-37-2741
E-mail：ri2740sasebo@eagle.ocn.ne.jp

2019年ロータリー国際大会（左は増本一也地区幹事）
（2019年6月2日㈰　ドイツ・ハンブルク）

私がガバナー職を引き受けたのは、私が現在までにロータリーから受けた恩恵に、少しでもお返しができればという気持ちからでした。

佐世保ロータリークラブの会員として、クラブ内での活動地区に出向いた際は、地区内での活動を通じて私なりのロータリー活動について考えを持っておりましたので、私のガバナー年度では歴代のガバナーの運営方針とは多少違う方法で運営させていただきました。

その結果、クラブ会長、ガバナー補佐、地区委員長、地区委員の皆様にはご迷惑をおかけしたことに対して、心からおわび申し上げます。

本年度は、新しいガバナーのお考えで新年度が運営されると思いますが、私もパストガバナーとして、少しでもご協力出来るように努力させていただきます。

一年間、ご協力ありがとうございました。

ガバナー ロータリー情報

前年度を振り返って

ローターアクトの時代から通算しますと、私は50年間ロータリーと関わって生きてまいりました。

いつも申しておりますが、学生時代の友人を除けば現在、私がお付き合いをさせていただいております友人は、ほとんどがロータリーを通じて知り合った方ばかりです。

CONTENTS

- ガバナー補佐退任挨拶…… 2
- 地区幹事・地区委員長退任挨拶 …… 4
- 2019-2020年度 地区研修・協議会報告…… 8
- 第7回全国インターアクト研究会報告…… 9
- 国際青少年交換委員会 JAPAN TOUR紹介、全国大会参加報告 .. 9
- 2018-2019年度 地区ローターアクト年次大会のご報告 .. 10
- 新会員紹介…… 10
- 逝去会員、寄付者紹介…… 12
- 2018-2019年度 地区主要行事報告 …… 13
- 2018-2019年度 地区会計報告 …… 14
- 国際大会に出席して …… 16

ガバナー補佐退任挨拶

第１グループガバナー補佐
音成　日佐男
（佐賀RC）

一年間ご指導いただいた、福田ガバナー、増本地区幹事、第1グループ各クラブの皆様、本当にありがとうございました。

また、以前の区分のように、率先して第1・2Gの合同会長幹事会を企画し、内容の濃いIMを実施していただいた第2グループ田中ガバナー補佐と佐賀南クラブをはじめ、第2グループの皆様にも感謝を申し上げたいと思います。

ロータリーには職業奉仕や青少年奉仕といった普遍的なプログラムがあります。つまり、社会的に奉仕をする人を育てる組織であると同時に、地球環境や防災、少子高齢化、引きこもりなど社会の諸問題に対峙している専門組織や団体との橋渡しや支援をしていることを、グループ内各クラブの活動や例会から知ることができました。

ロータリー運動が百年以上も世界的に活動できているのは、変えてはならない奉仕の理念と現代社会や地域の諸問題に敏感に向き合った社会奉仕活動をしてきたからだと思います。そういう意味では各クラブの活動は多様性があっても良いことを学んだ1年間でもありました。お世話になりました。

第２グループガバナー補佐
田中　洋介
（佐賀南RC）

年当初からガバナー公式訪問が例年よりも早くから始まりました。各クラブとも資料つくりとか、ロータリーも変革期を迎え、その対応に大変だったと思います。

まずはグループ内の担当分担を整理し、共有できるようにしました。ＩＭについては当初からテーマは『会員増強と退会防止』で決定していました。

１部では　最初に駒井パストガバナーに会員増強の正論的な講演をしていただき、福元パストガバナーには現実的に仕事をもう少し前面に出してもいいのではないかという、将来に向けて「ロータリーのあり方」を考える提案をしていただきました。

２部では　佐賀南RCの北島恭一会員にコーディネーターとして取りまとめをしていただきました。第1Ｇから佐賀RCの大坪恵介会員と多久RCの飯盛康登会員、第2Ｇから佐賀北RCの池田和雄会員と神埼RCの合瀬一男会員に　元気のある活発なクラブの代表でパネラーとして登壇していただき、実践的な活発な意見交換をしていただきました。

各クラブのたくさんの登録出席をいただき、盛会に終わることができました。

佐賀西RCの隅康二会長が地区の補助金委員長をされています。佐賀地区からも何とか補助金を使った事業をしようと指導をいただき、それに応えて第1Ｇからは多久クラブが、第2Ｇから佐賀西・佐賀北・神埼・佐賀南の4クラブが申請をし、事業をすることになりました。第1・第2グループの会員皆様のご協力をいただき、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

2740地区のますますの盛会をご祈念申し上げます。

第３グループガバナー補佐
原　　幸二
（嬉野RC）

嬉野クラブが次にガバナー補佐を引き受ける順番になった時、在籍期間が長い私が受けなければいけないだろうなと、前々から思っていましたので、引き受けました。思いとは裏腹に、今まで、ほとんど、勉強していませんでしたので、その瞬間から、本当にできるのかと、不安が襲いました。6月に新旧のガバナー補佐会があり、10グループの皆さん誰もが同じ思いされているようで、少し安心いたしました。

あの日を思えば、あまりお役に立ちませんでしたが、大きな問題も抱えずに、また、元気で今日を迎えられたことを、第3グループの皆様に感謝しております。

福田ガバナーの方針で会員の少ないクラブは公式訪問を２クラブ合同で行うとか、IMは補佐の判断で行うかどうかを決めて良いなど、手続き要覧に添って基本は曲げずに、簡素化できるところは簡素化するという発想を示され、当初は戸惑いましたが、ロータリーを楽しむためには、今までどおりのやり方では、若い世代がついてこないと、私も思っていましたので、これからの時代に即した考えだと、共感いたしました。

第3グループは7クラブありましたが、残念なことに白石クラブが今年度でRIを脱退されることになり、6クラブになりました。実働が3名ではいたしかたないと思いました。最後を大町クラブと合同でIMをしていただき、有終の美で終わられました。また、いつの日か、復活されることを望みます。

終わってみればあっという間でしたが、私にとって、実りのある一年で、ロータリーのイロハを改めて福田ガバナーから教えていただき、会長幹事の時とはまた違った貴重な経験をさせていただきました。

次年度は嬉野クラブで２回目の幹事を引き受けますが、この経験を生かして、新たな視点で、盛り上げていきたいと思います。

福田ガバナー他スタッフの皆様、また、2740地区の同期のガバナー補佐の皆様、一年間、お疲れ様でした。お世話になりました。

第４グループガバナー補佐
川添　信雄
（唐津中央RC）

ガバナー補佐を退任するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。大役を果たすことができるのか不安の中で無我夢中で走った一年でした。私の担当は唐津と伊万里の6クラブでした。上半期には、各クラブ協議会への参加視察、福田ガバナー公式訪問時の随行、そして、11月の地区大会と、慌ただしく過ぎていきました。下半期には、3月9日に、第4グループのIMを開催いたしました。「職業奉仕をもう一度考えてみよう」というテーマで、駒井パストガバナーに基調講演していただきました。そして、6月中には各クラブへの退任挨拶を済ますことができました。

振り返ると、この一年間貴重な経験を積ませていただきました。各クラブがこれまで培われてきた伝統や友情を大切にして運営されていることに敬服いたしました。また、今まで触れ合う機会がなかった他クラブの皆様とお話しさせていただき、新たな友情を育むことができたことを大変うれしく思っています。今更ながら、ロータリーの素晴らしさを再認識し、これからも発展に寄与したいと決意を新たにしました。力不足ではありましたが、会員の皆様のおかげをもちまして責務を果たすことができました。一年間、誠にありがとうございました。

ガバナー補佐退任挨拶

第５グループガバナー補佐
山﨑　弘
(平戸RC)

最初のガバナー補佐の訪問前に第5グループ5クラブからクラブ活動計画・報告書が送られてきました。それぞれ目を通すと各クラブ多彩な色があり、とても興味深いものでした。クラブ独自のアイデアで活動されているのを知り関心しました。

そこまでしているかと感心したり、逆に会員名簿は必要最小限での記載であったり、姉妹クラブとの交流開始の記載やクラブによっては地域の皆様とのボランティアを盛んにされたり、いろいろな事業に対する積極的な協力と参加をとても大事にされたりと参考になることばかりでした。これはホームクラブにも是非とも行って欲しいということは理事会で伝えておりますので、平戸クラブにも新しい風が吹くことと思います。

ガバナー補佐の専権事項でありますIMにおきましては、第6グループと協賛で4月6日㈯に行い、11クラブの皆様のご協力を得て155名の登録をいただき、パストガバナーの野口清先生と㈱アスリンクの高石里美様の講演は盛会裏に終了することができました。

ロータリークラブの魅力でもあります多くの皆様とも出会いがあり、感謝・感謝で終わらせていただきます。ありがとうございました。

第６グループガバナー補佐
森山　隆明
(佐世保東南RC)

RI第2740地区第6グループガバナー補佐を仰せつかり、早いもので、もう1年の月日が流れてしまいました。補佐を引き受けるにあたり、不安でいっぱいでしたが、グループ内の会長、幹事さんはじめ会員皆様のご協力で職責を何とか果たすことができました。担当しましたのは、佐世保東RC、佐世保南RC、佐世保北RC、佐世保中央RC、ハウステンボス佐世保RC、佐世保東南RCの6クラブです。

就任挨拶から各クラブの協議会、ガバナー公式訪問をとおして各クラブの歴史や今年度の運営方針等をうかがい大変感銘をうけました。特に各クラブ独自での対外活動はロータリークラブのいろいろな意味での価値を高め、広報活動においても素晴らしい働きであることを認識いたしました。

各クラブでは会員増強が思うように進まないなど、苦悩を抱えながらも、地域のニーズに沿った奉仕活動など、それぞれの特色を大切にし、その特色を生かすクラブ運営をされていることにたいへん感動した次第です。

私自身今後も、切磋琢磨し真のロータリアンになるよう、努力して参りたいと思っております。

力不足ではありましたが、ガバナー補佐としてグループ内のクラブ訪問を重ねるごとに、会長・幹事様をはじめ会員の皆様の友情あふれる心遣いをいただき、何とか役目を果たすことができたことと、この役職をいただいたことに感謝いたします。一年間、本当にありがとうございました。

第７グループガバナー補佐
為永　伸夫
(大村東RC)

第7グループは大村、島原、雲仙、大村北、島原南、大村東クラブの6クラブであります。6年に1度まわってくる年度でありましたので、誰かが拝命しクラブの責任を果たさなくてはならないと思いました。

各クラブの皆様には例会に訪問するたびに温かく迎えていただきました。新年度の計画書及びご意見発表を拝聴すると、各クラブの情熱あふれるロータリー活動に接することができました。「自身ますます自己研鑽！!」と感じました。

2月2日は、IM（インターシティーミーティング）を第7、第8グループ合同で開催いたしました。「長崎OMURA室内合奏団」の素晴らしい演奏と芸術監督 村嶋寿深子先生のお話、また、㈱ジャパネットたかた創業者 高田明氏の講演は職業奉仕の新しい時代を模索するきっかけとなりましたように思います。

大村から島原南クラブまで約1時間30分ほどかかりますが、高校駅伝の懐かしいコースや、普賢岳大噴火の時には災害派遣に行きました大村陸上自衛隊の活躍を思い出しながら、楽しいドライブでありました。

最後になりますが、佐古パストガバナーには温かい励ましとアドバイスをいただきましたこと、深く感謝申し上げます。

福田金治ガバナー、地区運営スタッフの皆様、各クラブの皆様に支えられて一年間無事終了いたしました。

皆様のご支援に深く感謝申し上げ退任の挨拶といたします。

第８グループガバナー補佐
桑田　隆朗
(諫早多良見RC)

2018-2019年度も今月で終わります。私のガバナー補佐としての仕事も終わりを迎えます。諫早5クラブの皆様、大変お世話になりました、感謝申し上げます。

2740地区の10人のガバナー補佐の顔合わせから始まり、第8グループ5クラブの挨拶まわり、クラブ協議会（講評などをしましたが、各クラブに失礼などなかったでしょうか）、福田金治ガバナー公式訪問に同行しました。

諫早5クラブ幹事の諫早西クラブには、会長幹事会開催、大変お世話になりました。諫早5クラブ合同例会には、第8グループのロータリアン全員のご協力が得られました。同時開催のゴルフコンペでは、諫早北クラブの活躍がありました。

第7、8グループで開催されたIMには、全会員の登録ありがとうございました。第7グループの為永ガバナー補佐、大村東ロータリークラブの皆様ありがとうございました。

次期ガバナー補佐の決定では、諫早クラブにご迷惑をお掛けしました。快く引き受けていただき、ありがとうございます。

諫早南ロータリークラブ20周年に参加させていただきました。諫早多良見ロータリークラブの皆様、物心両面でのご協力ありがとうございました。

ガバナー補佐の仕事では、多くの知り合いと各クラブの協力を得て、私の人生を豊かなものにしてくれました。

皆様に感謝申し上げます。

ガバナー補佐退任挨拶

第９グループガバナー補佐
江口　正則
（福江中央RC）

広島に旅行した数年前のことです。
同窓会のメンバーで、原爆資料館の見学ということになり入ったのですが、私は、早めに出て出口付近に座ってメンバーが出てくるのを待っていました。
出てくる外国の人達の様子を何気なく見ていると、一様に全員が暗い表情をしていたことを記憶しています。入口で想像したものと、実際に観た物とのギャップに激しいものがあったと思います。出口での会話は、暗く、数少ないものだったと記憶しています。入口と出口では、人の気持ちは、こうも異なるものかとつくづく感じました。同時にこの資料館が平和活動に大きな貢献をしていると確信しました。
離島の人間がガバナー補佐の役目を果たすのにどのくらいの日数・時間が必要か、思案して、四苦八苦の日々もありましたが、終わってみると晴れ晴れしい気持ちが全身を貫きます。「やって良かった」良い経験をさせていただきました。同時にいろいろな方とお知り合いになれたことが、大きな宝物になったように思います。多くの出会いに感謝しております。
各クラブの会長さん、会員の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございました。

第10グループガバナー補佐
瀬崎　陽三
（長崎東RC）

2018-2019年度の第10グループガバナー補佐として一年間務めさせていただきましたが、当初は大役を引き受けたことに対し、大変不安に思っておりました。しかしながら何とか無事にガバナー補佐の職を終えることができ、振り返ってみますとあっという間の一年だったと思います。これもひとえに第10グループ内の会長･幹事及び会員様の協力の賜物だと思っております。
この一年間を振り返ってみますと、グループ内の各クラブが、どのようなボランティア活動をされているのかが良く分かり、その内容をグループ内の自クラブや他のクラブに共有させてもらうことで、大変参考になり各クラブの活性化に繋がったのではないかと思います。私としてはその事がガバナー補佐をやらせていただいて本当に良かったと思いますし、また楽しい一年を過ごすことができました。
今思えば一年間ガバナー補佐を務めさせていただき、本当に良かったな！と思いますし、今後は他の会員の方にも、是非前向きにガバナー補佐の職を引き受けていただけたらと思います。
最後に、第10グループの皆様、各ロータリークラブ様にとってお役に立てたかどうか分かりませんが、一年間、本当にありがとうございました。

地区幹事退任挨拶

地区幹事
増本　一也
（佐世保RC）

地区幹事を終えて
福田ガバナーとこの一年半、行動を共にしてまいりました。ガバナーと地区幹事の関係は、会社の上司と部下、兄弟、家族、師匠と弟子、あらゆる面でその絆は特別でした。福田ガバナーは、その知識を存分に発揮され、地区の運営に一石を投じられました。地区組織、クラブ定款細則等、私にとっても大変勉強になることばかりでした。また、これまでの知らなかった国際ロータリーのことやロータリー章典のこと、パストガバナー諮問委員会のこと、ガバナー補佐の方々を通じて知った各クラブの現状、どれをとっても皆さんがロータリーを心より愛されていることを肌に感じてきました。また、様々な素晴らしい方々との出会いの中でも、細谷伸夫RI会長代理ご夫妻とお知り合いになれたことは大変光栄に思っております。エイド役を引き受けてくださった岩永信昭ご夫妻には、最後の最後までお付き合いいただき心よりお礼申し上げます。
最後に、地区の役員の皆さん、そして古賀巖佐世保RC会長をはじめ、地区大会実行委員長の橘髙克和さん、地区副幹事の松尾文隆さん、事務局の豊村みどりさん、そして佐世保RCの皆さん、私が地区幹事を何とか務められたのも皆さんのおかげです。ありがとうございました。

地区委員長退任挨拶

クラブ管理運営委員会
委員長 **竹田　健介**
（平戸RC）

昨年の9月18日㈫に、全会員を対象に研修会が行われました。これは管理運営委員会、会員増強委員会、公共イメージ委員会の3委員会合同のセミナーとして開催されたものです。平日の午後4時からの開会にもかかわらず、約250名の参加をいただきました。
今期は会員増強を唱える前に、まずは新会員の定着をいかに図るかが肝要だとの福田金治ガバナーの思いが表れたものでした。同じ2740地区での事例として創立20周年を迎える長崎出島RCの安達健太郎会長に発表していただきました。新会員にカウンセラー制度を設け、いかにフォローアップしていくか。新会員に対する心配りがいかに大切かということを痛感いたしました。
安部直樹パストガバナーからも示唆に富んだお話をいただき、2時間でこの研修を終了しました。
更にその後に懇親会を行い、大いに歓談し、親睦を深めることになりました。ロータリーは各クラブ会員の一体感を高め、その力を地域を良くする活動に向けなければなりません。各自が培った経験をいかに他の人のために役立てることができるかが問われています。一人一人がちょっとした思いやりや人を喜ばせようという気持ちを持つことが大事です。

地区委員長退任挨拶

会員増強委員会
委員長 加納洋二郎
（佐世保RC）

前任の佐藤委員長から引き継ぎ、初めて2740地区会員増強委員長を務めさせていただきました。

まず最初の活動として、7月14日㈯大阪で開催の“2018-2019年度RI第三ゾーンロータリー戦略計画推進セミナー”に、福田ガバナー、増本地区幹事と共に出席しました。

本会議は各地区ガバナーの運営方針の発表が主体でありましたが、会員増強関連では共通点として会員の高齢化、不況に起因する退会者とは別にコミュニケーション不足による入会3年未満の退会者が増加傾向であることが発表され、今年度福田ガバナーの入会者よりも退会者防止に注力の意味を改めて実感した次第です。

9月18日㈫には“全クラブを対象とする会員研修会及び懇親会”を佐世保の地にて、クラブ管理運営 竹田健介委員長、公共イメージ久保泰正委員長とともに三委員会合同研修会を開催いたしました。

例年と違う形で、また懇親会を伴う平日の開催ということで準備段階では大変苦慮いたしましたが、結果的には多くの会員の皆さんにお集まりいただき、和やかな懇親会も開催でき、“会員相互の交流が退会の防止の大きな役割”となることを目指した研修会でもあり、概ね目的を達成できたものと考えます。地区三委員会のメンバー、また各クラブの会員増強に関わっていただいた方々、そして地区の役員・会員のすべての皆様の協力体制に心より感謝申し上げます。

会員拡大は永遠の課題ではありますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

公共イメージ委員会
委員長 久保 泰正
（諫早西RC）

当地区に公共イメージ委員会がつくられて2年目になりました。私も委員長を継続するという形でのスタートになりました。本年度も皆様のお陰をもちまして、年度末までにMy Rotaryアカウント登録につきましては、45％まで上昇し、全国34地区の中で第7位というところまで登録率を達成することができました。改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。

幸いにも、地区各グループのクラブからはそれぞれ委員になっていただき、また元RPICの岩永パストガバナーからは助言もいただきながら、大変心強い委員会活動をさせていただきました。

本委員会は、ロータリー戦略計画の1つである公共イメージと認知度の向上を担当することになるのですが、まずもってRI第3ゾーンの重点目標であるMy Rotaryのアカウント登録率の向上と、Rotary Club Central 各項目に目標と達成率を入力することに力を注ぎました。

地区目標として、年度末までには50%達成を目標にしましたところ、ガバナー補佐をはじめ、各クラブの会長、幹事、委員長など多くのロータリアンの皆様のお陰をもちまして、年度末までに目標をほぼ達成していただきました。大変感謝申し上げます。

また、ご協力してくださった委員の皆様はもとより、地区ガバナー事務所のスタッフの皆様をはじめ、各クラブの事務局女性職員の皆様には重ねてお礼申し上げます。

本年度は、公共イメージ委員会の活動の基礎づくりがほぼできたのではないかと思っています。来期も引き続き委員長を継続することになりましたが、皆様のより一層のご協力をお願いいたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。

ロータリー財団委員会
委員長 西川 義文
（大村RC）

2018-19年度R財団財団委員会では、補助金委員会・資金推進委員会・ポリオプラス委員会・資金管理委員会という4つの委員会と補助金委員会内の奨学学友小委員会、地区補助金小委員会、グローバル補助金小委員会という3つの小委員会という窓口も懐も奥深く広い委員会活動を行いました。

本年度も地区内の皆様からいただいた貴重な年次基金への寄付を、地区内各クラブに行う奉仕活動に活用いただき、21クラブの行う事業と「ジェンダーと貧困問題」分野研究でサセックス大学院に留学している酒井さんへ地区補助金奨学生としての支援や、タイとネパールへ「水と衛生」問題解決への調査支援へ総額55,406ドル活用させていただきました。

このような地区内や世界での奉仕活動ができるのも、会員お一人お一人からいただいた貴重な善意の寄付金があったからです。深く感謝申し上げます。

また、1979年にフィリピンの子どもたちにポリオ予防接種をはじめて以来、WHOやビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団やユニセフ、世界各国による懸命な撲滅活動を続け、全世界でポリオ発症数99パーセント減らすことに成功しました。今、あと少しでポリオを撲滅できるところまできています。しかし、撲滅を完全に成し遂げるには、皆様からの支援が欠かせません。支援にはさまざまな方法があります。わずかな時間でも、わずかな寄付金でも、世界でポリオを撲滅して、子どもたちを一生ポリオから守るために、“一人ひとりにできること”を実行することが大切です。世界で根絶された「天然痘」の次に「ポリオ」を根絶しましょう。

R財団セミナー開催時に地区奨学金学生の帰国報告会があり、肺がんや乳がんの研究者、熱帯地方のマラリア感染の研究者、ネパール等の貧困地域の経済活性や紛争の予防など、多様な学びを終えた奨学生の話は新鮮で興味深い話を聴くことができました。

引き続き、グローバル補助金を使った２名の奨学生を英国とカナダに派遣することとなりました。人道支援活動としてタイやネパール、モンゴル更にチェルノブイリ原発事故により放射線に曝露されたベラルーシの人々に対しての支援活動を図っていきます。。

R財団委員会及び各委員会は、財団日本事務局やアメリカの財団本部と、グローバル補助金では海外のクラブと申請・連絡・報告と多様かつ複雑で忍耐と交渉力が必要な委員会です。

委員一人ひとりはそれぞれの職業で大変多忙な方々が多い中、音をあげることなく最後まで尽力してくださることに感謝申し上げ、長き期間R財団委員会に在籍できたことに感謝申し上げ、委員長退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

奉仕プロジェクト委員会
委員長 小川 信
（佐世保南RC）

2018-2019年度の地区の組織が変わり、奉仕プロジェクト委員会の委員長を仰せつかりましたが、委員会が多岐にわたり、国際奉仕・国際青少年奉仕・職業奉仕・社会奉仕・インターアクト委員会等があり、何をどうすべきか理解できず、委員の皆様、各委員長の皆様方には大変ご迷惑をおかけし、何の協力も出来ず深く反省いたしております。

しかし各委員長さんの努力により、各委員会が順調に終わっていただきましたことに感謝申し上げます。各委員長様、委員の皆様方お疲れ様でした。

次期の委員長さんは地区幹事さんと協議の上、委員会活動が順調に行われ、2740地区の発展と会員皆様の協力が得られますよう、よろしくお願いいたします。

地区委員長退任挨拶

職業奉仕委員会

委員長 **山本　正樹**

（佐賀南RC）

2018-2019年度地区職業奉仕委員長退任に際し、まず皆様に職業奉仕委員会の活動にご理解とご協力、またご支援を賜りましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。

瞬く間の一年間でしたが、9月に開催した地区職業奉仕セミナーでは、第2510地区の玉井清治職業奉仕委員長の講演をとおして理念と実践のあり方を学びました。

職業奉仕委員会は次年度より組織変更となり、社会奉仕委員会にその責務が統合されます。よって私が最後の地区職業奉仕委員長となりました。

ロータリークラブの第一の真価は奉仕する人を育成し社会に寄贈することだと考えます。

4月に2720地区のRLIの研修に参加させていただき、高いリーダーシップ教育を通じてロータリークラブを強化する為にも必要なプログラムであることを実感しました。

2740地区もロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養し、クラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化する為にも次年度からはRLIの導入を行う予定です。

最後に地区委員長に推薦いただき、素晴らしい仲間との出会い、素晴らしい経験の機会を与えていただき、心より感謝申し上げて挨拶に代えさせていただきます。

米山記念奨学委員会

委員長 **大家　和義**

（小城RC）

早いもので、2018-2019年度の任期を、無事に終えることができたと思っております。

これもひとえに、福田ガバナー、増本幹事のもとに、地区委員の皆さん、57クラブの会長・幹事・米山委員長・会員の皆さんの温かいご厚情の賜物と、深く感謝申し上げます。

旅立った12人の米山奨学生の皆さんに、寄り添ったお世話ができたのだろうか？長崎・佐賀県内の各大学へ留学している15名の米山奨学生の皆さんとは、学校の始業と同じく、2018年4月の「オリエンテーション」時より付き合いが始まり、2019年3月の「修了式」までが皆さんと一緒に行動する事業でありました（3名の2回生がいます）。

この期間の事業は、5月「米山委員長セミナー」・6月「学校説明会」補助・7月研修視察旅行・8月「カウンセラー・奨学生研修」・9～12月「出前卓話」・米山月間の10月「米山の集い」・11月次年度、「面接官のオリエンテーション」補助・12月「面接試験」補助・1月「学友会・総会、懇親会」など、思い起こせば一つひとつにいろいろなことがありました。充分なお世話ができたのかと思いつつ、修了した米山奨学生の各人が将来を切り開いていくことを願いつつ、常に連絡が取れるように「学友会」の充実を図り、末長いお付き合いができればと思っております。

また、米山記念奨学会は常に、年度を重複して段取りをしていかなければなりませんので、ガバナー・地区幹事・事務局・地区委員の皆さんのご協力をいただかなければ遂行が難しいので、今後とも切によろしくお願いいたします。更には、57クラブのロータリアンの皆さんの浄財の基に、成り立っておりますので、皆さんのご協力をお願いいたします。

2019年の4月からは、次年度の15名の米山奨学生の皆さんとのお付き合いが始まっております。既に、15名の米山奨学生の皆さんは4月の「オリエンテーション」を経験し、5月の次年度の56クラブの「会長・幹事・米山委員長のセミナー」に参加しており、これから2020年の3月までに、地区大会・米山の集い・出前卓話・国際交流会・総会・面接試験など年中行事がありますので、ロータリアンの皆様に米山奨学生に励ましの声掛けをお願いし、地区委員長の年度末の挨拶といたします。

ローターアクト委員会

委員長 **西畑栄一郎**

（佐世保東RC）

一年を振り返りますと、地区代表者会議に始まりまして地区の委員の皆様のご協力のもと、ローターアクトクラブ活動に携わってまいりました。

年々アクト会員は減少傾向でありますが、そのような中、樋口地区ローターアクト代表をはじめローターアクト会員の皆さんの活動は、地区内外を問わず積極的に活動なさっておりまして、特に4月に開催されました福岡でのローターアクト全国研修会への多数の参加や、同会場で行われましたインターアクト全国大会での同時開催の開会行事における交流や、島原でのRYLAおよび地区年次大会への積極参加など意欲的に活動されておりました。

あるアクト会員が先の全国大会の際に、「入会当初は例会出席も消極的でしたが、地区内外の行事に参加していくことでいろいろなことに興味がもてて大変楽しくなりました。」と私に話してくださったことが印象的で、ローターアクトクラブの素晴らしさを感じた瞬間でもありました。

これからも世代を超えたロータリーファミリーの輪が広がることを切に願いながら、福田ガバナーをはじめとする地区委員の皆様、ご協力を賜りました多くのロータリアンの皆様方に感謝申し上げまして退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

インターアクト委員会

委員長 **徳川　清隆**

（唐津RC）

地区インターアクト委員長を退任するにあたりご挨拶を申し上げます。

初めに、地区IAC年次大会（2018.7.28開催）の開催では、ホスト校として大変ご尽力いただいた牛津高校と牛津IACの皆さん、牛津RC（提唱RC）の皆様方の、力強いお力添えで成功裏に終わり、関係者の皆様方に改めて感謝いたします。

次に、佐賀県波戸岬少年自然の家にて開催した「青少年ミニフェスタ」（2018.10.13～14開催）は、初めての企画として検討した研修会です。この時期、通常であれば前期指導者研修会を実施しておりましたが、今回のプログラムでは、ロータリーに関する深い知識の取得と、親睦を深めるための楽しめるプランを検討し企画しました。基調講演では、講師の田村志朗氏（福岡東RC RID2700青少年奉仕委員長）の講話で、インターアクター向けとロータリアン向けの２部構成にて講演をいただき、大変有意義な時間となりました。一方、ローターアクト・地区交換留学生との交流プログラムとして、カッター体験を実施しました。そこでは、インターアクターの楽しそうな笑顔が見受けられ大変良かったと感じました。

次に、長崎国際大学の大講義室で開催した後期指導者研修会（2019.1.23開催）では、パネルディスカッション形式で、「ロータリーの学友会を学ぼう」と題し、参加者の各代表者がパネラーとなり討議しました。ロータリーの米山記念奨学学友会やRID2650の学友会の事例を学びながら、今後の当地区での学友会創立への足掛かりを探ることができました。

最後に、九州４地区ホスト協議会（RID 2700・2720・2730・2740）で開催した「第7回全国インターアクト研究会」では、当地区の聖和女子学院高校IACが全国より参加された方々へ向け、大変素晴らしい活動事例を発表されました。この大会の開催準備については、２年度前に九州４地区ホスト協議会を発足し、継続して会議を進め、企画検討、開催実施となる長丁場の大会となりましたが、無事終了しましたことに、関係各位に感謝申し上げます。

最後になりますが、これまでに委員会を支えていただきました地区委員の皆様、ご支援をいただきました提唱RCの関係各位、そして、ご尽力いただきました地区関係各位に感謝申し上げ退任挨拶といたします。ありがとうございました。

地区委員長退任挨拶

国際青少年交換委員会

委員長 **下津浦正明**

（佐世保南RC）

令和元年6月末日をもって、国際青少年交換委員会委員長を退任いたしました。任期は、1年でありましたが目標とした事業、留学生受入体制の地区内マルチ化、スポンサークラブ負担金の軽減、RID公式プログラムとしての認知向上、啓もうに挑みました1年でした。

未だ、道半ばですが本年度達成できたことは、

①受入高校の授業料、スクールバスの無償化

この努力は、委員会の皆様が各担当の学校を巡り地道な交渉を経て、各高校より承諾を得ました。これにより、将来青少年交換プログラムに参加しようとするロータリークラブは以前のような多大な予算を組む必要も無く、比較的少人数のクラブでもYEPに参加できるという最大のメリットを実現しました。

②制服も貸与（以前は各自クラブ負担で作成）

③ホストファミリーに対する助成金も月額3万円に一律改訂しまして、地区内を統一ルールにしました。

達成できなかったこと

何分、負担の多い事業ですので予算の取れるクラブでないと、この事業に参加するのは難しい面がありました。

よって、地区内グループ毎に留学生1名の受入を目標とするためにグループ内マルチ受入体制を目指すために、各グループ会議にお伺いさせていただき説得を試みましたが、地区内マルチ化には及びませんでした。

国際青少年交換のプログラムは、その委員会活動はどの委員会よりも負担が多いことは事実ですが、近年YESS（youth exchange support system）という全国共通のシステムも運営が始まり、作業も飛躍的に機械化されました。

次年度は、今年度より多くの派遣希望学生が待ち構えております。新任の委員長は全国でも珍しくアメリカ人のアーリー・ジェフリースチュアート氏（諫早多良見RC）が委員長を務めます。

今年度の委員会活動も、来日した子供達も楽しい思い出と達成感に満ちてプログラムの活性化を祈念しております。

会員の皆様の分担金を有効に使い、本年度も無事に委員会活動を終えたことを報告いたしますと同時に、退任の挨拶にかえさせていただきます。

RYLA委員会

委員長 **山口　宏二**

（長崎RC）

今年度のRYLAは、島原南ロータリークラブがホストクラブとして、雲仙休暇村にて、青少年60名、ロータリアン100名、合計160名の参加のもと開催されました。大会テーマは、「このRYLAが君を変える！」で、まず、参加した青少年が親しくなれるように交流ゲームを行い、その後、松下政経塾で塾頭をされ、現在は「青年塾」を創設し講演会などで活躍しておられる上甲晃(じょうこう あきら)氏に「学べば　変わる」という演題にてご講演をいただき、日頃から学ぶ姿勢の大切さ、学力、学歴ではなく、人間力（人としての魅力）を磨くことの重要さを青少年に説いていただきました。その後、グループごとに討議を行い発表し、お互いの考え方への認識を深めました。

夜は、雲仙キャンプ場にてバーベキューの後、キャンプファイヤーで全員で楽しく合唱し、更に親睦を深めました。

翌日は２班に分かれ「島原半島の歴史を訪ねて」、有馬キリシタン遺産記念館、世界遺産 原城跡、口之津歴史民族資料館を見学し、キリシタン弾圧による悲惨な歴史、この地域の明治期における石炭採掘搬出による繁栄と、何も知らされず東南アジアに売られていく少女の悲しい歴史などを教えていただき、参加した青少年各々が記憶に残る見学になったと思います。

次年度も引き続き地区委員長として活動することになりましたが、地区委員の方々の協力をいただき、より良い青少年活動の環境づくりに努めてまいりたいと思います。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

資金管理委員会

委員長 **岡村　康司**

（長崎南RC）

当委員会通算三期（1期3年）を終了しました。

資金管理委員会はロータリー財団委員会の中で補助金の出口にあたる役割を果たしています。人道支援、社会奉仕に使われる地区補助金（DDF）、グローバル補助金（WF）が適正に、また効率的にその事業のために使われているかをチェックさせていただきました。

今年度は25のクラブで、保健、教育、地域社会の発展、食と農、人道支援のカテゴリーに亘って97,609ドル 10,736,000円の地区補助金を使っていただきました。

各クラブにおかれては、補助金の申請を起こし事業を実施したのち報告書の作成に至るまでR財団の厳格なルールが適用されますが、事業が円滑に進むよう委員会として努めてきました。十分至らないところも多々あり関係の方々にはご迷惑をおかけしたと思いますが、次年度は千葉憲哉ガバナーの下で財団委員長として再び地区補助金・グローバル補助金のお世話をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、ロータリー財団への多くの寄付をお願いしまして資金管理委員長の退任挨拶といたします。1年間ありがとうございました。

ポリオプラス委員会

委員長 **上田　康雄**

（長崎北RC）

一年間、エンドポリオに対するご支援ありがとうございました。

ポリオは1988年には世界125カ国において年間35万例が発生していました。ポリオプラスなどの活動により2009年には約1,600例まで減少、2018年は33例です。

現在、ポリオの常在国はパキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの3カ国ですが、ナイジェリアは2017年以後、発症は0となっています。

次年度も引き続きポリオプラス委員長を務めさせていただきます。引き続き、ご支援のほどよろしくお願いします。

地区委員長退任挨拶

資金推進委員会

委員長 **古賀　秀仁**
（伊万里西RC）

ロータリー財団は100年以上の歴史があり、ロータリークラブは世界最大の奉仕団体だと言われております。ご承知のとおり財団ではポリオ撲滅やグローバル補助金など数々の有意義な奉仕活動を行っています。この奉仕活動の資金は皆様方のご寄付によるものです。毎年のご寄付は大変なことと存じますが、財団の奉仕活動をご理解いただき財団寄付一人150ドル/年間を達成していただきたいと思います。

公共イメージアップも含めロータリークラブが発展し続けるため、各クラブの皆様からのご寄付をお願い申し上げます。

地区委員会では、ロータリーカードの普及も薦めております。ロータリーカードを利用すれば、カード利用額の0.3％が自動的にポリオ撲滅資金にまわります。また、ロータリーカードは個人口座決済用、会社口座決済用、ETCカードと一度に3枚発行することができます。

後日各クラブ宛にロータリーカード加入のお願いを致しますのでこちらの方も是非ご協力ください。

補助金委員会

委員長 **隅　　康二**
（佐賀西RC）

信号一つない道無き道を、よれよれの車に揺さぶられながら、西川財団委員長と一緒にネパールの村から村へと調査に出かけたことが思い出されます。米国の本部より2018年9月以降グローバル事業を申請するための必須条件として、現地調査が義務づけられました。いつどんな病気やアクシデントに遭遇するかわからない貧困地域への調査となると誰かに容易にお声かけするわけにもいかず…西川委員長と私は意を決してアジアの最貧国ネパールの地を選定し赴いたことでした。

今やネットの世界はあふれんばかりの情報を教えてくれますが、決して経験は与えてくれません。見たこともない現地に直接足を運び、宗教も文化も異なる人々に接し、それをインプットして、アウトプットすること、それもまた財団の委員長という任務の果たし方ではないかと感じています。

ロータリー財団の補助金委員会を3年間担当させていただきましたが、委員長という立場を、費やした時間と出費という点で振り返って見ると割りの合う役職だとは言い難いですが、人生経験や自己成長という言葉に換言すれば、他に代え難い貴重な3年間でした。

2019-2020年度 地区研修・協議会報告

地区研修・協議会実行委員会 委員長　**中村　克三**（諫早多良見RC）

去る5月19日㈰、諫早文化会館にて2019-2020年度地区研修・協議会が、地区内56クラブから2019-2020年度会長幹事をはじめ、役員の方々総勢357名の登録をいただき開催されました。

まず、千葉ガバナーエレクトよりRIテーマ「ロータリーは世界をつなぐ」、地区テーマ「チャレンジしよう！（変化、活性化、つながる、伝える）」、及び次年度方針の説明があり、その後「2019年規定審議会報告～次年度クラブ定款・細則を見直しましょう～」という演題で、岩永パストガバナーの基調講演がありました。

研修会は、6部会に分かれて行われました。会長・幹事部会では、野口パストガバナーによる「ロータリーにおける平等対等の理念について」の講話があり、クラブ管理運営・会員増強部会では、竹田クラブ管理運営委員長、佐藤会員増強委員長、公共イメージ部会では、久保公共イメージ委員長、社会奉仕部会では帯屋社会奉仕委員長、青少年奉仕部会では、高松ローターアクト委員長、徳川インターアクト委員長、アーリー・ジェフリー国際青少年交換委員長、山口RYLA委員長、国際奉仕・ロータリー財団部会では、岡村ロータリー財団委員長、それぞれの委員長により説明がありました。

部会研修会終了後、大石次年度地区幹事より次年度地区運営についての説明と光石次年度地区会計長より次年度地区予算案の説明があり、予算案は全会一致で承認されました。研修・協議会の最後に、講評を駒井直前ガバナーにいただき、研修協議会は終了となりました。

このあと、場所をホテルグランドパレス諫早に移し、懇親会を開催しました。千葉ガバナーエレクトの挨拶に引き続き、福田ガバナーの乾杯で懇親会が始まり、それぞれのロータリアンが懇親を深めました。最後に「手に手つないで」を皆様で合唱をして、散会となりました。

最後に、この研修協議会の開催に際しまして、ご協力いただきました福田ガバナーをはじめ、千葉ガバナーエレクト、大石次年度地区幹事、地区役員の皆様、ガバナーエレクト事務所のスタッフの皆様、及びご参加いただきましたロータリアンの皆様に心より感謝いたします。

第7回全国インターアクト研究会報告

インターアクト委員会 委員長　徳川　清隆（唐津RC）

2019年4月28日㈰福岡国際会議場にて、全国各地区より229名の参加者により、第7回インターアクト研究会が開催されました。当地区からも千葉憲哉GEご夫妻、駒井英基PG、岩永信昭PGをはじめ、ロータリアン、インターアクター、顧問教諭の方々に多数参加いただきました。

本大会は、RID2700・2720・2730・2740の九州4地区ホストで開催されております。

オープニングセレモニーでは、ローターアクターと合同での会場となり、優美な琴演奏を聴きながら幕開けしました。終了後、インターアクト開会式場へ移動。今大会のテーマ「お互いの気付き・お互いの学び」で開会点鐘し、開会の辞、歓迎の挨拶と続き、RI理事 全国IA研究会委員長 三木 明さん(姫路RC)の挨拶、全国IA実行委員長 河野一郎さん(小倉中央RC)の分科会イントロダクションがあり、分科会①、②で構成された各分科会会場へ移動し、全国、九州4地区に別々となり、インターアクター、顧問教諭、ロータリアンがテーマ別に講話、討議がなされました。

全国代表校による事例紹介では、当地区より選出された聖和女子学院高校が全国インターアクター・顧問、ロータリアン向け、素晴らしい活動事例を発表されました。

RID2730担当の九州4地区インターアクト会議では、「九州のために何か良い事を1つやろう」と題し、インターアクターがファシリテーション方式にて討議されています。

分科会① 全国委員長会議では、RID2700青少年奉仕委員長 田村志朗氏の卓話を聴き、「近年の青少年奉仕への関わりとして、ロータリー青少年ファミリーの相関性や交流する機会の創出、交流を深めるための企画等を多く持ち、それぞれがRYLA等でのクロスプロモーション相関関係を築いていくことが重要である」と述べられました。

分科会② 全国委員長会議では、今後のインターアクト研究会の開催時期、開催規模、開催地(ホスト地区)を確認すべく全国地区委員から様々なご意見・ご提案が出ました。

意見集約後、今後の開催予定については、第1ゾーンRID2800山形県、第2ゾーンRID2790神奈川、第3ゾーンRID2670愛媛・香川・高知・徳島、第1ゾーンRID2510北海道西部の輪番制となることに承諾を得、会議終了。

閉会式では、各分科会での会議報告を、インターアクター、顧問教諭、ロータリアンの代表者が発表を行い、総評、次年度ホスト紹介、閉会の辞と続き、点鐘で終了しました。

この大会の開催実施に結び付くまで、2年度前から4地区協議会を発足し、準備しながら当日を迎えることができました。これまでに、ご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げ大会終了報告といたします。ありがとうございました。

2018-2019年度 国際青少年交換委員会 JAPAN TOUR紀行、全国大会参加報告

国際青少年交換委員会 委員長　下津浦正明（佐世保南RC）

2018-2019年度 2740地区の留学生 JAPAN TOURの開催は、全国大会開催（開催地：金沢市）に合わせて、当地区単独ツアーを開催しました。例年、2700、2730地区と合同ツアーに参加しておりましたが、東京首都圏と遊園地のみのツアー内容を大幅に変更して、大阪、京都、古都金沢を加えて、東京の単独ロングランツアーを試みました。随行員はロータリアン1名のエスコートで、インバウンドの学生は4名、計5名の楽しい充実した旅となりました。

初日は、長崎空港よりLCCにて関空へ、夜は難波道頓堀を散策、こってりの関西文化を食と共に堪能しました。

２日目は、古都京都、日本文化を存分に！690円の京都市内周遊市バスで、金閣寺、銀閣寺、清水寺、祇園の町家、伏見稲荷を観光しました。

３日目は、京都から金沢へサンダーバードに乗車して移動、午後からの全国大会に出席しました。夕方からは、全国から集まったいろんな国のインバウンド学生を交えたレセプションが開催され、交流の機会を楽しんでおりました。

４日目は、主都東京へ移動です。この日から、エスコートは委員長下津浦と交代して、樋口地区委員(諫早南RC)が随行員に！

新幹線にて、金沢から東京へ。国会議事堂、皇居、浅草浅草寺、原宿、スカイツリーなどを見学しました。

無事に全日程を終え、翌日都内を観光して福岡空港へ。委員会にて用意したマイクロバスで長崎へ帰り着きました。

例年とは打って変わって単独ジャパンツアー開催の試みは、他地区のインバウンド学生たちにも羨ましがられる内容となりましたが、次年度は受け入れ学生も多く、ますます盛会の委員会活動となります。福田ガバナーはじめ、たくさんの方々のご支援を受け、ツアーを開催できましたことをこの場を借りて御礼申し上げます。

引続き次年度も、国際青少年交換プログラムをどうぞよろしくお願いいたします。

2018-2019年度 地区ローターアクト年次大会のご報告

地区ローターアクト代表　樋口　太助

日頃からローターアクトの活動と代表事務局の運営につきましてはご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

2018-2019年度国際ロータリー第2740地区ローターアクト地区代表を務めました樋口太助と申します。

2019年6月8日㈯、9日㈰に長崎県島原市で開催しました第37回地区年次大会につきまして、無事に開催できたことをご報告いたします。また、開催にあたり多数のロータリアンの皆様にはご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて今大会は島原ローターアクトをホストとし、長崎県島原市にて開催いたしました。

大会テーマを「Making act ～一人ひとりがone piece～」といたしました。

大会1日目は島原市にある南風楼を会場とし、各クラブの活動報告とレセプションを開催しました。また、2日目は島原市を舞台にジオ学習を行いました。

この2日間を通して多くのロータリアン、また他地区自地区のアクターと交流したことでたくさんの学びを得られ、それはローターアクト以外では感じたり学んだりすることは出来ないものだと感じました。

今後もローターアクトをとおしてそれぞれが個々の成長につながるよう活動を行っていきたいと思いますので、ローターリアンの皆様におかれましてはご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

新　会　員　紹　介

私たちの新しい仲間になられました方々をご紹介いたします。

4月入会

佐賀RC

中塚（なかの）　括（かつ）君
みずほ証券㈱佐賀支店
支店長

武雄RC

木下（きのした）　里美（さとみ）君
㈱佐賀銀行 武雄支店
支店長

唐津RC

松尾（まつお）　圭祐（けいすけ）君
有限会社 松尾印刷所
代表取締役

唐津西RC

松本（まつもと）　隆宏（たかひろ）君
あおば司法書士事務所
代表

佐世保RC

森（もり）　勝之（かつゆき）君
JR九州ハウステンボス
ホテル㈱
代表取締役社長

松浦RC

大川（おおかわ）　武史（たけし）君
㈱松浦シティホテル
宿泊部　支配人

佐世保東南RC

井澤（いざわ）　晃一（こういち）君
㈱井澤電気
代表取締役

島原RC

村中（むらなか）　恵樹（けいじゅ）君
㈱十八銀行島原支店
支店長

諫早RC

松本（まつもと）　英也（ひでや）君
親和銀行諫早支店
執行役員諫早支店長

長崎西RC

山崎（やまさき）　雅之（まさゆき）君
西松建設㈱長崎営業所
所長

長崎南RC

河野（こうの）　純（じゅん）君
野村證券㈱長崎支店
支店長

長崎南RC

小野（おの）　謙一（けんいち）君
住友生命保険㈱長崎支社
支社長

長崎東RC

藤本（ふじもと）　直季（なおき）君
東京海上日動火災
保険㈱長崎支店
支店長

長崎みなとRC

小島（こじま）　次保（つぎやす）君
小島社会保険
労務士事務所
所長

長崎出島RC

有川（ありかわ）　政孝（まさたか）君
㈲有川
専務取締役

長崎出島RC

手塚（てづか）　勝治（かつじ）君
㈱テヅカ
代表取締役社長

5月入会

佐賀RC

宮﨑（みやざき） 典之（のりゆき） 君
第一生命保険㈱
佐賀支店
支店長

佐賀西RC

牛島（うしじま） 秀朗（ひであき） 君
㈱九電工佐賀支店
支店長

佐賀西RC

樋口（ひぐち） 定良（さだよし） 君
㈱ドコモCS九州佐賀支店
支店長

佐賀西RC

安永（やすなが） 治郎（じろう） 君
安永法律事務所
弁護士

佐賀西RC

原（はら） 誠行（まさゆき） 君
あいおいニッセイ同和
損害保険㈱佐賀支店
支店長

唐津西RC

髙田（たかだ） 武嗣（たけし） 君
髙田電機㈱
常務取締役

佐世保RC

松本（まつもと） 祐明（ひろあき） 君
㈱テレビ長崎 佐世保支社
支社長

佐世保RC

岸川（きしかわ） 善紀（よしのり） 君
㈱長崎新聞 佐世保支社
支社長

佐世保RC

坂根（さかね） 毅（つよし） 君
大阪鋼管㈱
代表取締役社長

佐世保RC

小石原健二（こいしはらけんじ） 君
東京海上日動火災保険㈱
佐世保支社長

佐世保南RC

阿部（あべ） 亮（あきら） 君
ジブラルタ生命保険㈱
長崎支店・佐世保第一営業所
所長

佐世保南RC

石田（いしだ） 裕（ゆう） 君
野村証券㈱佐世保支店
支店長

佐世保東RC

白濵（しらはま） 仁啓（もとひろ） 君
社会福祉法人 博仁会
理事長

大村RC

山口（やまぐち） 啓二（けいじ） 君
親和銀行大村支店
支店長

諫早北C

﨑田（さきた） 英介（ひでゆき） 君
サキタ技研㈱
取締役

諫早北RC

内野（うちの） 弘樹（ひろき） 君

長崎北東RC

早﨑（はやさき） 悟（さとる） 君
ヨツバ電工
代表

長崎北東RC

長信（ながのぶ） 一治（かずはる） 君
穴吹興産株式会社
長崎支店
支店長

長崎北東RC

平川（ひらかわ） 昌幸（まさゆき） 君
㈲リハテック・エフ
代表取締役

長崎北RC

鳥居塚勇人（とりいづかはやと） 君
大和証券㈱長崎支店
支店長

長崎北RC

前川（まえかわ） 啓（あきら） 君
㈱前川工業
代表取締役社長

長崎北RC

石川（いしかわ） 英彦（ひでひこ） 君
日本生命保険相互会社
長崎支社 支社長

長崎北RC

大串（おおぐし） 龍大（りゅうだい） 君
㈱福昭ビル・サービス
長崎支社 支社長

長崎南RC

長沼（ながぬま） 孝裕（たかひろ） 君
三井住友海上
火災保険㈱
長崎支店長

長崎出島RC

平井（ひらい） 聡（さとし） 君
平井技研㈱
代表取締役

長崎出島RC

栗山（くりやま） 壮一（そういち） 君
ソニー生命保険㈱
部長

長崎出島RC

加藤（かとう） 博文（ひろふみ） 君
加藤産業㈱
代表取締役社長

長崎出島RC

山﨑（やまさき） 祥宏（よしひろ） 君
ランドスケープ
代表

6月入会

佐賀RC

藤原（ふじわら） 誠（まこと） 君
株式会社 サガテレビ
取締役営業局長

佐賀RC

相澤（あいざわ） 里佳（さとか） 君
SMBC日興証券㈱
佐賀支店
支店長

佐賀RC

深町（ふかまち） 直純（なおずみ） 君
社会保険労務士法人
きたむら事務所
役員

唐津RC

福岡（ふくおか） 修（おさむ） 君
昭和自動車㈱
専務取締役

6月入会

唐津RC

山﨑（やまさき） 繁行（しげゆき） 君
㈱佐賀銀行唐津支店
支店長

唐津RC

水上（みずかみ） 将史（まさし） 君
いちよし証券㈱
唐津支店
支店長

唐津中央RC

吉田（よしだ） 勝（まさる） 君
日本生命保険(相)
佐賀支社唐津営業所
営業部長

佐世保RC

浦（うら） 義浩（よしひろ） 君
西部ガス㈱
佐世保営業部長

佐世保南RC

大庭（おおば） 真一（しんいち） 君
親和銀行
取締役専務執行役員

佐世保中央RC

藤井（ふじい） 寿人（ひさと） 君
振興産業㈱
常務取締役

佐世保中央RC

川上（かわかみ） 仁哉（じんや） 君
㈲カワカミ
代表取締役

佐世保東南RC

林田（はやしだ） 元（げん） 君
AIG損害保険㈱
営業

大村RC

原口（はらぐち） 典子（のりこ） 君
NAIL NORI
代表者

大村RC

鶴田（つるだ） 幸尚（ゆきひさ） 君
長崎電設㈱
代表取締役

島原RC

吉田（よしだ） 真（まこと） 君
㈱こつぶ商店
代表取締役

諫早RC

松尾（まつお） 剛（つよし） 君
たちばな信用金庫
常務理事

諫早多良見RC

南條（なんじょう） 哲章（てつあき） 君
NPO法人かぜのおと
くやまえん
理事長

長崎北RC

吉松（よしまつ） 保穂（やすほ） 君
㈱福岡銀行長崎支店
支店長

長崎北RC

佐藤（さとう） 博之（ひろゆき） 君
㈱テレビ長崎
編成局長

長崎北RC

小松（こまつ） 俊一（しゅんいち） 君
㈱西海建設
常務取締役

逝去会員　謹んでご冥福をお祈り申し上げます

小林喜平太 会員（長崎RC）
逝去日：2019年5月28日（享年75歳）
入会日：1986年9月18日
勤務先：㈱稲佐山観光ホテル　取締役会長
クラブ役職：1993～1994年度　幹事

豊竹　一博 会員（大村RC）
逝去日：2019年6月5日（享年78歳）
入会日：1983年8月2日
勤務先：豊竹産業㈱　代表取締役会長
クラブ役職：1988～1989年度　幹事
1998～1999年度　会長

越智　敏征 会員（長崎東RC）
逝去日：2019年6月5日（享年74歳）
入会日：1990年7月13日
勤務先：㈱富士医科精器　代表取締役
クラブ役職：2002～2003年度　幹事
2007～2008年度　会長

富村　　健 会員（佐世保西RC）
逝去日：2019年6月17日（享年71歳）
入会日：1992年5月12日
勤務先：(医)社団富村整形外科医院　理事長
クラブ役職：2003～2004年度　会長

寄付者紹介

ロータリー財団・米山記念奨学会からの認証および表彰者リストに基づき寄付者をご紹介いたします。ご厚意に深く感謝申し上げます。

ロータリー財団（4月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
本島　直幸	4	佐　賀
岸川　正人	3	佐　賀
山下　雄司	1	佐　賀
犬養　義一	3	松　浦
ｱｰﾘｰ･ｼﾞｪﾌﾘｰ	1	諫早多良見
松本　尚武	1	諫早多良見
荒木　健治	1	長　崎

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
古川　尋美	佐賀南
橋口　　久	HTB佐世保
杉山　和宏	HTB佐世保

■ベネファクター

氏　名	クラブ名
杉田　佑保	長崎南

米山記念奨学会（4月）

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
岸川　正人	2	佐　賀
音成日佐男	2	佐　賀
平川　知裕	2	佐　賀
田中　洋介	3	佐賀南
朝長万左男	7	長　崎

■米山功労者

氏　名	クラブ名
福地　善孝	神　埼
浅井　貞宏	HTB佐世保
川副源太郎	HTB佐世保
松本　尚武	諫早多良見

ロータリー財団（5月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
平野　省蔵	1	伊万里西
橋口　　正	1	佐世保東
谷川　則仁	2	諫　早
石本潤治郎	1	諫早北

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
福井浩二郎	唐津東
福母　秀一	伊万里西
堀川　博邦	伊万里西
上野　英剛	諫　早
本田　時夫	長　崎

■ベネファクター

氏　名	クラブ名
川野　弘茂	諫早西

米山記念奨学会（5月）

■メジャードナー

氏　名	回数	クラブ名
石田　一美	12	大村東
石田　賢二	12	大村東

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
金子和斗志	9	伊万里西
藤谷　成微	9	伊万里西
山元　章生	7	伊万里西
小林　靖明	3	諫　早

■米山功労者

氏　名	クラブ名
岩崎眞二郎	唐津東
渡邉　栄二	平　戸
久枝　啓介	平　戸
山口　善和	松　浦
岡田　金助	HTB佐世保
前田　博明	諫　早

ロータリー財団（6月）

■マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

氏　名	レベル	クラブ名
西村　明美	3	神　埼
吉岡　　励	2	神　埼
犬塚　勝政	2	伊万里
川添　信雄	1	唐津中央
森　幸雄	2	平　戸
宮﨑　祐輔	1	佐世保中央
本多　　進	3	島原南
石田　賢二	2	大村東
佐藤　英人	2	大村東
石田　一美	1	大村東
平山　寿則	4	長崎西

■ポール・ハリス・フェロー

氏　名	クラブ名
谷上　　守	牛　津
松永　光司	佐賀大和
有吉　　中	佐世保中央
松田　啓伸	佐世保中央
馬場　麻香	諫早南
長谷川妙子	諫早南
樋口　征司	諫早南
金森　浩一	諫早南
野中　澄子	諫早南
沼光　美樹	諫早南
酒井　郁子	諫早南
坂本　結花	諫早南
勢野　雄一	諫早南
徳永　静香	諫早南
進藤　和彦	長　崎
深堀　俊一	長崎西

米山記念奨学会（6月）

■メジャードナー

氏　名	回数	クラブ名
栗林　英雄	62	諫早北
柿川　純正	12	長崎東

■米山功労者マルチプル

氏　名	回数	クラブ名
堤　　眞敏	3	佐賀大和
河野　智幸	2	唐津西
福田　　力	2	雲　仙
松村　　学	3	大村東
千葉まさこ	4	諫早南
水本　由幸	2	長崎西
宇宿　勝博	4	長崎東
中村　安志	2	長崎東

■米山功労者

氏　名	クラブ名
古川　清文	佐賀北
中村　邦子	鹿　島
松本　清則	唐津西
中山　吉則	松　浦
近藤　義光	島原南
一瀬　俊行	大村東
深堀　俊一	長崎西

第2740地区 2019年4月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC
2019年4月平均出席率	82.3 %
2018年7月1日会員数	2,236 名
（うち女性会員	91 名）
2019年4月末日会員数	2,214 名
（うち女性会員	96 名）
2019年4月入会者	16 名
2019年4月退会者	11 名

第2740地区 2019年5月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC
2019年5月平均出席率	83.04 %
2018年7月1日会員数	2,236 名
（うち女性会員	91 名）
2019年5月末日会員数	2,235 名
（うち女性会員	95 名）
2019年5月入会者	28 名
2019年5月退会者	7 名

第2740地区 2019年6月出席報告

2018年7月1日クラブ数	57 RC
2019年6月平均出席率	83.9 %
2018年7月1日会員数	2,236 名
（うち女性会員	91 名）
2019年6月末日会員数	2,200 名
（うち女性会員	97 名）
2019年6月入会者	20 名
2019年6月退会者	55 名

国際ロータリー 第2740地区　2018-2019年度 地区主要行事報告

2018年

月	特別月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	クラブ・グループ
7月		1日（日）	第1回ガバナー会議				
			ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	14日（土）	第7回全国インターアクト研究会4地区合同会議		
				15日（日）	地区ローターアクト委員会		
		5日（木）	第1回諮問委員会	21日（土）	第1回地区インターアクト委員会		
		14日（土）	第3ゾーンR戦略計画推進セミナー	22日（日）	青少年交換学生オリエンテーション（学生入会テスト）		
				28日（土）	地区インターアクト年次大会（マリトピア）		
8月	会員増強・拡大月間						
				25日（土）	第2回地区インターアクト委員会		
				26日（日）	カウンセラーオリエンテーション、米山奨学生出前卓話研修		
				26日（日）	青少年交換学生オリエンテーション		
9月	基本的教育と識字率向上月間	21日（金）	第2回諮問委員会	1日（土）～2日（日）	米山奨学生研修旅行（雲仙）	7日（金）	長崎出島RC20周年記念例会・祝賀会
				8日（土）	職業奉仕セミナー（武雄センチュリー）		
				18日（火）	全会員を対象とする会員研修（佐世保市）		
10月	経済と地域社会の発展月間 米山月間			7日（日）	米山の集い		
				7日（日）～8日（月）	青少年交換学生 長崎くんち		
				13日（土）～14日（日）	青少年フェスタ		
					〔前期指導者研修1泊2日（インターアクト）〕		
				28日（日）	青少年交換学生オリエンテーション		
11月	ロータリー財団月間	16日（金）	RI会長代理歓迎晩餐会	2日（金）～4日（日）	唐津くんち見学		
			（ホテルオークラJRハウステンボス）	11日（日）	R財団セミナー		
		17日（土）	地区大会　本会議（アルカスSASEBO）	16日（金）	米山奨学生国際交流会（九州文化学園高校）		
		19日（月）	第2回ガバナー会・RI会長歓迎晩餐会	23日（金）	米山面接官オリエンテーション	24(土）	諫早南RC創立20周年記念式典
		20日（火）～21日（水）	ロータリー研究会	25日（日）	青少年交換学生オリエンテーション		
12月	疾病予防と治療月間			8日（土）	第3回インターアクト委員会		
				16日（日）	2019年度米山奨学生面接試験		
		14日（金）	第3回諮問委員会	16日（日）	青少年交換学生オリエンテーション（クリスマス会）		
				23日（日）	米山学友会忘年会		

2019年

月	特別月間	日・曜日	ガバナー事務所	日・曜日	地区委員会	日・曜日	クラブ・グループ
1月	職業奉仕月間	13(日）～19（土）	国際協議会（米国　サンディエゴ）				
				26日（土）	後期指導者研修会 （インターアクト）：長崎国際大学		
				27日（日）	青少年交換学生オリエンテーション（学生入会テスト）		
2月	平和と紛争予防紛争解決月間	3日（日）	第11回全国RYLA研究会	3日（日）	補助金管理セミナー	2日（土）	第7、8グループIM
		17日（日）	第4回諮問委員会			8日（金）	唐津中央RC25周年記念式典
		17日（日）	地区チーム研修セミナー			11日（月祝）	第9、10グループIM
				24日（日）	青少年交換学生オリエンテーション	16日（土）	北松浦RC50周年記念式典
						24日（日）	第1、2グループIM
3月	水と衛生月間			3日（日）	米山修了式・歓迎会		
						9日（土）	第4グループIM
		17日（日）	会長エレクト研修セミナー				
						23日（土）	第3グループIM
				24日（日）	青少年交換学生オリエンテーション（花見会）	25日（月）	KCC短期留学出国
4月	母子の健康月間	8日（月）～9日（火）	RI第1・2・3ゾーン会員基盤向上セミナー（東京）	4日（木）	グローバル補助金面接会	5日（金）	KCC短期留学帰国
				14日（日）	地区ローターアクト研修会	6日（土）	第5、6グループIM
		28日（日）～29日（月）	全国ローターアクト研究会（2700地区）	20日（土）～21日（日）	第40回ライラ（ホスト島原南RC）		
		28日（日）	第7回全国インターアクト研究会（福岡国際会議場） 主催（2700・2720・2730・2740地区）	21日（日）	青少年交換学生オリエンテーション		
5月	青少年奉仕月間	10日（金）	第5回諮問委員会			15日（水）	佐賀西RC60周年記念式典
		19日（日）	地区研修・協議会	23日（木）～28日（火）	青少年交換学生 japan tour ＆ 金沢会議		
6月	ロータリー親睦活動月間	1日（土）～5日（水）	国際大会（ドイツ　ハンブルク）	8日（土）～9日（日）	ローターアクト年次大会		
		15日（土）	新旧ガバナー補佐交代式	20日（木）	グローバル補助金奨学生研修会		
		23日（日）	第2700地区RA創立50周年	30日（日）	青少年交換学生オリエンテーション（歓送迎会）		

国際ロータリー 第2740地区　2018-2019年度 地区会計報告

地区資金一般会計　収支決算書　　（単位：円）

		予算	決算	予算比
収入の部	（1） 地区資金分担金	15,300,000	15,245,600	−54,400
	（2） 地区大会分担金	11,925,000	11,930,300	5,300
	（3） 日本事務局分担金	1,159,000	1,154,600	−4,400
	（4） 特別会計分担金	810,000	807,120	−2,880
	（5） その他収入	0	51,036	51,036
	本年度収入合計（A）	29,194,000	29,188,656	−5,344
	前年度繰越金	0	13,040,427	13,040,427
	収入合計（B）	29,194,000	42,229,083	13,035,083

			予算	決算	予算比
支出の部	（1） ガバナー関係費		6,650,000	7,853,420	1,203,420
		GE国際協議会	1,200,000	1,200,000	0
		全国G・PG会議費	2,300,000	3,286,728	986,728
		地区G・PG会議費	1,300,000	1,599,452	299,452
		各種会議費	1,150,000	1,067,240	−82,760
		G記念品代	100,000	100,000	0
		ホームページ費	600,000	600,000	0
	（2） 地区活動費・補助金		14,675,000	15,180,716	505,716
		地区大会	11,925,000	11,930,300	5,300
		地区協議会	300,000	475,394	175,394
		PETS	400,000	588,012	188,012
		地区チーム研修セミナー	500,000	667,010	167,010
		インターアクト助成金	600,000	600,000	0
		ローターアクト助成金	550,000	550,000	0
		RYLA助成金	300,000	300,000	0
		R財団学友会	100,000	70,000	−30,000
	（3） G補佐費		1,700,000	1,700,000	0
	（4） 地区委員会費		3,380,000	3,463,825	83,825
		クラブ管理・運営委員会	100,000	120,000	20,000
		会員増強委員会	300,000	320,360	20,360
		公共イメージ委員会	150,000	0	−150,000
		奉仕プロジェクト委員会	150,000	150,000	0
		ロータリー財団委員会	200,000	198,020	−1,980
		職業奉仕委員会	250,000	283,630	33,630
		米山記念奨学委員会	350,000	715,815	365,815
		ローターアクト委員会	180,000	226,000	46,000
		インターアクト委員会	900,000	595,653	−304,347
		ライラ委員会	200,000	114,460	−85,540
		資金推進委員会	50,000	50,000	0
		ポリオプラス委員会	50,000	50,000	0
		資金管理委員会	50,000	50,000	0
		財団奨学学友小委員会	150,000	149,567	−433
		グローバル補助金小委員会	150,000	150,000	0
		地区補助金小委員会	150,000	144,422	−5,578
		その他（クラブ・社会・青少年奉仕）	0	145,898	145,898
	（5） 日本事務局分担金		1,159,000	1,152,600	−6,400
	（6） 特別会計繰入金(規定審議会)		1,110,000	1,107,120	−2,880
	（7） 研修会関係費用		0	0	0
	（8） その他		0	38,070	38,070
	（9） 予備費		520,000	676,170	156,170
	本年度支出合計（C）		29,194,000	31,171,921	1,977,921
本年度収支差額（A）−（C）			0	−1,983,265	−1,983,265
次年度繰越金（B）−（C）			0	11,057,162	11,057,162

ガバナー事務所・月信会費会計

（単位：円）

		予算	決算	予算比
収入の部	G事務所分担金	12,150,000	12,106,800	−43,200
	月信費	2,250,000	2,239,500	−10,500
	RI補助金	1,326,281	1,326,281	0
	雑収入・その他	0	27	27
	収入合計 （A）	15,726,281	15,672,608	−53,673
支出の部	公式訪問費	300,000	379,620	79,620
	人件費	3,750,000	3,050,000	−700,000
	月信費	2,250,000	2,771,475	521,475
	通信費	350,000	374,471	24,471
	消耗品費・印刷費	800,000	666,585	−133,415
	室料	1,344,000	1,361,880	17,880
	旅費交通費	200,000	392,692	192,692
	会議費	400,000	154,548	−245,452
	GE事務所費	5,400,000	5,400,000	0
	直前G事務所費	100,000	100,000	0
	リース料（TEL・コピー）	330,000	160,704	−169,296
	光熱費	200,000	330,075	130,075
	駐車場代	216,000	189,900	−26,100
	雑費	86,281	340,658	254,377
	支出合計 （B）	15,726,281	15,672,608	−53,673

地区大会収支決算報告書

（単位：円）

項目	内訳	収入		支出		
		登録料・出席者数	金額	項目	内訳	金額
人頭分担金		5,300円×2,251名	11,930,300	大会事務局	総務	1,110,910
大会登録料	会員	10,000円×1,181名	11,810,000		事務局	2,231,700
懇親会	会員	8,000円×582名	4,656,000		記念事業	10,117,800
	家族	8,000円×17名	136,000			
	青少年	3,000円×14名	42,000	歓迎晩餐会		3,463,646
	小計		4,834,000	懇親会		5,037,032
歓迎晩餐会	会員	15,000×125名	1,875,000	交通対策		1,335,386
	家族	15,000×8名	120,000	会場設営部会		1,975,822
	小計		1,995,000	記念誌・広報部会		3,167,598
来賓登録料	地区外		0	接待部会		2,657,822
懇親会	地区外	8,000円×2名	16,000	ゴルフ運営部会		293,425
懇親会（家族）	地区外		0	エクスカーション		347,010
歓迎晩餐会	地区外	15,000円×12名	180,000	予備費		232,149
ｺﾞﾙﾌ登録料	会員	3,000円×101名	303,000	支出合計		31,970,300
	家族	3,000円×2名	6,000			
	小計		309,000			
祝儀			896,000			
収入合計			31,970,300			

特別会計　収支決算書

（単位：円）

		前年度繰越金	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越金
世界社会奉仕	予　算	−	810,000	0	−
	決　算	8,665,486	807,120	0	9,472,606
VTT	予　算	−	0	0	−
	決　算	5,000,000	0	0	5,000,000
規定審議会	予　算	−	300,000	900,000	−
	決　算	600,000	300,000	900,000	0

		前年度繰越金	本年度繰入	本年度取崩	次年度繰越金
危機管理委員会	予　算	−	0	0	−
	決　算	6,000,000	0	0	6,000,000

監査報告書

2018−2019年度の一般会計及び特別会計の収支計算につきまして帳簿並びに諸証憑を監査いたしましたところ、適正に執行されておりましたことを報告いたします。

2019年8月21日

監査　税理士　猪井和彦

HAMBURG「2019年ロータリー国際大会」に出席して

国際ロータリー第2740地区 地区幹事 **増本 一也**（佐世保RC）

第110回ロータリー国際大会が2019年6月2日㈰、ドイツのハンブルクで開催されました。

ハンブルクの町は、人口22万人の都市です。特に道路沿いには木々が多く、建物と一体感をなすその街並みは大変美しく印象的でした。この国際大会への世界からの登録者数は約3万人、当地区からの登録者数は22名でした。また、この国際会議参加の主目的である各クラブから預かった信任状は、無事提出いたしました。

本大会はハンブルク最大会場メッセで、午前10時30分と午後3時30分の2回に分けて開催され、私たちは午後の部に出席しました。

2018-2019年度国際ロータリー会長 BARRY RASSIN氏が壇上に出てこられると、会場に集まった約8千人が総立ちして、万雷の拍手をもってお迎えしました。会長のお話は同時通訳され、国際ロータリーは先ずEND POLIO NOWと唱えられました。その次に、2023年6月までに現在のロータリアンの30％は女性会員にしたいと力説されました。一段落するとRotaryの原点である5つの項目を訴えられました。

1．Diversity（多様性）
2．Leadership（リーダーシップ）
3．Fellowship（親睦）…ここで力説されたのは、特にロータリアンは常に親睦がなければならないから常日頃から仲よくしようと唱えられた。
4．Integrity（高潔性）
5．Service（奉仕）…ロータリー（ランナー）が、END POLIOのゴールテープを目指して走っている姿で間もなくゴールに近づいている表現。

また、場面が変わってドイツの画家による即筆画（大きさは2ｍ×2ｍ位）が披露されました。

絵筆で大胆に描かれ、見ている私たちは何を描いているのか全く判りませんでしたが、10分後に描いた絵を逆さまにしたら、何とロータリアンがインドでポリオワクチンを幼児に投与している姿の絵になったのです。(全観衆から驚きと歓喜の声が出ていました)

その絵の左下にRI会長が、END POLIO NOWとサインをされ、観衆一同拍手喝采でした。

世界各国からハンブルクに集まったロータリアンは、それぞれこれからもロータリー活動を続けるという力強い意欲が沸いて帰国されたと思います。次年度の国際大会は、2020年6月6日～10日ハワイのホノルルで開催されます。

ハンブルク会場外観